

# 西東京市市民意識調査 報告書

平成29年11月  
西東京市

# 目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査仕様	1
4. 回収数・回収率	1
5. 調査結果の補足説明	2
(1) 調査結果の見方	2
(2) 調査結果の経年比較分析	3
(3) 集計分析項目	4
6. 回答者の基本属性	5
(1) 性別	5
(2) 年齢	5
(3) 居住地区	6
(4) 居住年数	6
(5) 職業	7
(6) 通勤・通学先	7
(7) 居住形態	8
(8) 世帯構成	8
(9) 同居家族（複数回答）	9
(10) 出身地	9
第2章 調査結果の概要	10
1. 西東京市のまちづくり全般について	10
(1) 西東京市への愛着度	10
(2) 日ごろの住み心地	10
(3) 住み心地がよいと感じる理由	10
(4) 住み心地がよくないと感じる理由	10
(5) 継続居住意向	10
(6) 転出希望理由	10
(7) 具体的な転出希望理由（自由記述）	10
(8) 身近な生活環境における困りごと（第1位～第3位）	11
2. 市政に対して思うことについて	11
(1) 市政全般への評価	11
(2) 施策別の満足度・重要度	11
3. 「健康」応援都市について	11
(1) まち全体の「健康」達成に向けて重要な要素	11
4. あなたの暮らしの希望について	12
(1) 子育て全般への満足度 【未就学児のいる保護者のみ】	12
(2) 子育て全般に満足している理由	12
(3) 子育て全般に不満を感じる理由	12
(4) 西東京市のイメージと暮らしたいまちのイメージ	12
(5) ライフステージ別住みたいまち 【18～39歳のみ】	12
5. 西東京市の公共施設について	13
(1) 過去1年間における公共施設等の利用状況	13
(2) 公共施設等を利用していない理由	13
(3) 公共施設別の利用頻度	13
(4) 今後の公共施設のあり方	13
6. 庁舎統合について	14
(1) 本庁舎整備統合の認知	14
(2) 本庁舎への訪問経験	14
(3) 本庁舎訪問時の交通手段	14
(4) 過去1年間における用件別の本庁舎訪問回数	14
(5) 両庁舎での手続き経験（1庁舎で手続きが完了しなかった場合）	14
(6) 統合庁舎の立地条件として重視すること	14
(7) 統合庁舎において重視する機能（事務所機能を除く）	14
(8) 庁舎統合に関する情報提供として望ましい方法	14

<b>第3章 調査結果</b> .....	<b>15</b>
1. 西東京市のまちづくり全般について .....	15
(1) 西東京市への愛着度 .....	15
(2) 日ごろの住み心地 .....	17
(3) 住み心地がよいと感じる理由 .....	19
(4) 住み心地がよくないと感じる理由 .....	20
(5) 継続居住意向 .....	21
(6) 転出希望理由 .....	23
(7) 具体的な転出希望理由（自由記述） .....	26
(8) 身近な生活環境における困りごと（第1位～第3位） .....	27
2. 市政に対して思うことについて .....	30
(1) 市政全般への評価 .....	30
(2) 施策別の満足度・重要度 .....	32
3. 「健康」応援都市について .....	49
(1) まち全体の「健康」達成に向けて重要な要素 .....	49
4. あなたの暮らしの希望について .....	53
(1) 子育て全般への満足度 【未就学児のいる保護者のみ】 .....	53
(2) 子育て全般に満足している理由 .....	53
(3) 子育て全般に不満を感じる理由 .....	55
(4) 西東京市のイメージと暮らしたいまちのイメージ .....	57
(5) ライフステージ別住みたいまち 【18～39歳のみ】 .....	58
5. 西東京市の公共施設について .....	60
(1) 過去1年間における公共施設等の利用状況 .....	60
(2) 公共施設等を利用していない理由 .....	61
(3) 公共施設別の利用頻度 .....	62
(4) 今後の公共施設のあり方 .....	67
6. 庁舎統合について .....	72
(1) 本庁舎整備統合の認知 .....	72
(2) 本庁舎への訪問経験 .....	73
(3) 本庁舎訪問時の交通手段 .....	76
(4) 過去1年間における用件別の本庁舎訪問回数 .....	78
(5) 両庁舎での手続き経験（1庁舎で手続きが完了しなかった場合） .....	80
(6) 統合庁舎の立地条件として重視すること .....	82
(7) 統合庁舎において重視する機能（事務所機能を除く） .....	83
(8) 庁舎統合に関する情報提供として望ましい方法 .....	84
<b>参考資料編</b> .....	<b>85</b>
1. 調査票 .....	85
2. 単純集計表 .....	105

# 第1章 調査の概要

## 1. 調査目的

本調査は、平成26年度からの西東京市第2次基本構想・基本計画におけるまちづくりの推進にあたり、社会状況や市民ニーズの変化に柔軟に対応するため、統計的手法によって、市政に対する市民全体の考え方、各施策の推進状況等に対する評価（満足度・重要度）を把握し、その結果を今後のまちづくりを進める上での基礎資料として活用し、計画のより効果的な推進に役立てることを目的とする。

## 2. 調査項目

- 基本属性
- 西東京市のまちづくり全般について
- 市政に対して思うことについて
- 「健康」応援都市について
- あなたの暮らしの希望について
- 西東京市の公共施設について
- 庁舎統合について

## 3. 調査仕様

- 調査地域 西東京市全域
- 調査対象 西東京市住民基本台帳に登録された18歳以上の男女個人
- 標本数 5,000
- 抽出方法 住民基本台帳より、人口構成比に配慮し無作為抽出とした
- 調査方法 郵送配布・郵送回収
- 調査期間
  - 調査票発送 平成29年6月13日(火)
  - 調査票投函期限 平成29年6月30日(金)
  - 集計対象 平成29年7月10日(月)到着分まで

## 4. 回収数・回収率

- 回収票 2,191票（回収率43.8%）
- 有効回答数 2,188票（有効回答率43.8%）



## 5. 調査結果の補足説明

### (1) 調査結果の見方

①報告書中の問番号および設問は、調査票の問番号および設問をそのまま示している。また、本文やグラフ・数表上の選択肢の表記は、語句を簡略化している場合がある（詳細については、調査票参照）。

②調査結果の数値は回答率（％）で示している。％の母数は、その質問に回答した数または分類別（男性等）の数で、「サンプル数」または「TOTAL」で表している。

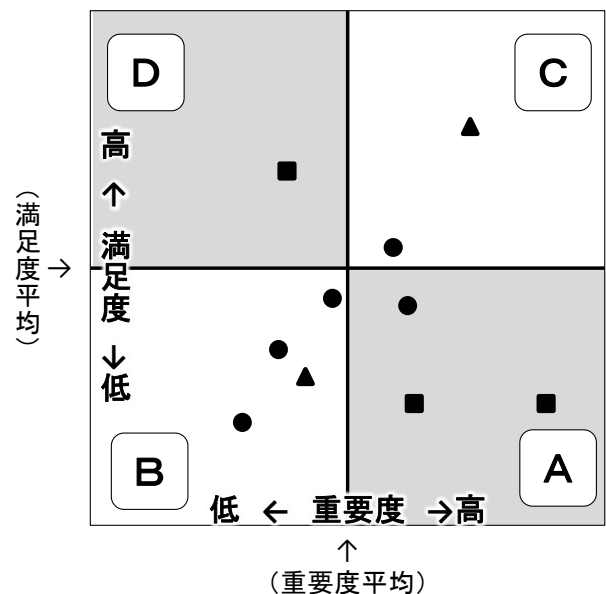
③割合は小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位まで示している。よって、「〇は1つだけ」などの質問であっても、回答率の合計値が100.0%にならない場合がある。

④属性のサンプル数では、傾向を分析する上で十分とは言えない50サンプル未満の結果も含まれるが、参考値として掲載している。

⑤調査結果表の属性別数値のうち「無回答」は非表示としている。よって、TOTALと属性の合計値が一致しない場合がある。

⑥段階評価を行った設問では、各選択肢に設定した（+2点）から（▲2点）までの得点の合計を回答者数で割って求めた平均ポイントを算出している。  
※本報告書では、見やすさの観点から「-（マイナス）」を「▲」とする。

⑦「満足度」と「重要度」の平均ポイントを用いて、CS（Customer Satisfaction＝顧客満足）分析を実施している。CS分析では、全ての設問項目の平均ポイントから座標軸を設定し、各項目間の相対的な関係を次の4つの方向性（ゾーン）でグラフ上に整理している。



<p><b>D：維持分野</b> 現状においては、相対的な関係では満足度が高いものの、今後の重要度は低く評価されている。よって、現状維持で実施するか、取組の見直しなども考えられる分野である。</p>	<p><b>C：重点維持分野</b> 現状においては、相対的な関係では満足度を感じている市民が多く、重要度も高く位置づけられている。よって、今後もこの水準を保つことが望ましく、現状維持で取り組む方向で検討したい分野である。</p>
<p><b>B：改善分野</b> 現状においては、市民が評価できる段階に至っていなかったり、相対的にみて満足度も重要度も低く位置づけられている。よって、周知を徹底したり、実施方法や予算、内容等を見直し、改善等の検討が期待される分野である。</p>	<p><b>A：重点改善分野</b> 現状においては、市民が評価できる段階に至っていなかったり、相対的にみて満足度は低いという評価であるが、今後の重要度は高く評価されている。よって、当該項目への着手や推進により、満足度が改善していくことが期待される分野である。</p>

## (2)調査結果の経年比較分析

西東京市では、平成13年の第1回調査以降、今回を含め6回の市民意識調査を実施している。本報告書では、過年度における調査結果を用いた経年比較分析を行う。対象は、図表2に示すとおり、過去10年（平成19年～）の間に実施した調査とする。

図表1 過年度調査概要

①調査年度	平成19年度	平成22年度	平成24年度	平成27年度	平成29年度
②調査地域	西東京市全域				
③調査対象	西東京市住民基本台帳に登録された18歳以上の男女個人				
④標本数	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
⑤抽出方法	住民基本台帳より、人口構成比に配慮して無作為抽出				
⑥調査方法	郵送配布・郵送回収				
⑦調査期間	平成19年 7月26日～ 8月8日	平成22年 5月15日～ 5月31日	平成24年 5月16日～ 5月31日	平成27年 5月29日～ 6月15日	平成29年 6月13日～ 6月30日
⑧有効回答数 (有効回収率)	2,418票 (48.4%)	2,626票 (52.5%)	2,408票 (48.2%)	2,004票 (40.1%)	2,188票 (43.8%)

図表2 継続経年比較分析項目

項目	調査票上の問番号				
	平成19年度	平成22年度	平成24年度	平成27年度	平成29年度
① 西東京市への愛着度	問1	問1	問1	問1	問1
② 身近な生活環境の住み心地	問4	問4	問4	問2	問2
③ 継続居住意向	問6	問6	問6	問4	問3
④ 転出希望事由	問7	問7	問7	問5	問4
⑤ 市政全般への評価	問9	問9	問9	問11	問6
⑥ 施策の評価（満足度・重要度）	問10	問10	問10	問12	問7
⑦ 西東京市のイメージと暮らしたいまちのイメージ	—	—	—	問40	問10
⑧ ライフステージ別の住みたいまち	—	—	—	問41	問11
⑨ 公共施設の利用有無				問8	問12
⑩ 公共施設を利用しない理由				問9	問13
⑪ 公共施設の利用頻度				問10	問14
⑫ 本庁舎への訪問経験	—	—	—	問25	問17
⑬ 本庁舎への訪問理由及び訪問回数	—	—	—	問26・27	問19

### (3)集計分析項目

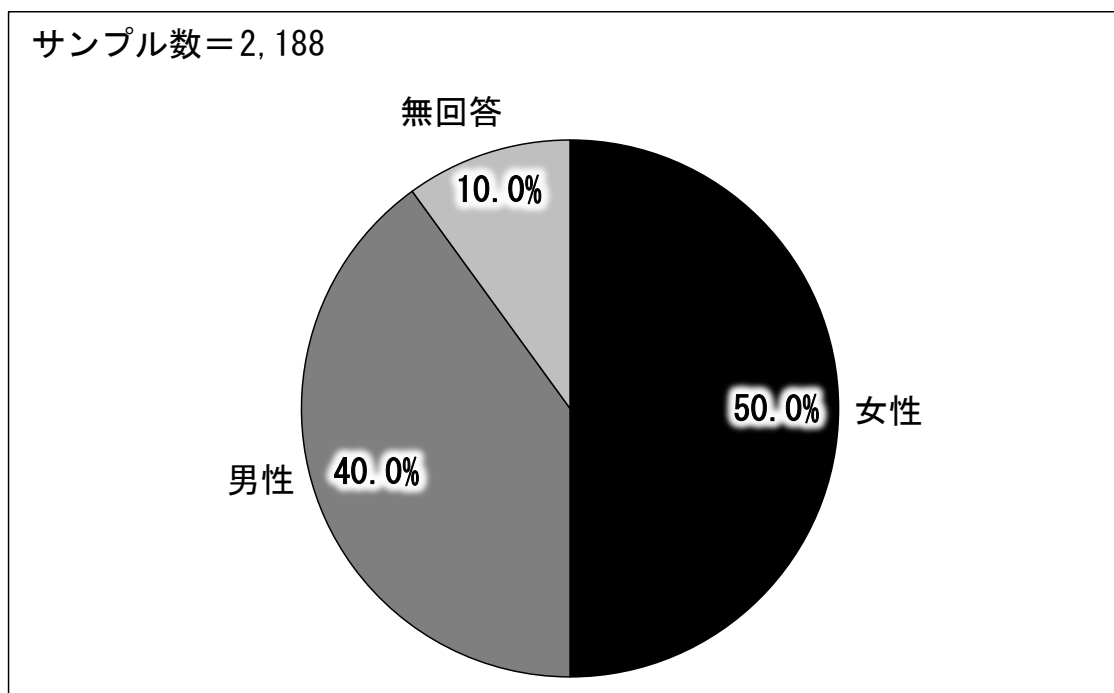
本調査では、設問ごとの単純集計のほか、属性項目及び設問選択肢と各設問とのクロス集計分析を行っている。その結果、特に有用であると考えられる次の集計結果を報告書に掲載している。

図表3 集計分析項目一覧

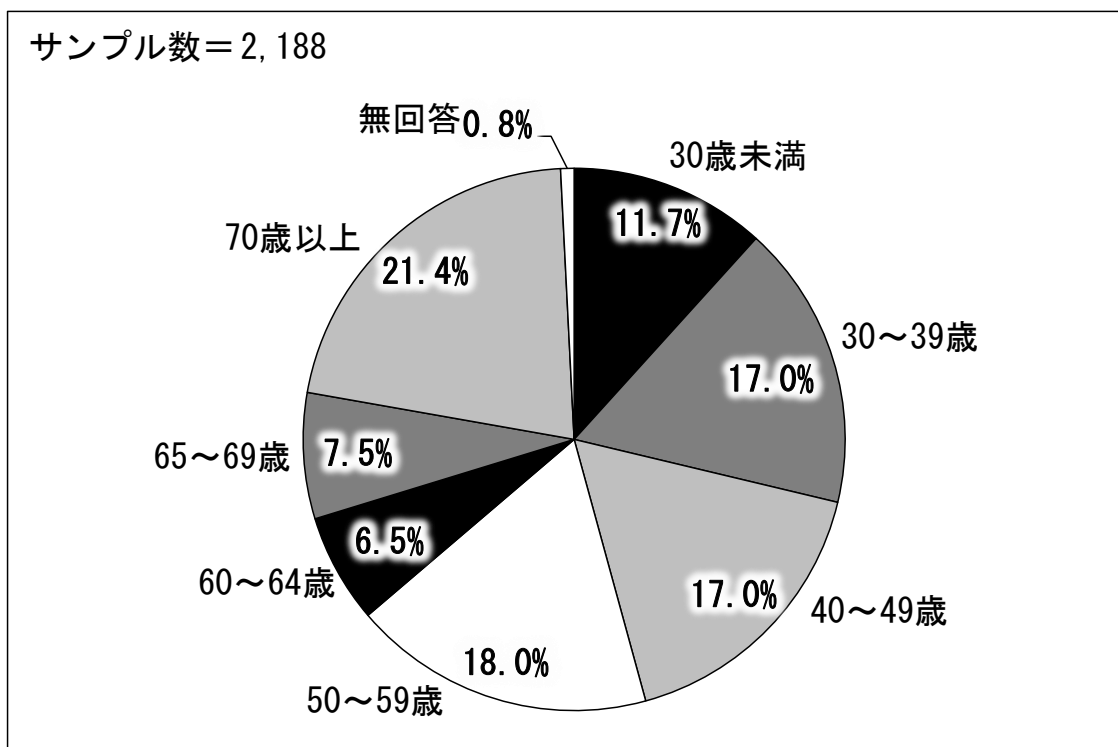
設問	分析項目	単純集計	経年比較	CS分析	クロス分析							
					F1性別	F2年齢	F4居住年数	F5職業	F7居住形態	F8世帯構成	F9同居家族	
属性項目		●										
自由記述		●										
<b>西東京市のまちづくり全般について</b>												
問1	西東京市への愛着度	●	●		●	●	●		●	●		
問2	日ごろの住み心地	●	●		●	●	●		●	●		
問2-2	住み心地がよいと感じる理由	●			●							
問2-3	住み心地がよくないと感じる理由	●			●							
問3	継続居住意向	●	●		●	●	●		●	●		
問4	転出希望理由	●	●		●	●	●		●	●		
問4-2	具体的な転出希望事由(自由記述)	●										
問5	身近な生活環境における困りごと(第1位～第3位)	●			●	●						●
<b>市政に対して思うことについて</b>												
問6	市政全般への評価	●	●		●	●	●		●	●		
問7	施策別の満足度・重要度	●	●	●								
<b>「健康」応援都市について</b>												
問8	まち全体の「健康」達成に向けて重要な要素	●			●	●	●	●	●	●	●	●
<b>あなたの暮らしの希望について</b>												
問9	子育て全般への満足度【未就学児のいる保護者のみ】	●										
問9-2	子育て全般に満足している理由【未就学児のいる保護者のみ】	●										
問9-3	育て全般に不満を感じる理由【未就学児のいる保護者のみ】	●										
問10	西東京市のイメージと暮らしたいまちのイメージ	●										
問11	ライフステージ別に住みたいまち【18～39歳のみ】	●			●							
<b>西東京市の公共施設について</b>												
問12	過去1年間における公共施設等の利用状況	●			●	●						
問13	公共施設等を利用していない理由	●			●	●						
問14	公共施設別の利用頻度	●			●	●						
問15	今後の公共施設のあり方	●			●	●						
<b>庁舎統合について</b>												
問16	本庁舎整備統合の認知	●			●	●						
問17	本庁舎への訪問経験	●			●	●						
問18	本庁舎訪問時の交通手段	●			●	●						
問19	過去1年間における用件別の本庁舎訪問回数	●										
問20	両庁舎での手続き経験(1庁舎で手続きが完了しなかった場合)	●			●	●		●				●
問21	統合庁舎の立地条件として重視すること	●										
問22	統合庁舎において重視する機能(事務所機能を除く)	●										
問23	庁舎統合に関する情報提供として望ましい方法	●				●						

## 6. 回答者の基本属性

### (1) 性別



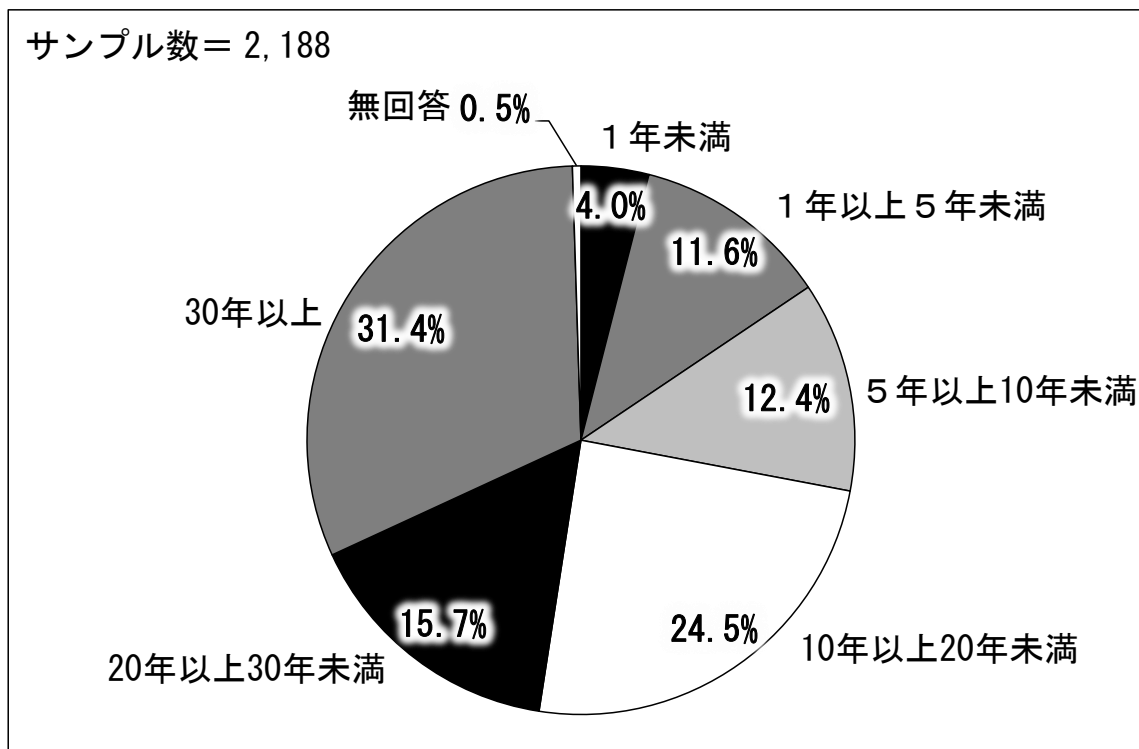
### (2) 年齢



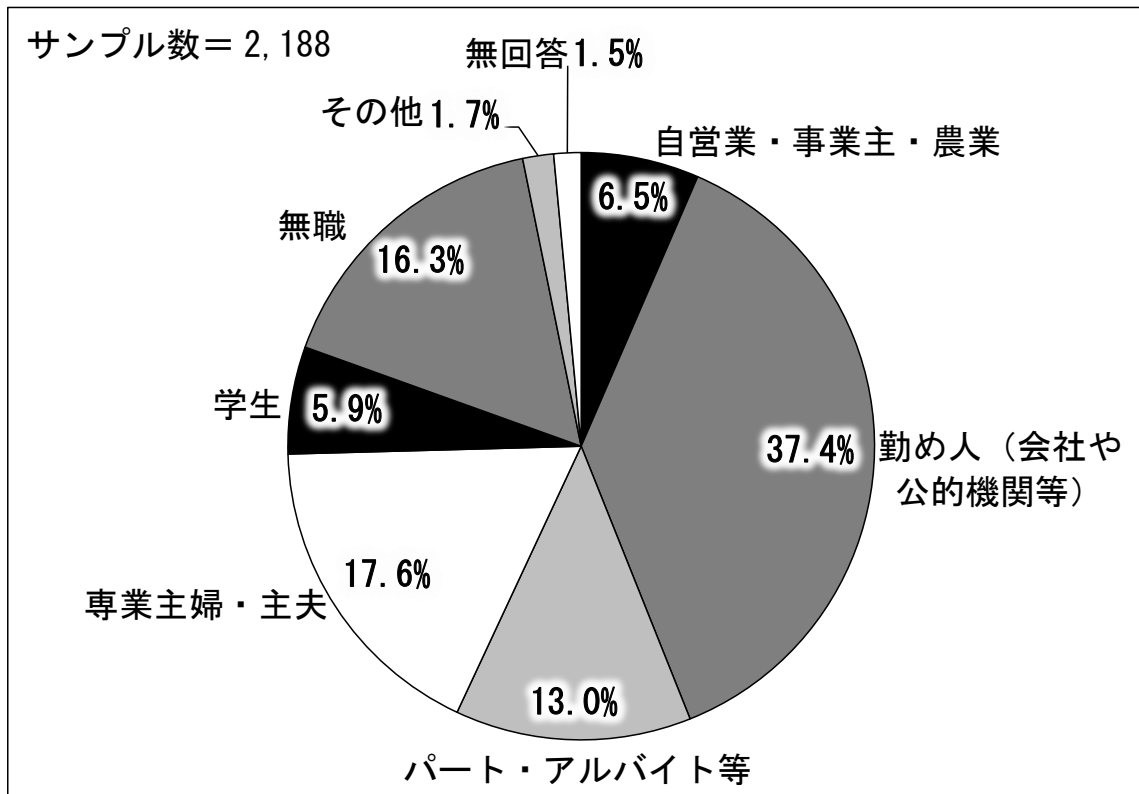
### (3) 居住地区

町名/丁目	一丁目	二丁目	三丁目	四丁目	五丁目	六丁目	七丁目	不明	TOTAL
田無町	13	13	16	21	16	12	29	25	145
南町	17	17	24	19	17	16		16	126
西原町	11	4	16	26	11			9	77
緑町	15	13	6					10	44
谷戸町	26	72	36					15	149
北原町	25	8	20					2	55
向台町	33	18	29	47	9	24		16	176
芝久保町	66	35	34	37	27			16	215
新町	15	7	4	10	28	19		9	92
柳沢	18	36	20	4	30	15		15	138
東伏見	3	14	12	15	6	1		8	59
保谷町	13	2	23	10	37	32		4	121
富士町	35	15	7	34	10	10		14	125
中町	5	12	13	6	18	17		5	76
東町	15	12	17	20	6	10		6	86
泉町	14	17	16	10	14	23		5	99
住吉町	19	6	14	9	6	12		5	71
ひばりが丘	21	23	23	19				5	91
ひばりが丘北	10	13	10	12				5	50
栄町	17	14	6					1	38
北町	5	12	7	6	19	3		3	55
下保谷	9	25	20	11	25			3	93
無回答									7
								TOTAL	2,188

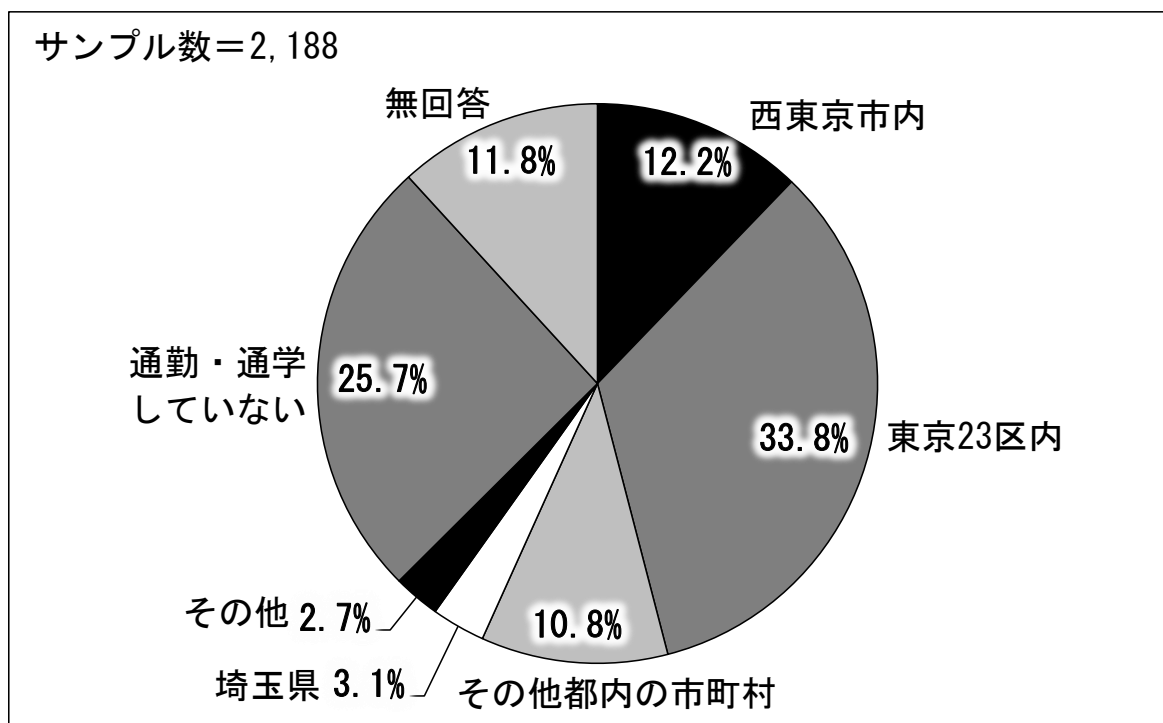
### (4) 居住年数



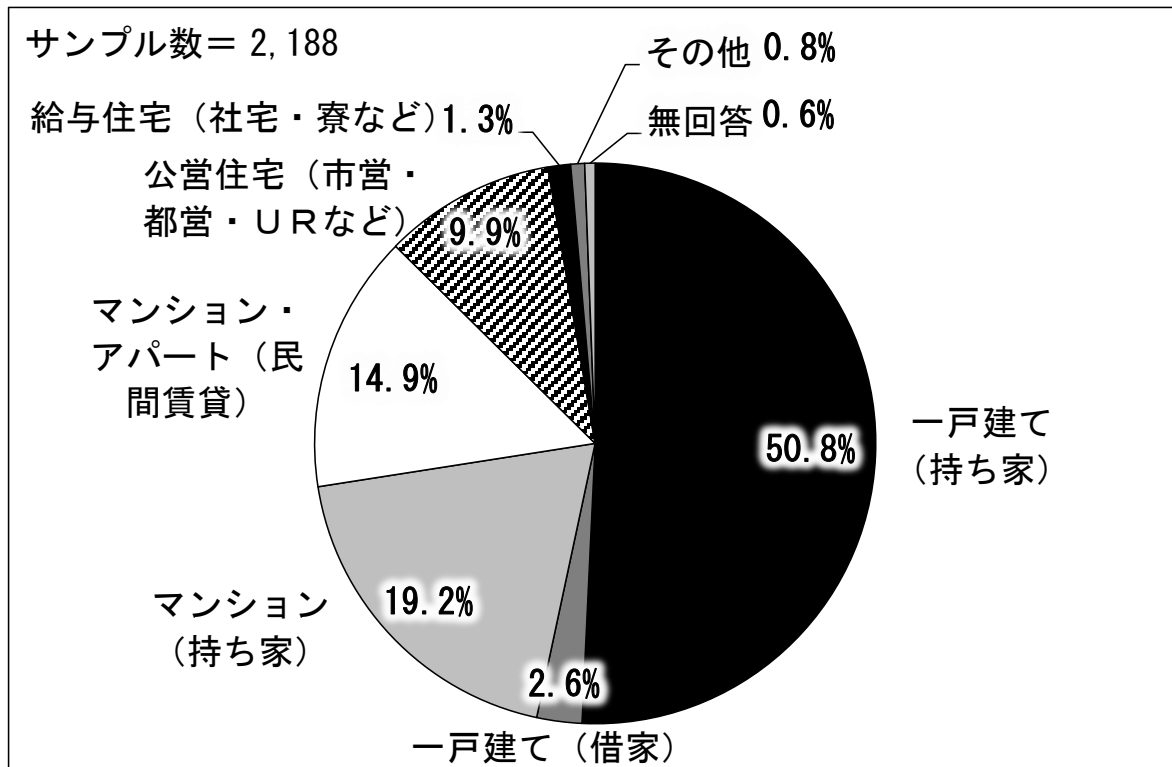
### (5)職業



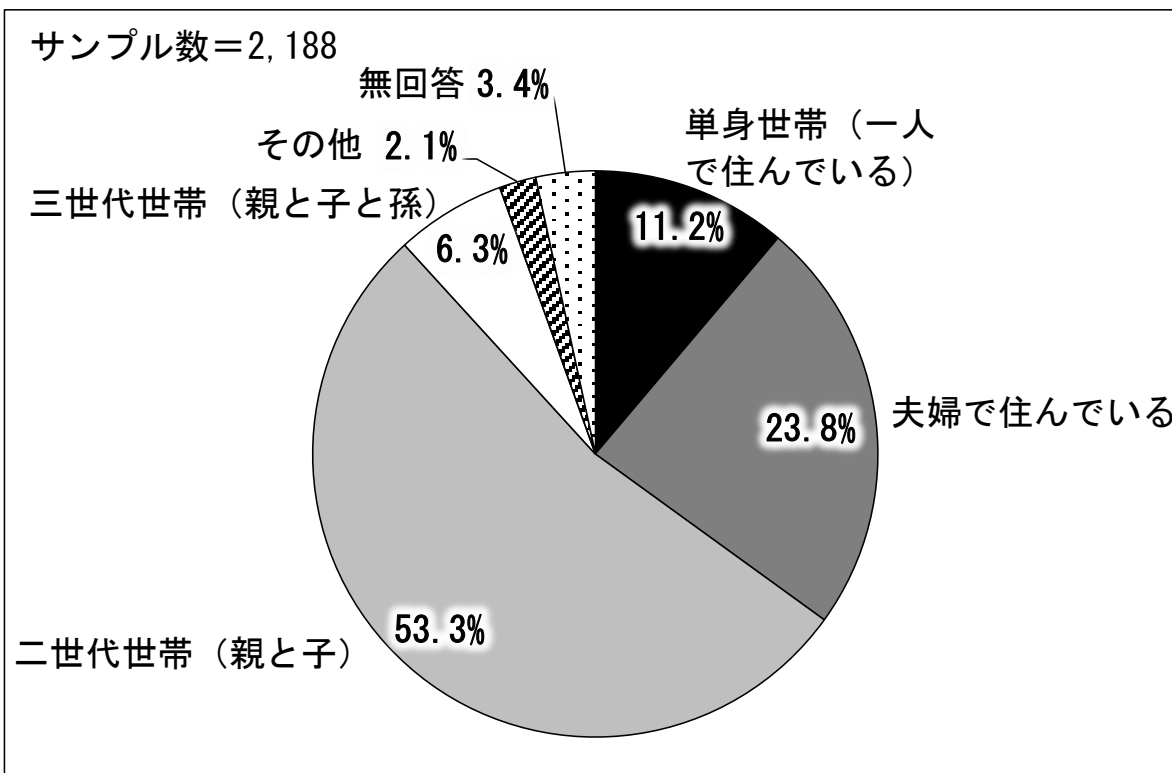
### (6)通勤・通学先



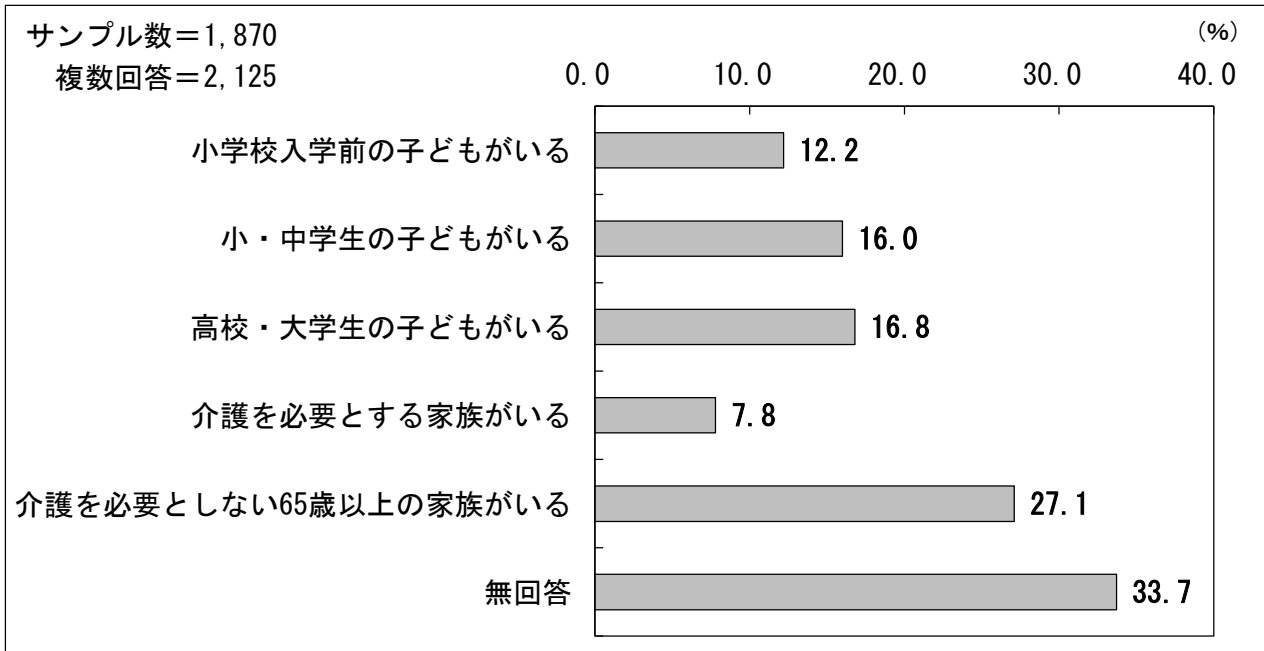
### (7) 居住形態



### (8) 世帯構成

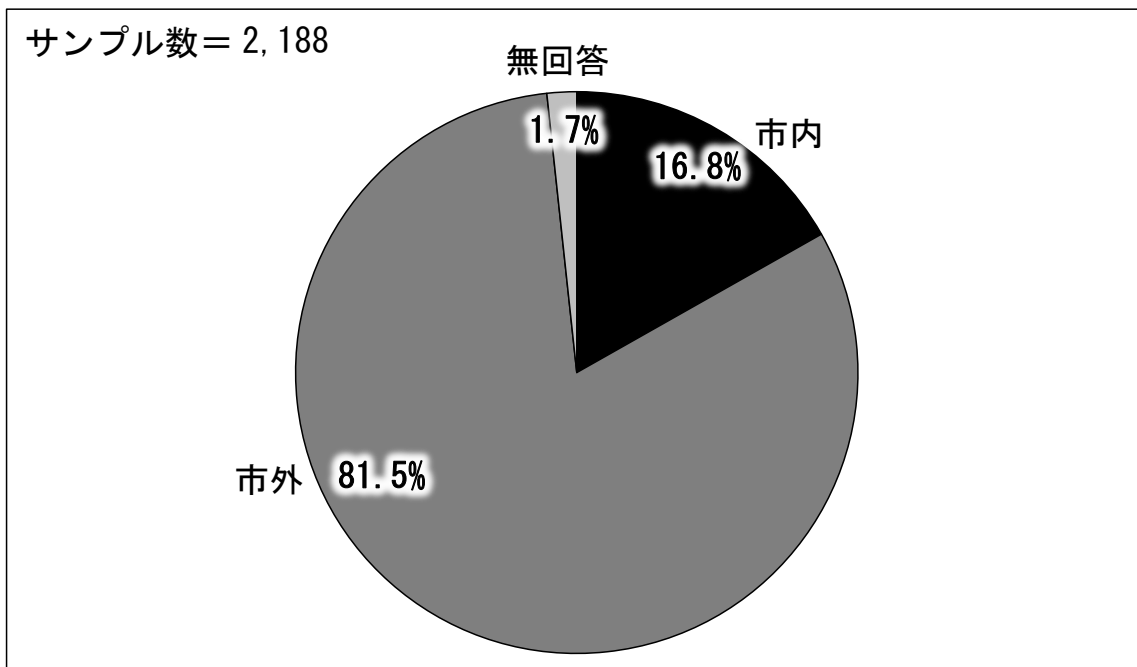


### (9)同居家族(複数回答)



注) 「世帯構成」として同居家族がいるもの(「夫婦で住んでいる」、「二世帯世帯(親と子)」、「三世帯世帯(親と子と孫)」、「その他」)を選択した人数をサンプル数としている。

### (10)出身地





## 第2章 調査結果の概要

### 1. 西東京市のまちづくり全般について

#### (1) 西東京市への愛着度

愛着を「感じている」は36.5%、「どちらかというと感じている」は32.1%で、合わせて68.6%となっている。一方、「どちらかというと感じていない」は6.4%、「感じていない」は4.3%で、合わせて10.7%となっている。

#### (2) 日ごろの住み心地

「満足している」は22.4%、「やや満足している」は41.0%で、合わせて63.4%となっている。一方、「やや不満である」は19.6%、「不満である」は3.9%で、合わせて23.5%となっている。

#### (3) 住み心地がよいと感じる理由

日ごろの住み心地で「満足している」「やや満足している」と回答した人<sup>1</sup>の『満足』理由としては「まわりに緑や公園が多い」が44.9%で最も多く、次いで「買い物に便利である」が38.2%、「通勤・通学に便利である」が27.9%となっている。

#### (4) 住み心地がよくないと感じる理由

日ごろの住み心地で「やや不満である」「不満である」と回答した人<sup>2</sup>の『不満』の理由としては、「買い物に不便である」が26.8%で最も多く、次いで「通勤・通学に不便である」が14.8%、「街並みや景観、雰囲気がよくない」が14.2%となっている。

#### (5) 継続居住意向

「これからも住み続けたい」は40.4%、「当分は住み続けたい」は34.6%で、合わせて75.0%となっている。一方、「できれば市外に転出したい」は7.0%、「市外に転出したい」は1.6%、「市外に転出する予定がある」は2.0%で、合わせて10.6%となっている。

#### (6) 転出希望理由

継続居住意向で「できれば市外に転出したい」「市外に転出したい」「市外に転出する予定がある」と回答した人<sup>3</sup>234人の転出希望理由としては、「交通が不便」が33.8%で最も多く、次いで「日常の買い物が不便」が22.6%、「住宅の事情から」が21.8%、「道路等の都市環境が整っていない」が20.5%となっている。

#### (7) 具体的な転出希望理由(自由記述)

転出したい(転出する)理由としては、「買い物環境・まちの活気」、「道路・交通環境」等が挙げられている。

<sup>1</sup> 『満足』あるいは『不満』の理由について、恣意的にならない範囲でなるべく多くの回答者の意向を汲むことができるよう、日ごろの住み心地については「無回答」だが、『満足』あるいは『不満』どちらか一方の理由のみ回答している人を母集団に含めている。他の設問についても同様の処理を行っているものがあるが、処理を行う趣旨は同じである。

<sup>2</sup> 同上

<sup>3</sup> 継続居住意向については「無回答」だが、転出希望事由のみ回答している人を母集団に含めている。

## (8)身近な生活環境における困りごと(第1位～第3位)

第1位としては「健康・病気に関すること」が16.0%で最も多く、次いで「困っていることは特にない」が14.8%、「子育て・教育・学校に関すること」が10.3%となっている。

第2位としては「健康・病気に関すること」が9.9%で最も多く、次いで「介護に関すること」が8.9%、「国民健康保険・年金等に関すること」が8.3%となっている。

第3位としては「国民健康保険・年金等に関すること」が8.1%で最も多く、次いで「収入・財産の管理、税金等に関すること」が7.2%となっている。

## 2. 市政に対して思うことについて

---

### (1)市政全般への評価

「どちらともいえない」が46.9%で最も多くなっている。

「満足している」は6.5%、「やや満足している」は17.1%で、合わせて23.6%となっている。一方、「やや不満である」は12.8%、「不満である」は3.6%で、合わせて16.4%となっている。

### (2)施策別の満足度・重要度

分野別の満足度平均ポイントでは、『行政運営』が0.26ポイントで最も高く、次いで『芸術文化』が0.19ポイントとなっている。また、項目別の満足度平均ポイントでは、「市報の内容」が0.54ポイントで最も高く、「自転車を利用しやすいまちづくり」が▲0.63ポイントで最も低くなっている。

分野別の重要度平均ポイントでは、『まちづくり』が1.33ポイントで最も高く、次いで『子ども』が1.32ポイントとなっている。また、項目別の重要度平均ポイントでは、「大規模地震などへの災害対策」が1.59ポイントで最も高く、「NPO活動に対する支援」が0.42ポイントで最も低くなっている。

## 3. 「健康」応援都市について

---

### (1)まち全体の「健康」達成に向けて重要な要素

第1位としては、「都市環境・居住環境」が26.4%で最も多く、次いで「保健医療・予防活動」が24.5%となっている。

第2位としては、「保健医療・予防活動」が17.6%で最も多く、次いで「都市環境・居住環境」が16.6%、まちの「アクセス・利便性」が11.3%、「地域福祉・コミュニティ」が10.7%となっている。

第3位としては、「都市環境・居住環境」が14.1%で最も多く、次いで「保健医療・予防活動」が11.6%、「地域経済」が10.9%となっている。

## 4. あなたの暮らしの希望について

### (1)子育て全般への満足度【未就学児のいる保護者のみ】

「満足している」が7.9%、「やや満足している」が27.1%で、合わせて35.0%となっている。一方で、「やや不満である」が34.1%、「不満である」が13.1%で、合わせて47.2%となっている。

### (2)子育て全般に満足している理由

第1位としては、「小児科などの医療施設が整っている」「子どもを安心して遊ばせることのできる場所が充実している」がそれぞれ29.6%で最も多くなっている。

第2位としては、「小児科などの医療施設が整っている」が21.0%で最も多く、次いで「子どもを安心して遊ばせることのできる場所が充実している」が16.0%、「子どもの健康診査・相談事業が充実している」が13.6%となっている。

第3位としては、「子どもを安心して遊ばせることのできる場所が充実している」が16.0%で最も多く、次いで「子どもの健康診査・相談事業が充実している」が14.8%となっている。

### (3)子育て全般に不満を感じる理由

第1位としては、「保育園など保育施設に入園しにくい」が51.8%で最も多くなっている。

第2位としては、「子どもを連れて移動がしにくい」が19.3%で最も多く、次いで「子どもの教育にかかる費用の助成制度が不十分である」が15.8%となっている。

第3位としては、「子どもの教育にかかる費用の助成制度が不十分である」が20.2%で最も多く、次いで「子どもを安心して遊ばせることのできる場所が不足している」が14.9%となっている。

### (4)西東京市のイメージと暮らしたいまちのイメージ

西東京市のイメージ<sup>4</sup>として、「都心部に近く、交通・生活が便利である」が54.7%で最も多く、次いで「まちなかの自然（公園、農地等）が豊かである」が53.7%となっている。

暮らしたいまちのイメージ<sup>5</sup>として「安全・安心に暮らせる」が61.5%で最も多く、次いで「まちなかの自然（公園、農地等）が豊かである」が48.6%、「医療・福祉の環境が整っている」が46.5%となっている。

### (5)ライフステージ別住みたいまち【18～39歳のみ】

未就業の方が就職したら住みたいまちでは、「23区内（練馬区除く）」が34.9%で最も多く、次いで「市内」が33.6%となっている。

未婚の方が結婚したら住みたいまちでは、「23区内（練馬区除く）」が19.9%で最も多く、次いで「市内」が16.3%、「近隣区市部<sup>6</sup>」が14.6%となっている。

（次の）子どもができたなら住みたいまちでは、「市内」が37.3%で最も多く、次いで「近隣区市部」が18.6%、「23区内（練馬区除く）」が16.7%となっている。

高齢になったら住みたいまちでは、「市内」が38.3%で最も多く、次いで「近隣区市部」が16.5%、「他都道府県（新座市除く）」が15.4%となっている。

<sup>4</sup> 選択肢の中から5つまで選択可としている。

<sup>5</sup> 同上

<sup>6</sup> 近隣区市部は、練馬区、武蔵野市、小金井市、小平市、東久留米市、新座市を指す。

## 5. 西東京市の公共施設について

---

### (1) 過去1年間における公共施設等の利用状況

「利用した」は61.2%、「利用していない」は32.5%となっている。

### (2) 公共施設等を利用していない理由

公共施設を「利用していない」<sup>7</sup>理由として「利用する機会がないから」が61.9%となっている。

### (3) 公共施設別の利用頻度

公共施設の利用頻度では、年1回以上利用している割合は、図書館が65.3%で最も多く、次いで文化施設の44.7%、出張所の33.7%となっている。

### (4) 今後の公共施設のあり方

「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」を合わせた割合が最も多いのは「近隣自治体との施設の相互利用を図る」で64.6%となっている。

---

<sup>7</sup> 過去1年間における公共施設等の利用状況については「無回答」だが、利用していない理由のみ回答している人を母集団に含めている。

## 6. 庁舎統合について

---

### (1)本庁舎整備統合の認知

「知っている」は46.5%、「知らない」は48.2%となっている。

### (2)本庁舎への訪問経験

「両庁舎とも行ったことがある」は56.9%となっている。「田無庁舎にのみ行ったことがある」は24.2%、「保谷庁舎にのみ行ったことがある」は14.6%となっている。

### (3)本庁舎訪問時の交通手段

田無庁舎では、「自転車」が36.8%で最も多く、次いで「徒歩」が19.3%、「自家用車」が17.6%となっている。

保谷庁舎では、「自転車」が40.2%で最も多く、次いで「自家用車」が23.7%、「バス」が14.8%となっている。

### (4)過去1年間における用件別の本庁舎訪問回数

田無庁舎では、「戸籍や住民票、印鑑登録に関すること」で訪問経験のある人は50.7%で最も多く、次いで「国民健康保険、国民年金に関すること」が21.3%、「税金に関すること」が20.6%、「選挙に関すること」が20.2%となっている。

保谷庁舎では、「戸籍や住民票、印鑑登録に関すること」で訪問経験のある人は37.7%で最も多く、次いで「健康や福祉に関すること」が18.7%、「選挙に関すること」が15.8%となっている。

### (5)両庁舎での手続き経験(1庁舎で手続きが完了しなかった場合)

「ない」は68.7%、「ある」は8.5%となっている。

### (6)統合庁舎の立地条件として重視すること

「鉄道・バスなど、公共交通の利便性がよい場所」が81.3%で最も多く、次いで「道路網が整備されており、車での交通利便性のよい場所」が29.8%となっている。

### (7)統合庁舎において重視する機能(事務所機能を除く)

「十分な台数を確保した駐車場・駐輪場」が44.4%で最も多く、次いで「市民も利用できる食堂(レストラン)や飲食スペース」が31.0%、「イベントなどに利用できる多目的スペース」が26.5%となっている。

### (8)庁舎統合に関する情報提供として望ましい方法

「市報(広報西東京)、市のホームページ」が88.1%で最も多く、次いで「市のSNS(Facebook、Twitter)」が21.5%となっている。

# 第3章 調査結果

## 1. 西東京市のまちづくり全般について

### (1) 西東京市への愛着度

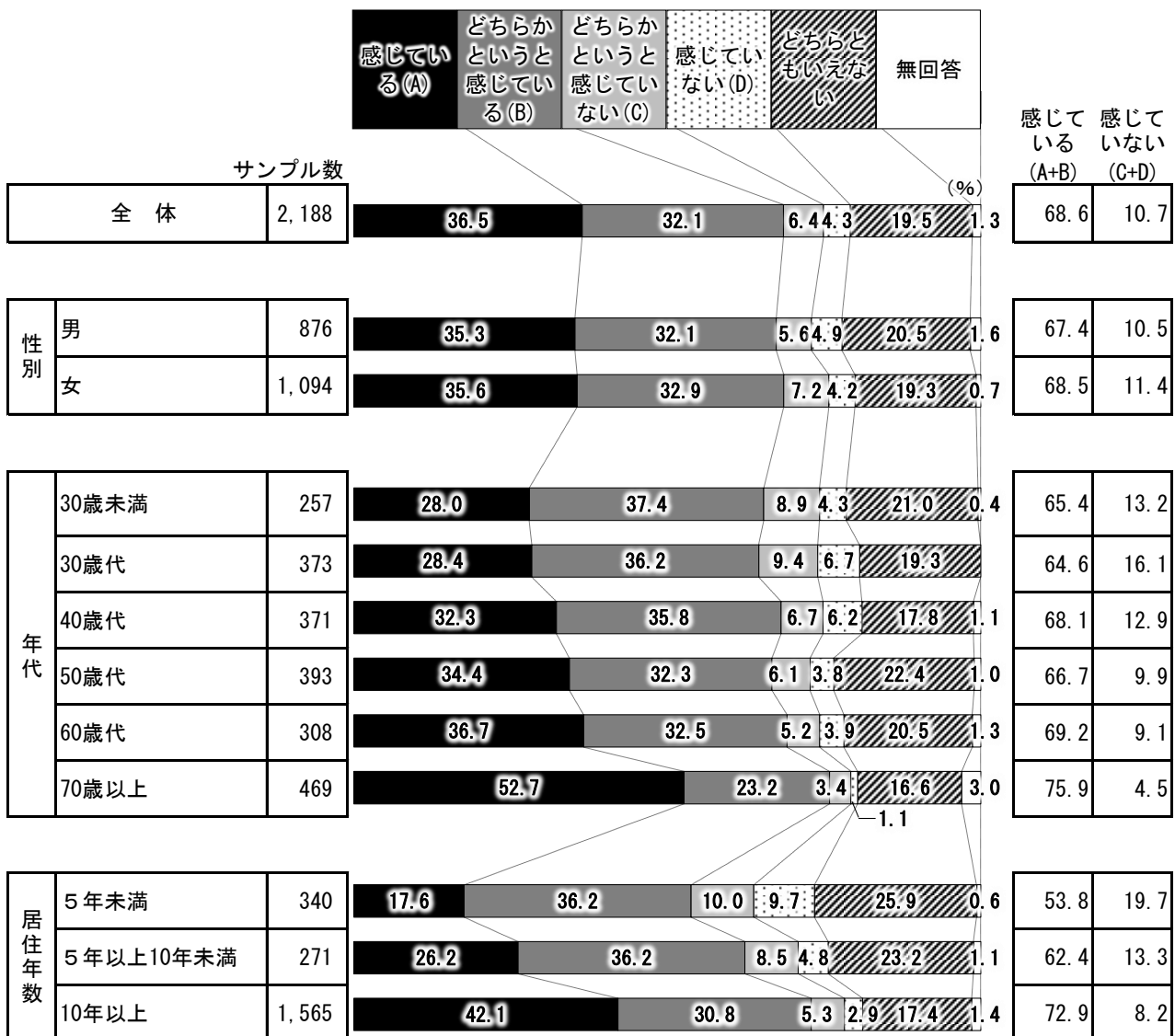
【問1】あなたは、西東京市に愛着を感じていますか。（○は1つだけ）

西東京市に愛着を感じているかについては、「感じている」が36.5%で最も多く、次いで「どちらかというと感じている」が32.1%となっている。「感じている」、「どちらかというと感じている」を合わせる（以下『感じている』と表記する。）と68.6%が愛着を感じている。

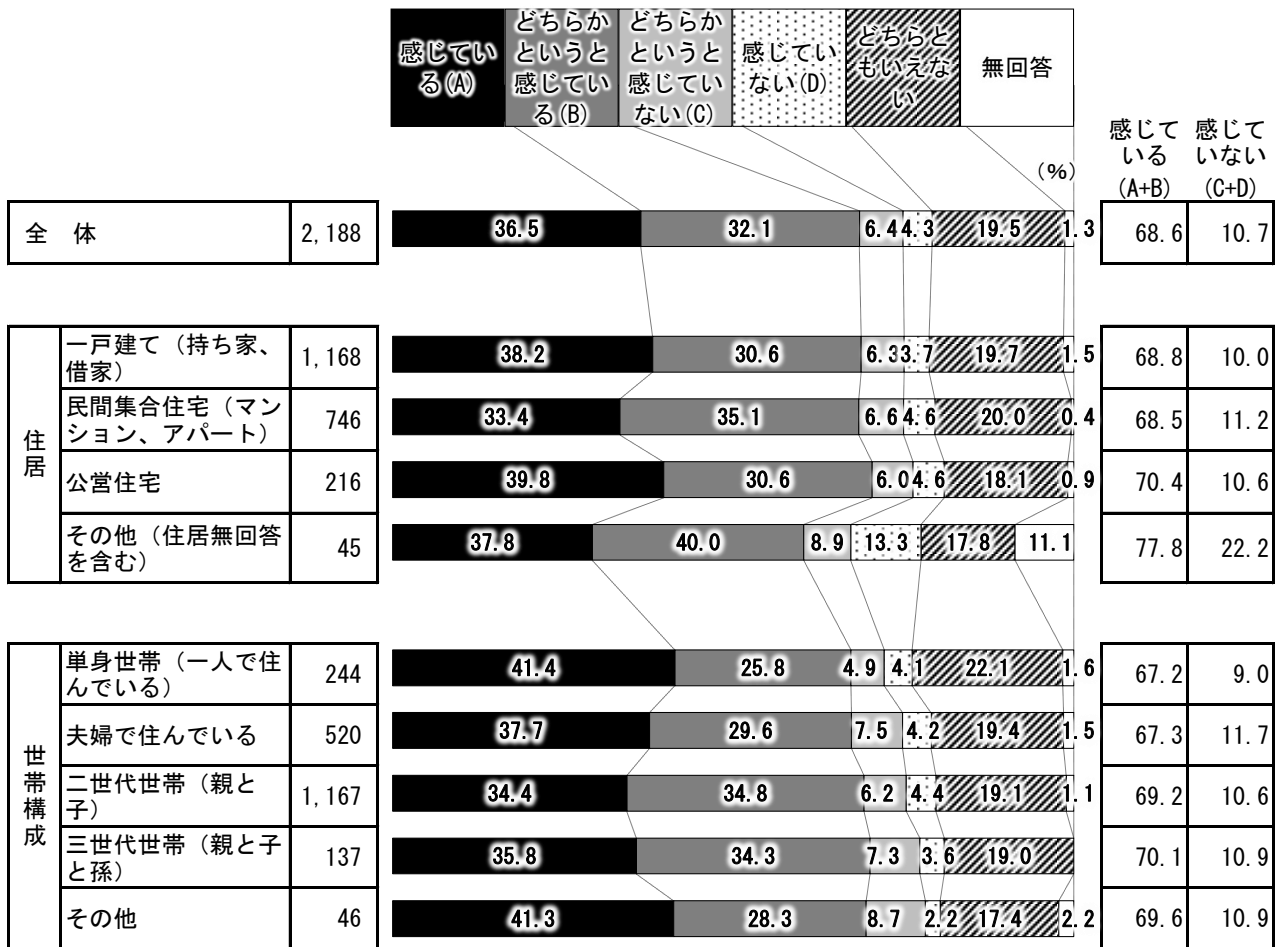
年代別に見ると、おおむね年代が高くなるほど愛着を『感じている』割合が多くなっている。愛着を『感じている』割合が最も高いのは70歳以上で、75.9%となっている。一方、愛着を「どちらかというと感じていない」、「感じていない」を合わせた『感じていない』の割合が最も多いのは30歳代で、16.1%となっている。

居住年数別に見ると、居住年数が長くなるにつれて、愛着を『感じている』割合が多くなっており、居住年数10年以上では、72.9%となっている。

#### <性別・年代別・居住年数別>



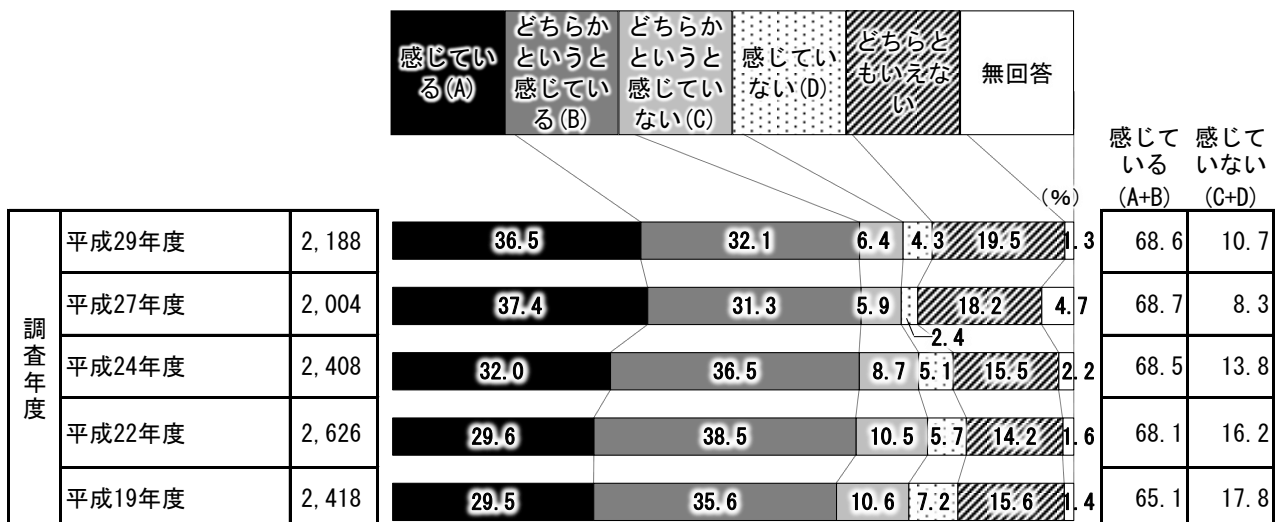
<住居別・世帯構成別>



<経年比較>

西東京市に愛着を『感じている』割合は、平成22年度調査からの推移を見ると、68%台で横ばいとなっており、今回の調査では68.6%と、平成19年度調査と比較して3.5ポイント多くなっている。

一方、愛着を『感じていない』割合は10.7%で、平成19年度調査と比較して7.1ポイント少なくなっている。平成19年度調査からの推移を見ると、『感じていない』の割合は、前回調査までは減少が続いていたが、今回の調査では、前回調査と比較して2.4ポイント多くなっている。



## (2) 日ごろの住み心地

【問2】あなたは、日ごろの住み心地についてどのように感じていらっしゃいますか。  
(○は1つだけ)

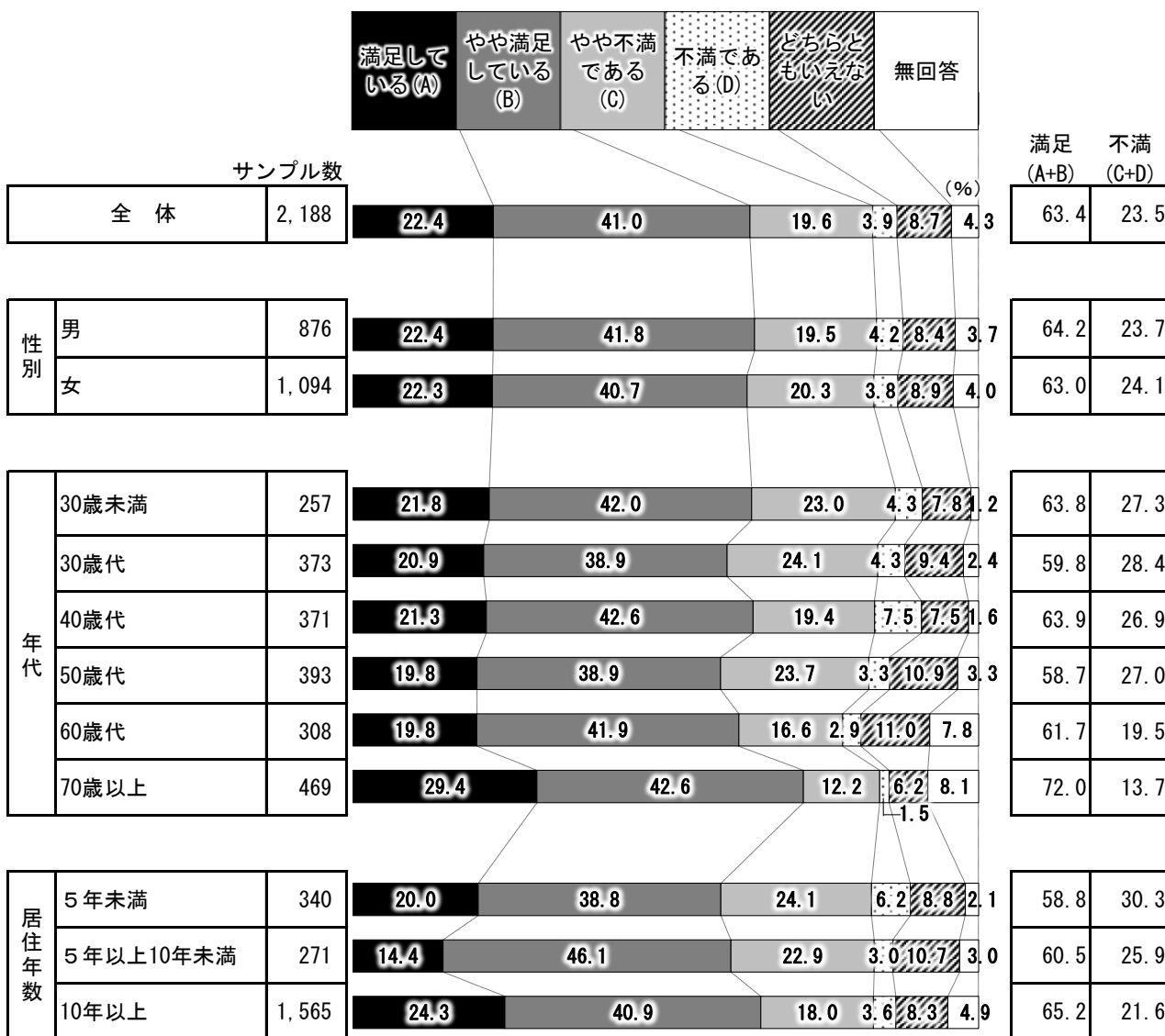
西東京市の日ごろの住み心地については、「やや満足している」が41.0%で最も多くなっている。次いで「満足している」が22.4%であり、「満足している」、「やや満足している」を合わせて63.4%が『満足』と回答している。

年代別に見ると、『満足』の割合が最も多いのは70歳以上の72.0%で、「満足している」についても最も多い29.4%となっている。

「やや不満である」、「不満である」を合わせた『不満』の割合は、おおむね年代が高くなるにつれ少なくなっており、最も少ない70歳以上は13.7%となっている。

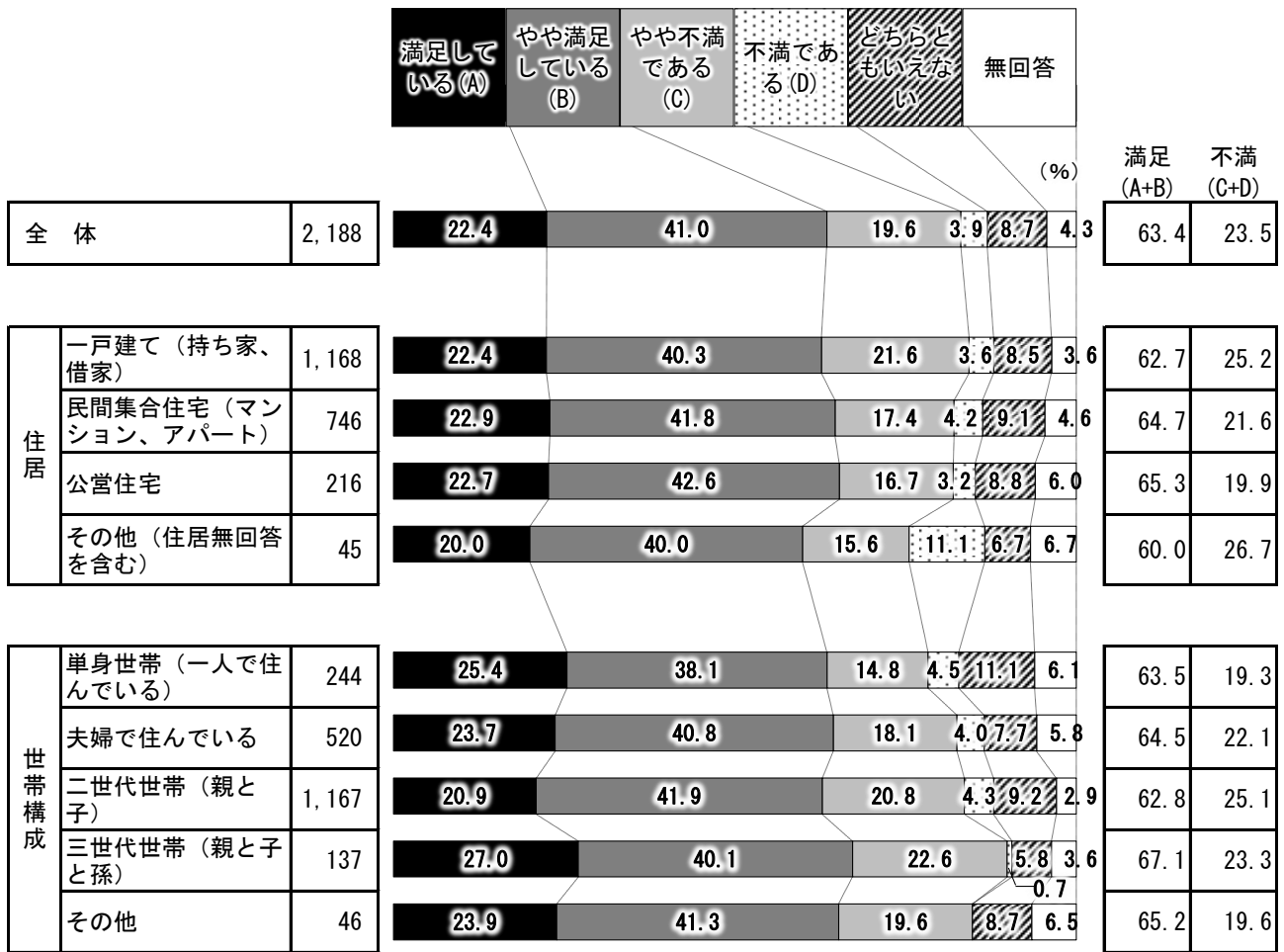
居住年数別に見ると、居住年数が長くなるにつれて、『満足』の割合が多くなっており、居住年数10年以上で65.2%となっている。

### <性別・年代別・居住年数別>





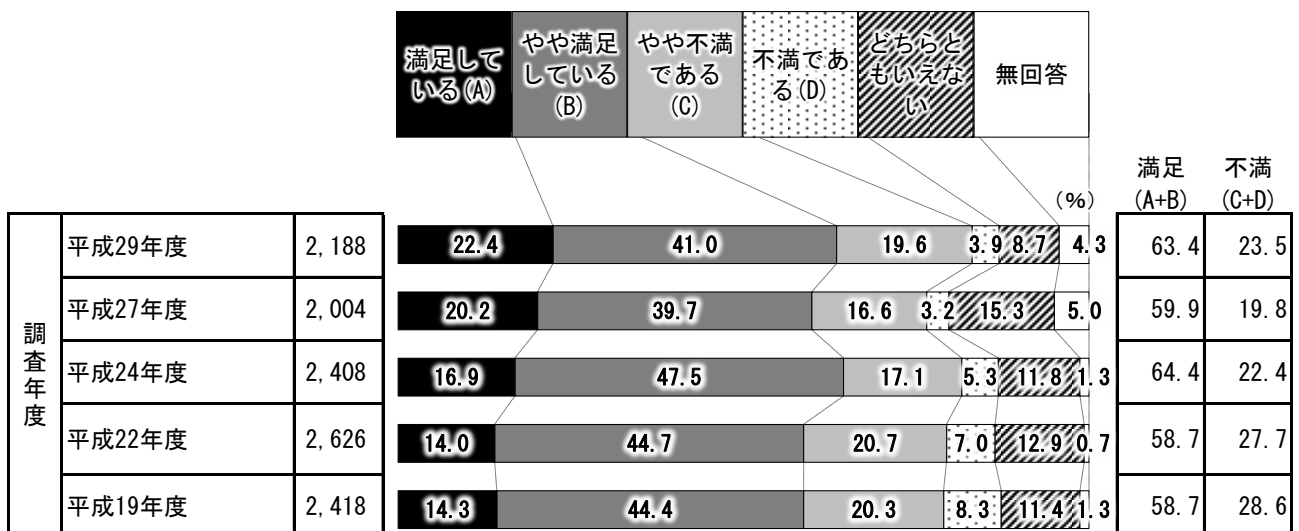
<住居別・世帯構成別>



<経年比較>

西東京市の日ごろの住み心地について『満足』の割合は63.4%で、平成19年度調査と比較して4.7ポイント多くなっている。

一方、『不満』の割合は23.5%で、平成19年度調査と比較して5.1ポイント少なくなっている。平成19年度調査からの推移を見ると、『不満』の割合は前回調査までは減少が続いていたが、今回の調査では、前回調査と比較して3.7ポイント多くなっている。

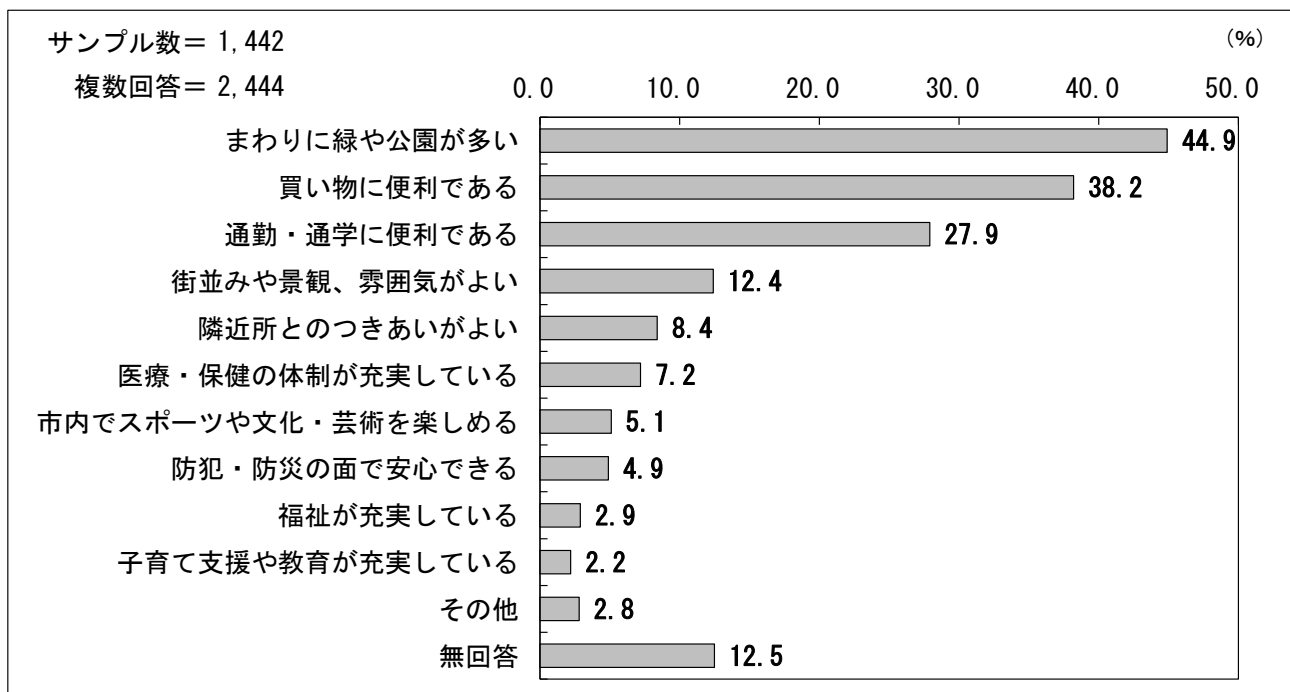


### (3) 住み心地がよいと感じる理由

【問2-2】問2で「1. 満足している」または「2. やや満足している」と答えた方にお聞きします。その主な理由は何ですか。(〇は2つまで)

西東京市の日ごろの住み心地について、満足している理由としては、「まわりに緑や公園が多い」を選択した人が44.9%で最も多く、次いで、「買い物に便利である」の38.2%、「通勤・通学に便利である」の27.9%となっている。

年代別に見ると、30歳代未満では「通勤・通学に便利である」を満足している理由として選択する人が最も多く、30歳代以上では「まわりに緑や公園が多い」を満足している理由として選択する人が最も多い。また、「隣近所とのつきあいがよい」、「医療・保健の体制が充実している」は、おおむね年代が高くなるほど、満足している理由として選択する人の割合が多くなっている。一方で、「街並みや景観、雰囲気が良い」は、おおむね年代が高くなるほど満足している理由として選択する人の割合が少なくなっている。



#### <年代別>

	サンプル数	合計回答数	まわりに緑や公園が多い	子育て支援や教育が充実している	医療・保健の体制が充実している	福祉が充実している	市内でスポーツや文化・芸術を楽しめる	通勤・通学に便利である	買い物に便利である	街並みや景観、雰囲気がよい	防犯・防災の面で安心できる	隣近所とのつきあいがよい	その他	無回答	
全体	1,442 (100.0)	2,444 (169.4)	647 (44.9)	32 (2.2)	104 (7.2)	42 (2.9)	74 (5.1)	402 (27.9)	551 (38.2)	179 (12.4)	71 (4.9)	121 (8.4)	41 (2.8)	180 (12.5)	
年代	30歳未満	165 (100.0)	270 (163.5)	54 (32.7)	1 (0.6)	4 (2.4)	2 (1.2)	9 (5.5)	72 (43.6)	53 (32.1)	31 (18.8)	11 (6.7)	7 (4.2)	7 (4.2)	19 (11.5)
	30歳代	227 (100.0)	383 (168.6)	112 (49.3)	18 (7.9)	7 (3.1)	1 (0.4)	7 (3.1)	72 (31.7)	66 (29.1)	35 (15.4)	9 (4.0)	10 (4.4)	8 (3.5)	38 (16.7)
	40歳代	240 (100.0)	404 (168.4)	106 (44.2)	9 (3.8)	5 (2.1)	2 (0.8)	8 (3.3)	93 (38.8)	91 (37.9)	30 (12.5)	14 (5.8)	12 (5.0)	6 (2.5)	28 (11.7)
	50歳代	239 (100.0)	414 (173.1)	111 (46.4)	3 (1.3)	13 (5.4)	5 (2.1)	10 (4.2)	85 (35.6)	100 (41.8)	28 (11.7)	11 (4.6)	18 (7.5)	6 (2.5)	24 (10.0)
	60歳代	203 (100.0)	344 (169.4)	88 (43.3)	1 (0.5)	18 (8.9)	7 (3.4)	13 (6.4)	51 (25.1)	77 (37.9)	25 (12.3)	10 (4.9)	17 (8.4)	4 (2.0)	33 (16.3)
	70歳以上	362 (100.0)	618 (170.6)	171 (47.2)	0 (-)	56 (15.5)	25 (6.9)	26 (7.2)	28 (7.7)	163 (45.0)	30 (8.3)	15 (4.1)	57 (15.7)	10 (2.8)	37 (10.2)

注：( )内はサンプル数を母数とした割合で単位は%、合計回答数の割合については、各設問の割合を合計している。

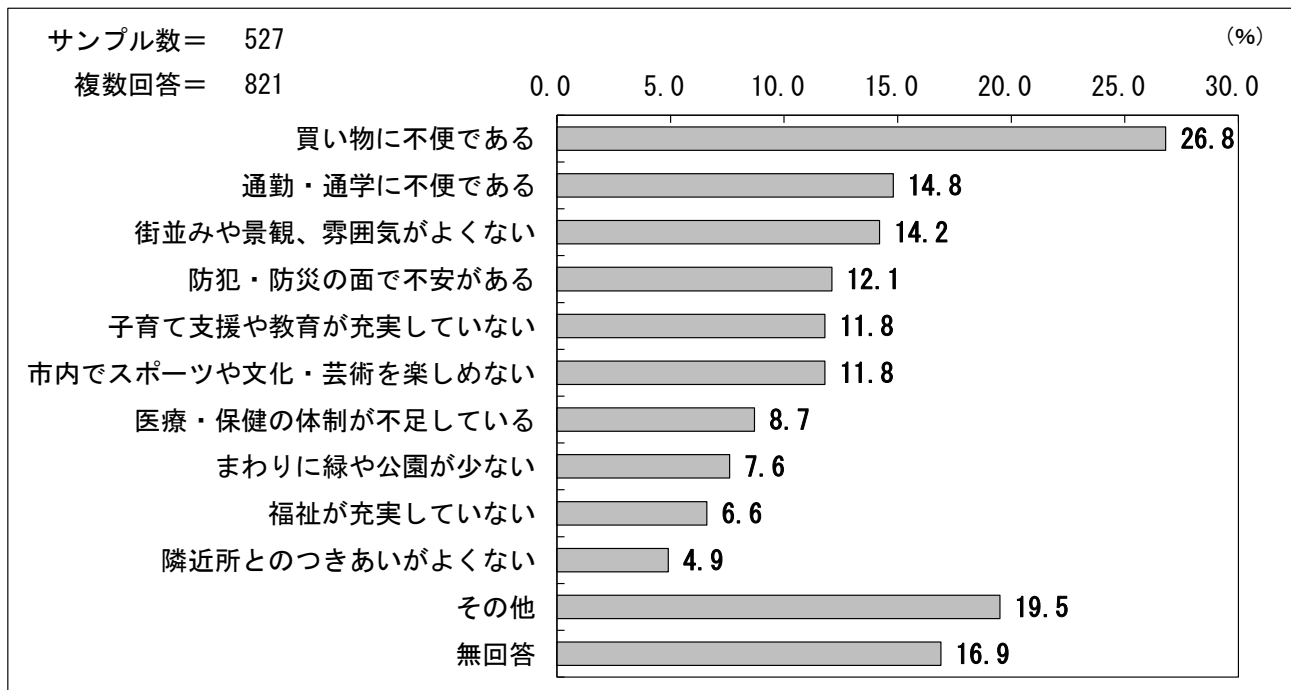
#### (4) 住み心地がよくないと感じる理由

【問2-3】問2で「3. やや不満である」または「4. 不満である」と答えた方にお聞きします。その主な理由は何ですか。(〇は2つまで)

西東京市の日ごろの住み心地について、不満である理由としては、「買い物に不便である」を選択した人が26.8%で最も多く、次いで、「通勤・通学に不便である」の14.8%、「街並みや景観、雰囲気がよくない」の14.2%となっている。

年代別に見ると、30歳未満及び50歳代以上(50歳代、60歳代、70歳代以上)では「買い物に不便である」を不満である理由として選択した人が最も多くなっている。30歳代では、「子育て支援や教育が充実していない」、「買い物に不便である」を選択した人が同率で最も多く、40歳代では「街並みや景観、雰囲気がよくない」を選択した人が最も多くなっている。

「その他」の具体的な理由としては、「道路・交通事情がよくない」、「騒音・マナー」、「商店(特に飲食店)の不足」、「ごみ処理の負担」が多くなっている。



#### <年代別>

	サンプル数	合計回答数	まわりに緑や公園が少ない	子育て支援や教育が充実していない	医療・保健の体制が不足している	福祉が充実していない	市内でスポーツや文化・芸術を楽しめない	通勤・通学に不便である	買い物に不便である	街並みや景観、雰囲気がよくない	防犯・防災の面で不安がある	隣近所とのつきあいがよくない	その他	無回答
全体	527 (100.0)	821 (155.7)	40 (7.6)	62 (11.8)	46 (8.7)	35 (6.6)	62 (11.8)	78 (14.8)	141 (26.8)	75 (14.2)	64 (12.1)	26 (4.9)	103 (19.5)	89 (16.9)
年代	30歳未満	70 (100.0)	2 (2.9)	4 (5.7)	4 (5.7)	3 (4.3)	13 (18.6)	15 (21.4)	28 (40.0)	6 (8.6)	7 (10.0)	2 (2.9)	13 (18.6)	15 (21.4)
	30歳代	107 (100.0)	9 (8.4)	31 (29.0)	7 (6.5)	2 (1.9)	5 (4.7)	20 (18.7)	31 (29.0)	13 (12.1)	12 (11.2)	4 (3.7)	19 (17.8)	18 (16.8)
	40歳代	101 (100.0)	3 (3.0)	15 (14.9)	9 (8.9)	3 (3.0)	11 (10.9)	17 (16.8)	18 (17.8)	21 (20.8)	18 (17.8)	1 (1.0)	18 (17.8)	19 (18.8)
	50歳代	109 (100.0)	12 (11.0)	5 (4.6)	10 (9.2)	10 (9.2)	17 (15.6)	19 (17.4)	22 (20.2)	14 (12.8)	9 (8.3)	5 (4.6)	26 (23.9)	18 (16.5)
	60歳代	64 (100.0)	9 (14.1)	4 (6.3)	8 (12.5)	3 (4.7)	10 (15.6)	7 (10.9)	19 (29.7)	9 (14.1)	5 (7.8)	4 (6.3)	15 (23.4)	7 (10.9)
	70歳以上	67 (100.0)	4 (6.0)	3 (4.5)	8 (11.9)	13 (19.4)	6 (9.0)	-	19 (28.4)	11 (16.4)	12 (17.9)	9 (13.4)	10 (14.9)	10 (14.9)

注：( )内はサンプル数を母数とした割合で単位は%、合計回答数の割合については、各設問の割合を合計している。

## (5) 継続居住意向

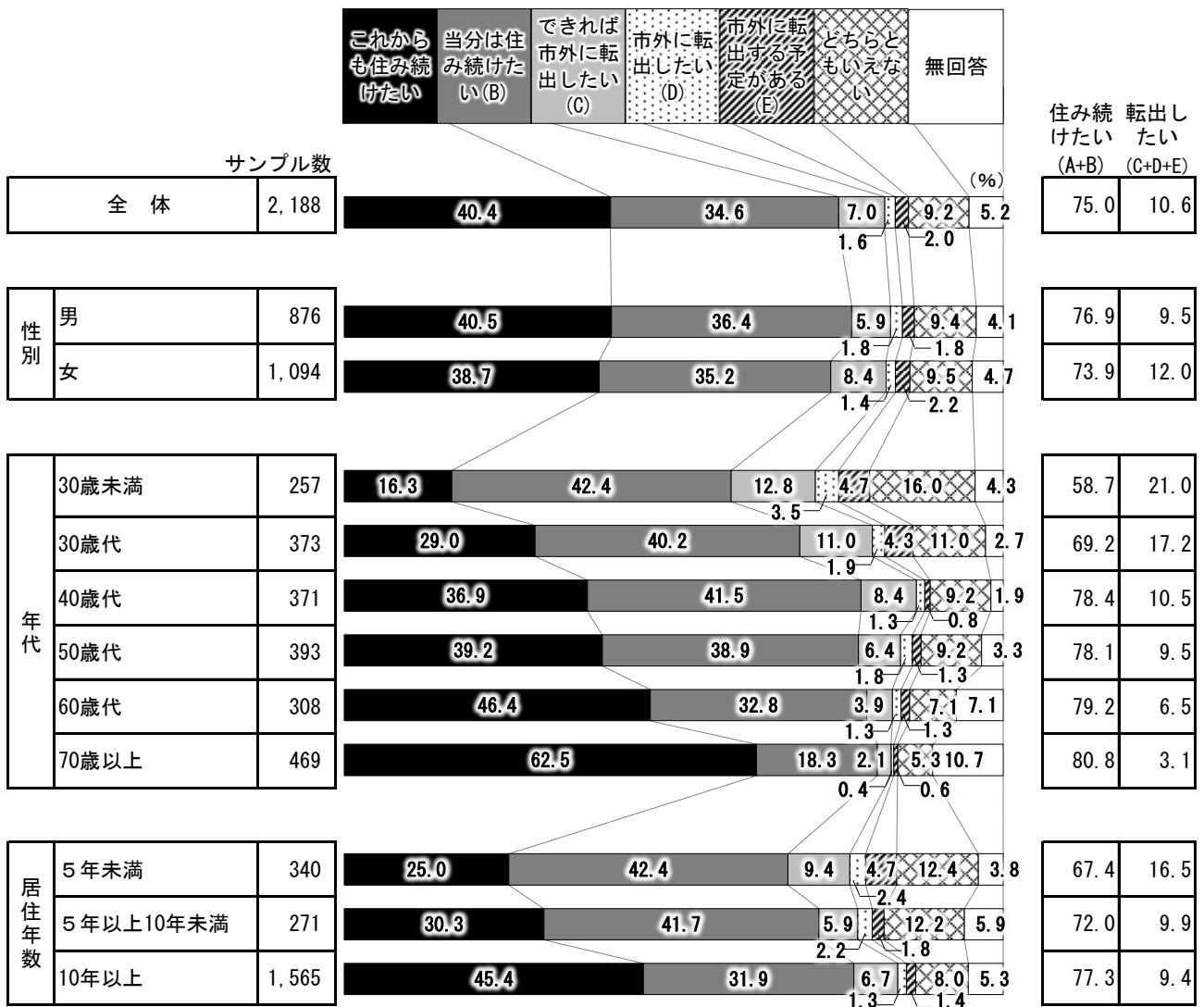
【問3】あなたは、今後も西東京市に住み続けたいですか。（○は1つだけ）

西東京市への今後の居住意向について、「これからも住み続けたい」が40.4%で最も多い。次いで、「当分は住み続けたい」が34.6%となっており、これらを合わせた『住み続けたい』割合は75.0%となっている。一方、「できれば市外に転出したい」、「市外に転出したい」、「市外に転出する予定がある」を合わせた『転出したい』割合は10.6%となっている。

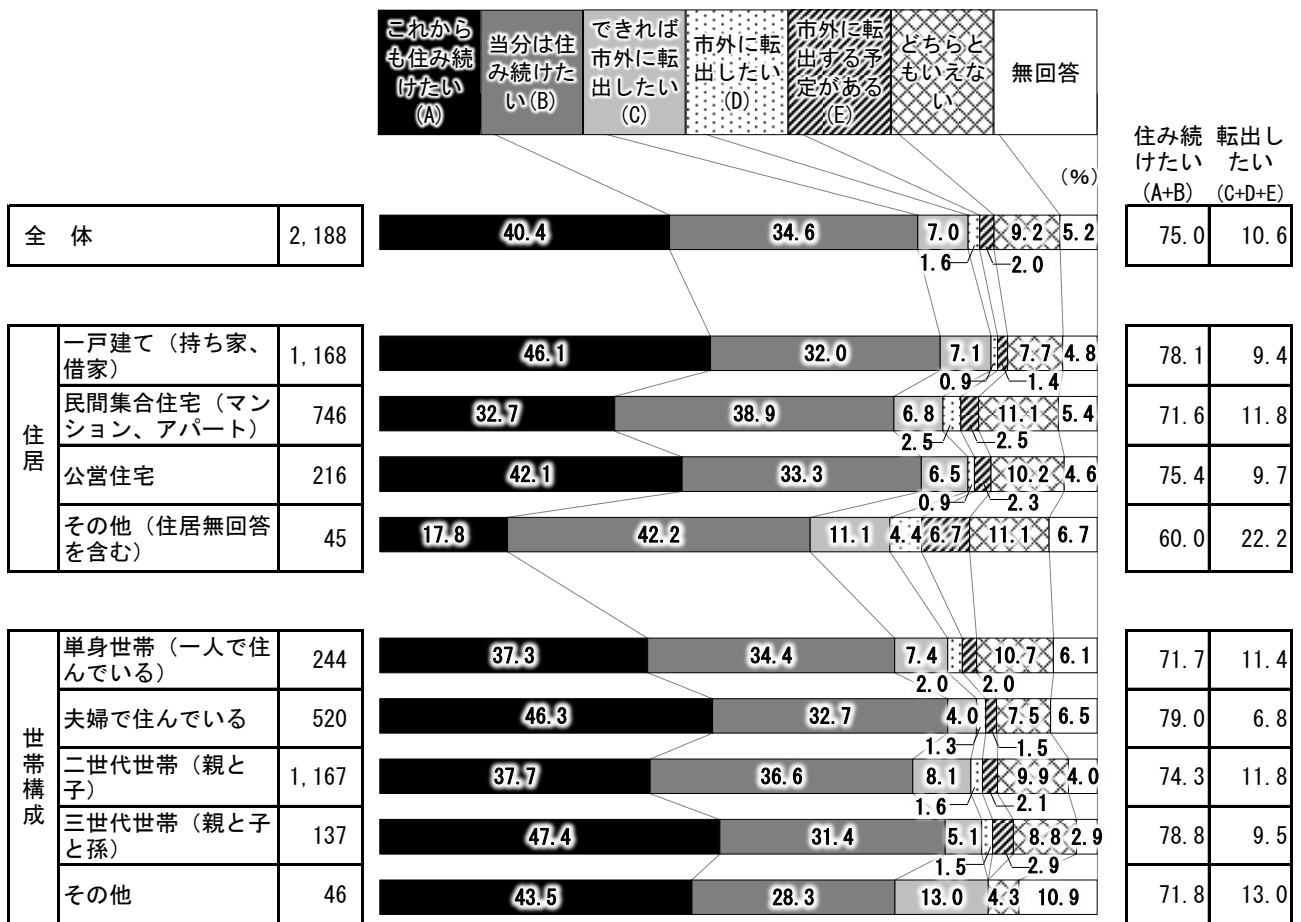
年代別に見ると、おおむね年代が高くなるほど『住み続けたい』割合が多くなっている。『住み続けたい』割合が最も多いのは70歳以上で80.8%となっている。一方、『転出したい』割合は30歳未満で21.0%となっている。

居住年数別に見ると、居住年数が長くなるにつれて、『住み続けたい』割合が多くなっており、居住年数10年以上で77.3%となっている。一方、『転出したい』割合は、居住年数5年未満で16.5%となっている。

### <性別・年代別・居住年数別>

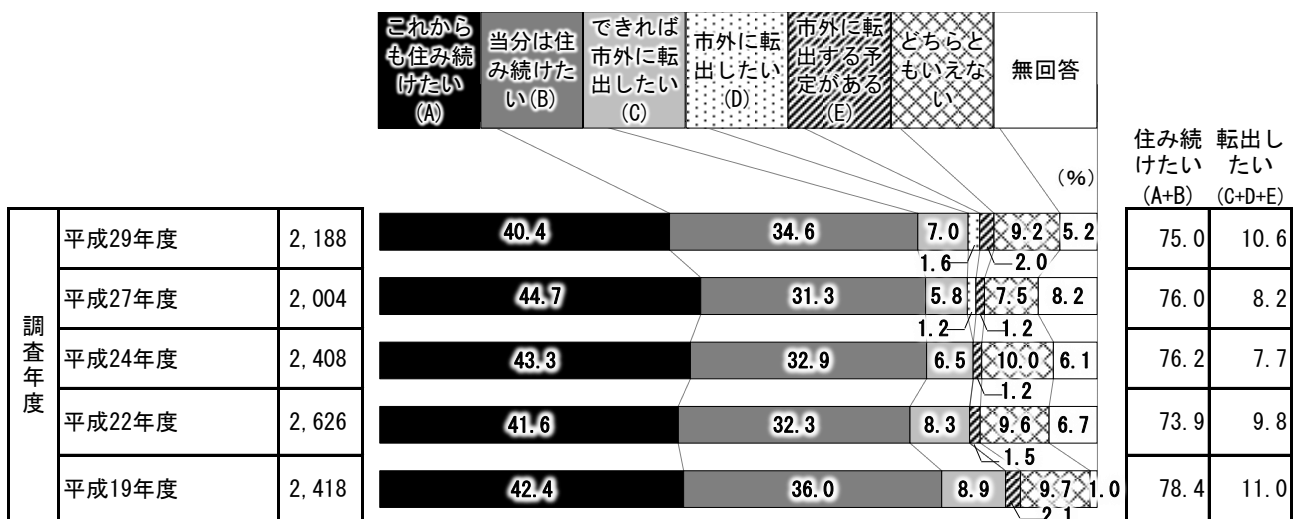


<住居別・同居家族別>



<経年比較>

西東京市に『住み続けたい』割合は、わずかながら減少しており、今回の調査では、平成19年度調査と比較して3.4ポイント少なくなっている。



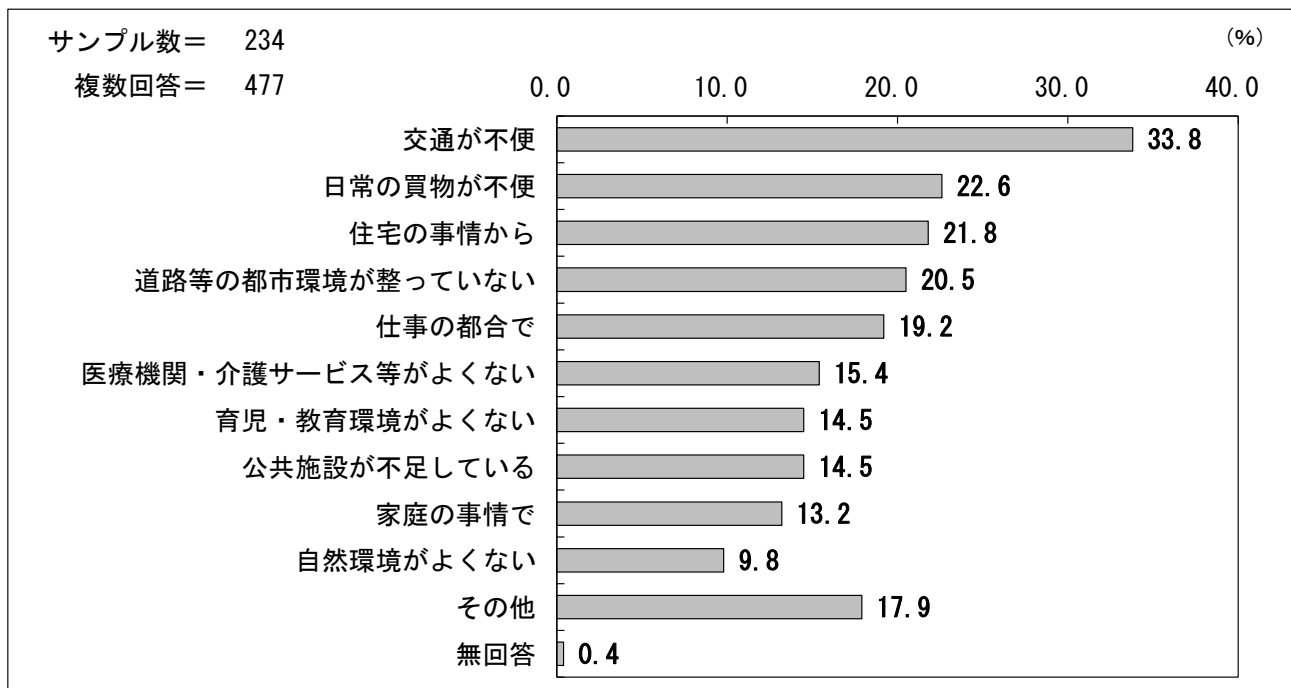
注) 「市外に転出したい」は平成27年度調査で新たに設けた選択肢

## (6) 転出希望理由

【問4】問3で「3. できれば市外に転出したい」、「4. 市外に転出したい」、「5. 市外に転出する予定がある」とお答えの方にお聞きします。転出したい（転出する）理由は何ですか。（〇はいくつでも）

転出したいと回答した234人<sup>8</sup>の理由としては、「交通が不便」が33.8%で最も多く、次いで「日常の買物が不便」が22.6%、「住宅の事情から」が21.8%、「道路等の都市環境が整っていない」が20.5%となっている。

男女別に見ると、男女とも「交通が不便」を理由に挙げた人の割合が最も多く、男性で28.6%、女性で38.6%となっている。次いで、男性では「仕事の都合で」の25.0%、女性では「日常の買物が不便」の27.3%となっている。



### <性別>

	サンプル数	合計回答数	住宅の事情から	仕事の都合で	家庭の事情で	交通が不便	日常の買物が不便	育児・教育環境がよくない	医療機関・介護サービス等がよくない	自然環境がよくない	道路等の都市環境が整っていない	公共施設が不足している	その他	無回答
全体	234 ( 100.0)	477 ( 203.6)	51 ( 21.8)	45 ( 19.2)	31 ( 13.2)	79 ( 33.8)	53 ( 22.6)	34 ( 14.5)	36 ( 15.4)	23 ( 9.8)	48 ( 20.5)	34 ( 14.5)	42 ( 17.9)	1 ( 0.4)
性別 男	84 ( 100.0)	158 ( 188.2)	14 ( 16.7)	21 ( 25.0)	13 ( 15.5)	24 ( 28.6)	10 ( 11.9)	11 ( 13.1)	12 ( 14.3)	7 ( 8.3)	16 ( 19.0)	15 ( 17.9)	15 ( 17.9)	0 -
性別 女	132 ( 100.0)	279 ( 211.5)	27 ( 20.5)	20 ( 15.2)	15 ( 11.4)	51 ( 38.6)	36 ( 27.3)	22 ( 16.7)	21 ( 15.9)	15 ( 11.4)	30 ( 22.7)	16 ( 12.1)	25 ( 18.9)	1 ( 0.8)

注：( )内はサンプル数を母数とした割合で単位は%、合計回答数の割合については、各設問の割合を合計している。

<sup>8</sup> 継続居住意向については「無回答」だが、転出希望事由のみ回答している人を母集団に含めている。

<年代別・居住年数別・住居別・世帯構成別>

	サンプル数	合計回答数	住宅の事情から	仕事の都合で	家庭の事情で	交通が不便	日常の買物が不便	育児・教育環境がよくない	医療機関・介護サービス等がよくない	自然環境がよくない	道路等の都市環境が整っていない	公共施設が不足している	その他	無回答	
全体	234 ( 100.0)	477 ( 203.6)	51 ( 21.8)	45 ( 19.2)	31 ( 13.2)	79 ( 33.8)	53 ( 22.6)	34 ( 14.5)	36 ( 15.4)	23 ( 9.8)	48 ( 20.5)	34 ( 14.5)	42 ( 17.9)	1 ( 0.4)	
年代	30歳未満	54 ( 100.0)	87 ( 161.4)	3 ( 5.6)	17 ( 31.5)	7 ( 13.0)	19 ( 35.2)	7 ( 13.0)	4 ( 7.4)	3 ( 5.6)	3 ( 5.6)	9 ( 16.7)	6 ( 11.1)	9 ( 16.7)	0 -
	30歳代	64 ( 100.0)	142 ( 222.0)	13 ( 20.3)	17 ( 26.6)	8 ( 12.5)	25 ( 39.1)	14 ( 21.9)	19 ( 29.7)	8 ( 12.5)	4 ( 6.3)	15 ( 23.4)	6 ( 9.4)	13 ( 20.3)	0 -
	40歳代	39 ( 100.0)	83 ( 212.7)	7 ( 17.9)	5 ( 12.8)	2 ( 5.1)	15 ( 38.5)	11 ( 28.2)	7 ( 17.9)	9 ( 23.1)	5 ( 12.8)	8 ( 20.5)	5 ( 12.8)	9 ( 23.1)	0 -
	50歳代	38 ( 100.0)	92 ( 242.3)	12 ( 31.6)	4 ( 10.5)	8 ( 21.1)	12 ( 31.6)	8 ( 21.1)	3 ( 7.9)	12 ( 31.6)	8 ( 21.1)	9 ( 23.7)	9 ( 23.7)	6 ( 15.8)	1 ( 2.6)
	60歳代	21 ( 100.0)	36 ( 171.5)	9 ( 42.9)	1 ( 4.8)	3 ( 14.3)	6 ( 28.6)	4 ( 19.0)	1 ( 4.8)	1 ( 4.8)	2 ( 9.5)	2 ( 9.5)	3 ( 14.3)	4 ( 19.0)	0 -
	70歳以上	16 ( 100.0)	33 ( 206.6)	5 ( 31.3)	1 ( 6.3)	2 ( 12.5)	2 ( 12.5)	8 ( 50.0)	0 ( 0.0)	3 ( 18.8)	1 ( 6.3)	5 ( 31.3)	5 ( 31.3)	1 ( 6.3)	0 -
居住年数	5年未満	56 ( 100.0)	119 ( 212.6)	14 ( 25.0)	16 ( 28.6)	8 ( 14.3)	21 ( 37.5)	15 ( 26.8)	14 ( 25.0)	5 ( 8.9)	3 ( 5.4)	10 ( 17.9)	5 ( 8.9)	8 ( 14.3)	0 -
	5年以上10年未満	27 ( 100.0)	66 ( 244.2)	8 ( 29.6)	2 ( 7.4)	5 ( 18.5)	12 ( 44.4)	7 ( 25.9)	6 ( 22.2)	5 ( 18.5)	2 ( 7.4)	7 ( 25.9)	5 ( 18.5)	7 ( 25.9)	0 -
	10年以上	150 ( 100.0)	289 ( 192.7)	28 ( 18.7)	27 ( 18.0)	17 ( 11.3)	46 ( 30.7)	30 ( 20.0)	14 ( 9.3)	26 ( 17.3)	18 ( 12.0)	31 ( 20.7)	24 ( 16.0)	27 ( 18.0)	1 ( 0.7)
住居	一戸建て（持ち家、借家）	110 ( 100.0)	225 ( 204.4)	16 ( 14.5)	24 ( 21.8)	12 ( 10.9)	37 ( 33.6)	21 ( 19.1)	20 ( 18.2)	17 ( 15.5)	16 ( 14.5)	25 ( 22.7)	16 ( 14.5)	21 ( 19.1)	0 -
	民間集合住宅（マンション、アパート）	92 ( 100.0)	184 ( 200.0)	23 ( 25.0)	16 ( 17.4)	14 ( 15.2)	31 ( 33.7)	22 ( 23.9)	10 ( 10.9)	16 ( 17.4)	5 ( 5.4)	19 ( 20.7)	13 ( 14.1)	14 ( 15.2)	1 ( 1.1)
	公営住宅	21 ( 100.0)	39 ( 185.7)	7 ( 33.3)	3 ( 14.3)	2 ( 9.5)	6 ( 28.6)	7 ( 33.3)	1 ( 4.8)	3 ( 14.3)	2 ( 9.5)	1 ( 4.8)	4 ( 19.0)	3 ( 14.3)	0 -
	その他（住居無回答を含む）	11 ( 100.0)	29 ( 263.9)	5 ( 45.5)	2 ( 18.2)	3 ( 27.3)	5 ( 45.5)	3 ( 27.3)	3 ( 27.3)	0 -	0 -	3 ( 27.3)	1 ( 9.1)	4 ( 36.4)	0 -
世帯構成	単身世帯（一人で住んでいる）	29 ( 100.0)	52 ( 179.1)	7 ( 24.1)	4 ( 13.8)	5 ( 17.2)	12 ( 41.4)	4 ( 13.8)	1 ( 3.4)	7 ( 24.1)	0 ( 0.0)	5 ( 17.2)	2 ( 6.9)	5 ( 17.2)	0 -
	夫婦で住んでいる	37 ( 100.0)	85 ( 229.5)	17 ( 45.9)	7 ( 18.9)	5 ( 13.5)	9 ( 24.3)	14 ( 37.8)	3 ( 8.1)	5 ( 13.5)	5 ( 13.5)	8 ( 21.6)	8 ( 21.6)	3 ( 8.1)	1 ( 2.7)
	二世帯世帯（親と子）	139 ( 100.0)	282 ( 202.6)	22 ( 15.8)	28 ( 20.1)	17 ( 12.2)	48 ( 34.5)	27 ( 19.4)	22 ( 15.8)	21 ( 15.1)	17 ( 12.2)	28 ( 20.1)	22 ( 15.8)	30 ( 21.6)	0 -
	三世帯世帯（親と子と孫）	13 ( 100.0)	18 ( 138.6)	3 ( 23.1)	5 ( 38.5)	1 ( 7.7)	3 ( 23.1)	1 ( 7.7)	1 ( 7.7)	0 -	0 -	3 ( 23.1)	0 -	1 ( 7.7)	0 -
	その他	6 ( 100.0)	17 ( 283.4)	0 -	0 -	0 -	4 ( 66.7)	4 ( 66.7)	3 ( 50.0)	1 ( 16.7)	0 -	2 ( 33.3)	1 ( 16.7)	2 ( 33.3)	0 -

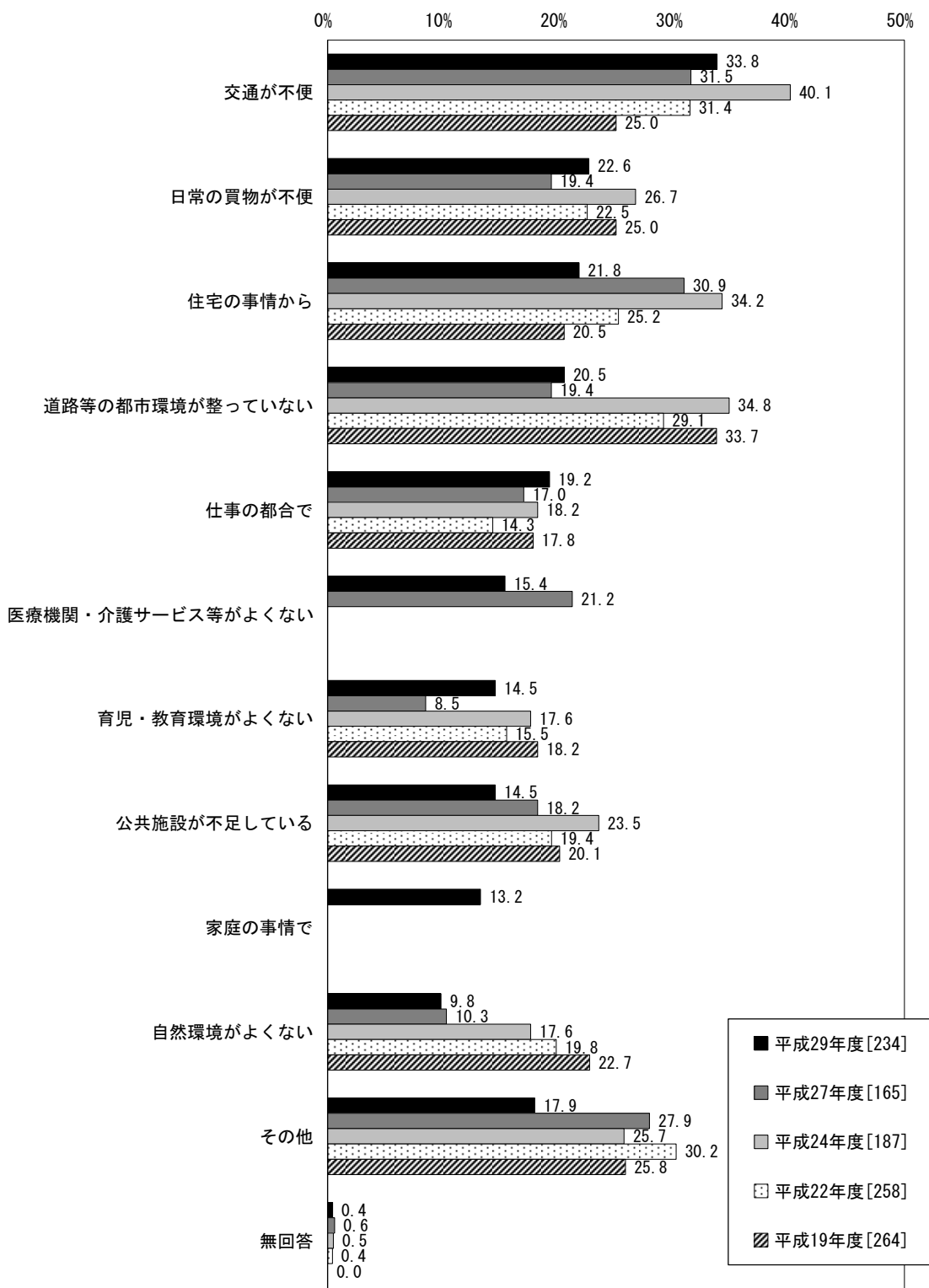
注：（）内はサンプル数を母数とした割合で単位は%、合計回答数の割合については、各設問の割合を合計している。

### <経年比較>

平成19年度調査からの推移を見ると、「交通が不便」は、平成22年度調査以降、理由として選択する人の割合が最も多い。今回の調査では、平成19年度調査と比較して8.8ポイント多くなっている。

「道路等の都市環境が整っていない」は、平成19年度調査では、理由として選択する人の割合が最も多くなっているが、おおむね減少しており、今回の調査では、平成19年度調査と比較して13.2ポイント少なくなっている。

「自然環境がよくない」は、平成19年度調査から一貫して減少しており、今回の調査では、平成19年度調査と比較して12.9ポイント少なくなっている。



注) 過去の数値が無いものは、新設の設問。



## (7)具体的な転出希望理由(自由記述)

【問4-2】問4で「11.その他」とお答えの方にお聞きします。転出したい(転出する)理由として、「11.その他」の内容を具体的にお答えください。

市外に転出したい理由の「その他」としては、以下のような意見が挙げられている。

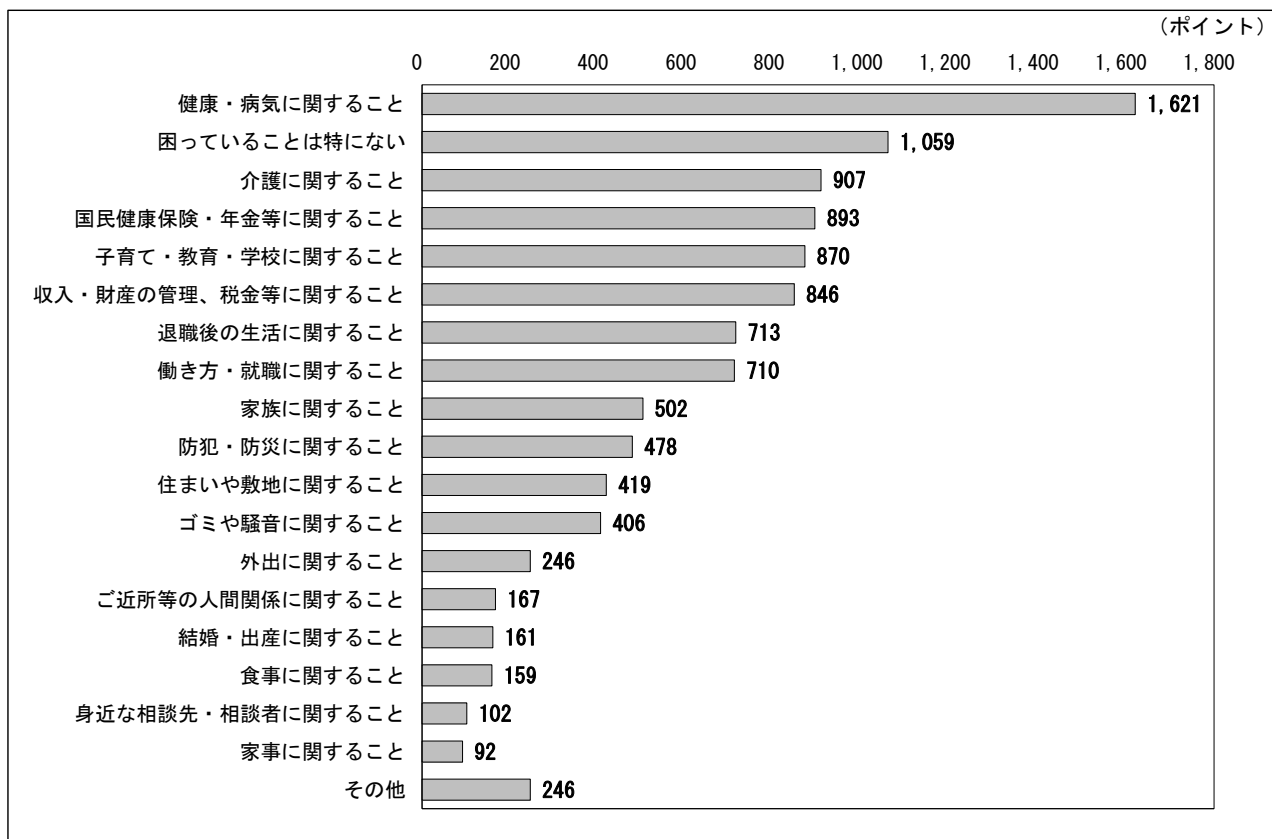
- 買い物ができるお店が少ない、まちに活気がない。
- 電車交通、バス交通が不便。
- 駅周辺に自転車が止めづらい。
- ごみ出しルールに不満がある。
- 防犯や交通安全等に対する不安がある。
- まちの魅力づくりが不足している。
- 子育てしにくい(交通安全面での不安など)。
- ライフステージの変化による(結婚、就職、独立など)。

## (8)身近な生活環境における困りごと(第1位～第3位)

【問5】すべての方にお聞きします。あなたの生活や身近な生活環境について、現在何か困っていること・心配なことはありますか。次の1～19の中からお困り度・心配度が高い順に、当てはまる番号を3つ選んで以下の枠内にその番号を記入してください。

回答について、1位を3ポイント、2位を2ポイント、3位を1ポイントとし、選択肢別に合計値を算出すると（加重結果※無回答は除く）、身近な生活環境における困りごととしては、「健康・病気に関すること」が1,621ポイントで最も多く、次いで、「困っていることは特にない」の1,059ポイント、「介護に関すること」の907ポイント、「国民健康保険・年金等に関すること」の893ポイントとなっている。

### <加重結果>

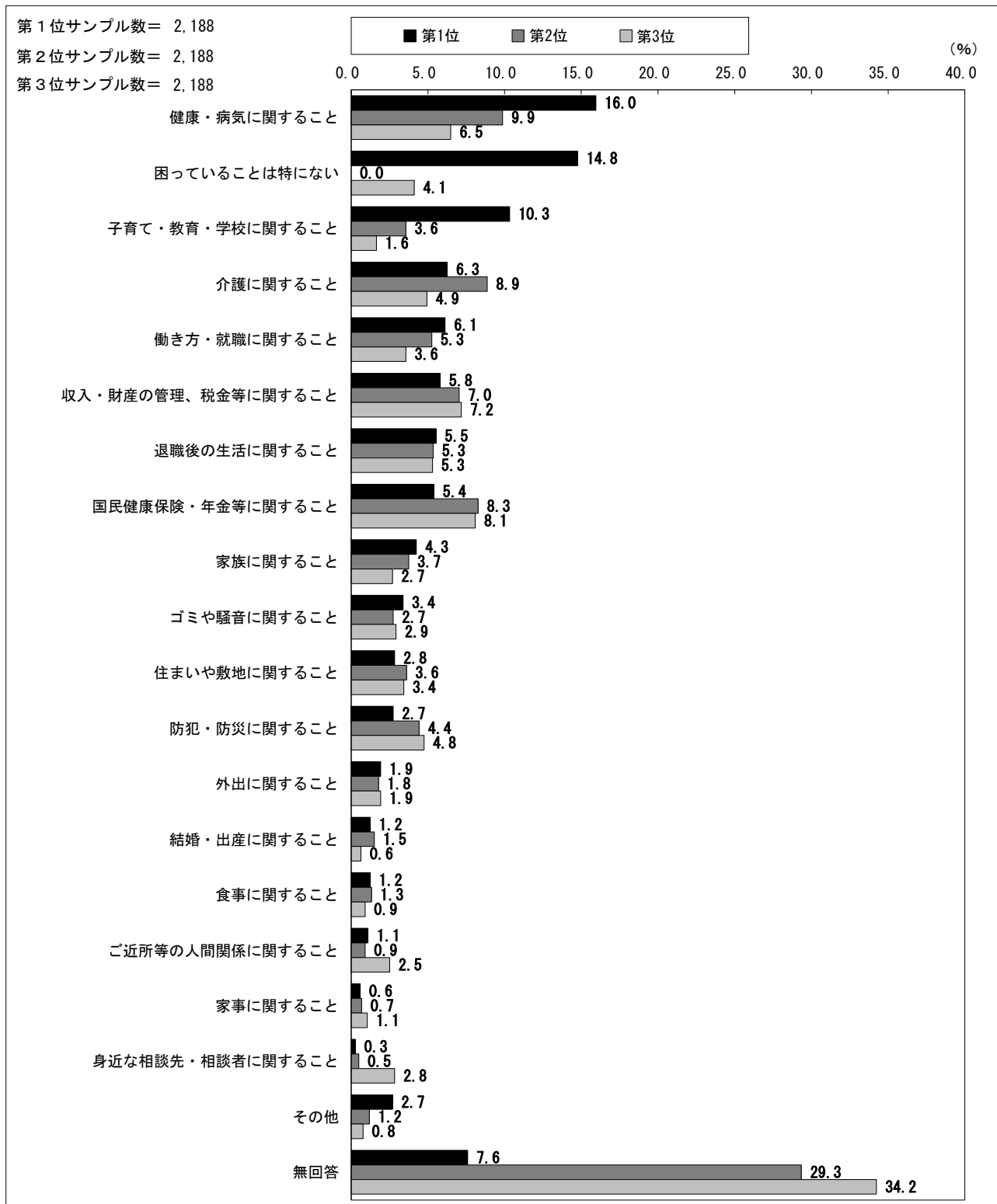


### <順位別結果>

第1位としては「健康・病気に関すること」が16.0%で最も多く、次いで「困っていることは特にない」が14.8%、「子育て・教育・学校に関すること」が10.3%となっている。

第2位としては「健康・病気に関すること」が9.9%で最も多く、次いで「介護に関すること」が8.9%、「国民健康保険・年金等に関すること」が8.3%となっている。

第3位としては「国民健康保険・年金等に関すること」が8.1%で最も多く、次いで「収入・財産の管理、税金等に関すること」が7.2%となっている。



<性別・年代別・同居家族別（加重結果）>

加重結果を年代別に見ると、30歳未満では、「働き方・就職に関すること」、30歳から40歳代では「子育て・教育・学校に関すること」、50歳代では「退職後の生活に関すること」、60歳代以上では「健康・病気に関すること」が最も多くなっている。

同居家族別に見ると、いずれも、「健康・病気に関すること」が上位3番目以内に入っている。中学生以下の子どもがいる場合は、「子育て・教育・学校に関すること」、「収入・財産の管理、税金等に関すること」、高校・大学生の子どもがいる場合は、「退職後の生活に関すること」、「働き方・就職に関すること」、介護を必要とする家族、または、介護を必要としない65歳以上の家族がいる場合は、「介護に関すること」が上位3番以内に入っている。

単位：ポイント

	サンプル数	健康・病気に関すること	困っていることは特にな	介護に関すること	国民健康保険・年金等に	子育て・教育・学校に関	収入・財産の管理、税金	退職後の生活に関するこ	働き方・就職に関するこ	家族に関すること	防犯・防災に関すること	住まいや敷地に関するこ	ゴミや騒音に関すること	外出に関すること	近所等の人間関係に関	結婚・出産に関すること	食事に関すること	身近な相談先・相談者に	家事に関すること	その他	
全体	2,188	1,621	1,059	907	893	870	846	713	710	502	478	419	406	246	167	161	159	102	92	246	
性別	男	876	620	414	357	332	354	350	324	303	228	184	158	190	108	77	44	83	40	27	112
	女	1,094	807	508	438	470	494	426	341	380	258	222	190	117	85	112	66	46	47	120	
年代	30歳未満	257	71	156	37	115	78	111	7	251	43	72	42	74	51	11	64	39	9	12	31
	30歳代	373	148	120	50	125	420	212	51	217	65	92	84	76	51	24	76	52	9	15	39
	40歳代	371	192	161	110	100	294	180	168	135	130	112	71	86	21	31	8	20	12	13	41
	50歳代	393	312	151	221	180	59	143	360	58	132	61	93	75	42	46	11	15	17	10	50
	60歳代	308	327	151	169	190	9	121	103	34	72	52	67	41	17	23	2	10	14	6	44
	70歳以上	469	562	311	310	178	3	72	23	11	54	86	59	54	60	32	0	19	40	34	39
同居家族	小学校入学前の子どもがいる	229	101	69	27	60	368	106	39	94	37	72	52	56	25	28	8	13	2	9	30
	小・中学生の子どもがいる	300	124	104	82	96	365	157	97	112	87	106	58	57	21	25	3	12	5	6	37
	高校・大学生の子どもがいる	314	154	128	138	135	132	140	160	143	102	73	64	52	47	28	15	14	14	11	45
	介護を必要とする家族がいる	145	125	31	207	65	26	27	30	31	59	23	28	17	16	15	7	4	12	13	12
	介護を必要としない65歳以上の家族がいる	507	464	324	261	236	59	177	112	144	140	106	79	68	41	38	42	38	24	14	30

注) 困りごと・心配ごとの選択肢は、左から全体の加重結果でポイント数の多い順（「その他」を除く）としている。なお、属性別に見た場合のポイント数上位3番目までを網掛けしている。

## 2. 市政に対して思うことについて

### (1) 市政全般への評価

【問6】 すべての方にお聞きします。あなたは、市政全般について、どのようにお考えですか。  
(○は1つだけ)

市政全般への評価について、「どちらともいえない」が46.9%で最も多くなっている。次いで、「やや満足している」が17.1%であり、「満足している」と合わせた23.6%が『満足』と回答している。一方、「やや不満である」、「不満である」を合わせた16.4%が『不満』と回答している。

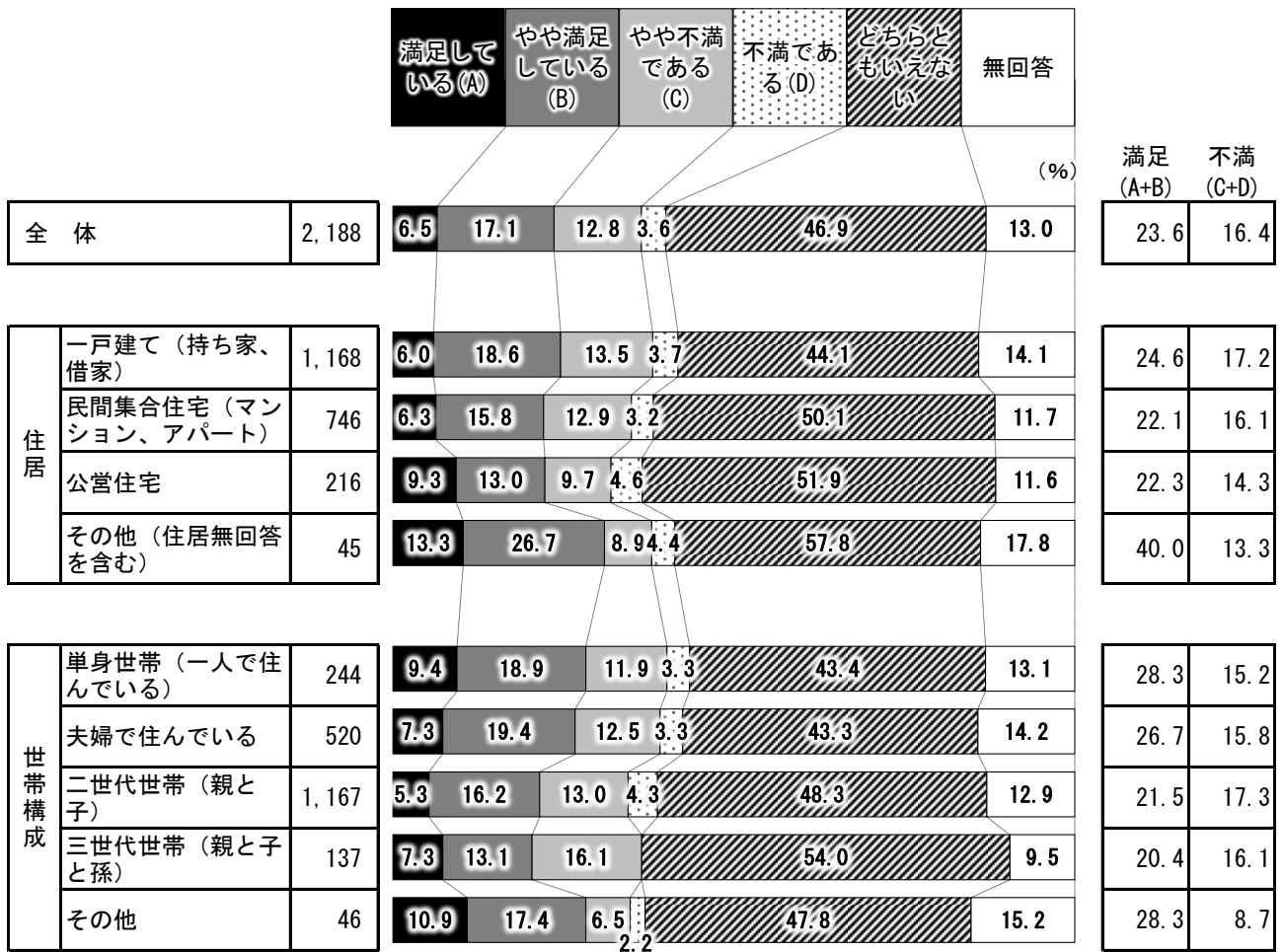
年代別で見ると、『満足』の割合が最も多いのは70歳以上の37.5%で、『不満』の割合が最も多いのは60歳代の20.1%となっている。また、おおむね年代が低くなるほど、「どちらともいえない」の割合が多くなっており、30歳未満で58.4%となっている。

居住年数ごとに見ると、居住年数が長くなるほど、『満足』の割合が高くなっており、10年以上で25.3%となっている。

#### <性別・年代別・居住年数別>



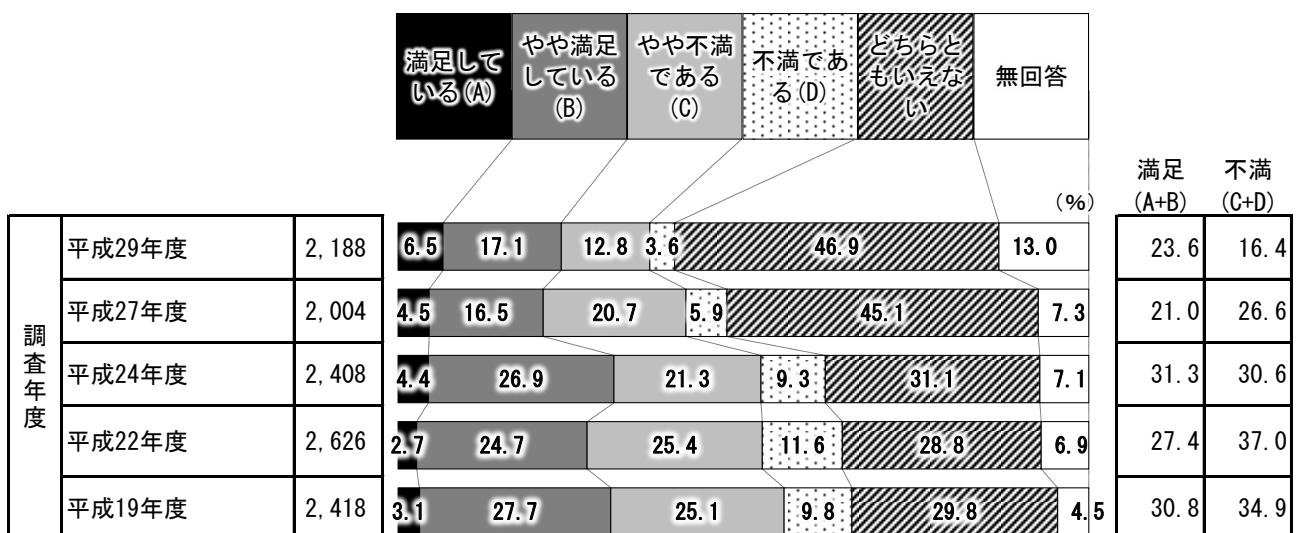
<住居別・世帯構成別>



<経年比較>

「満足している」の割合はおおむね増加しているが、『満足』の割合は23.6%で、平成19年度調査と比較して7.2ポイント少なくなっている。

一方、『不満』の割合は、おおむね減少しており、今回の調査は16.4%で、平成19年度調査と比較して18.5ポイント少なくなっている。「どちらともいえない」の割合は増加しており、今回の調査では46.9%で、平成19年度調査と比較して17.1ポイント多くなっている。



## (2) 施策別の満足度・重要度

【問7】あなたは、以下に示した西東京市の市政について、「現在の満足度」と「今後の重要度」をどのようにお考えですか。各項目の満足度と重要度をそれぞれお答えください。（〇は1つずつ）

市政に対する満足度、重要度について、以下の点数表及び算出式に基づいて平均ポイントを求め、満足度と重要度を数値化することにより、項目ごとの比較を行う。

### <満足度・重要度の点数表>

満足度	配点	重要度	配点
1. 満足	2点	1. 重要	2点
2. まあ満足	1点	2. やや重要	1点
3. やや不満	▲1点	3. あまり重要でない	▲1点
4. 不満	▲2点	4. 重要でない	▲2点
5. わからない	0点	5. わからない	0点

### <算出式（加重平均）>

$$\text{平均ポイント} = \frac{(1\text{回答数} \times 2) + (2\text{回答数} \times 1) + (3\text{回答数} \times \blacktriangle 1) + (4\text{回答数} \times \blacktriangle 2) + (5\text{回答数} \times 0)}{(1\text{回答数} + 2\text{回答数} + 3\text{回答数} + 4\text{回答数} + 5\text{回答数})}$$

※設問によって「無回答」の数が異なるため、平均値算出時の母数が異なっている。

※平均値は小数点第3位を四捨五入する。

### <分野別結果>

分野別の満足度平均ポイントでは、『行政運営』が0.26で最も高く、次いで『芸術文化』が0.19となっている。一方、平均ポイントがマイナスの分野は『子ども』の▲0.01、『産業・活力』の▲0.10、『まちづくり』の▲0.22である。

分野別の重要度平均ポイントでは、『まちづくり』が1.33で最も高く、次いで『子ども』が1.32となっている。最も重要度が低い分野は『市民参加』で0.64となっている。

CS分析では、重点改善分野は『子ども』、『まちづくり』、改善分野は『産業・活力』、重点維持分野は『行政運営』、『保健福祉』、『環境』、維持分野は『市民参加』、『社会・平等』、『芸術文化』となっている。

#### <分野別満足度の平均ポイント>

順位	項目	満足度
1	行政運営	0.26
2	芸術文化	0.19
3	環境	0.18
4	社会・平等	0.03
5	保健福祉	0.03
6	市民参加	0.02
7	子ども	▲0.01
8	産業・活力	▲0.10
9	まちづくり	▲0.22

#### <分野別重要度の平均ポイント>

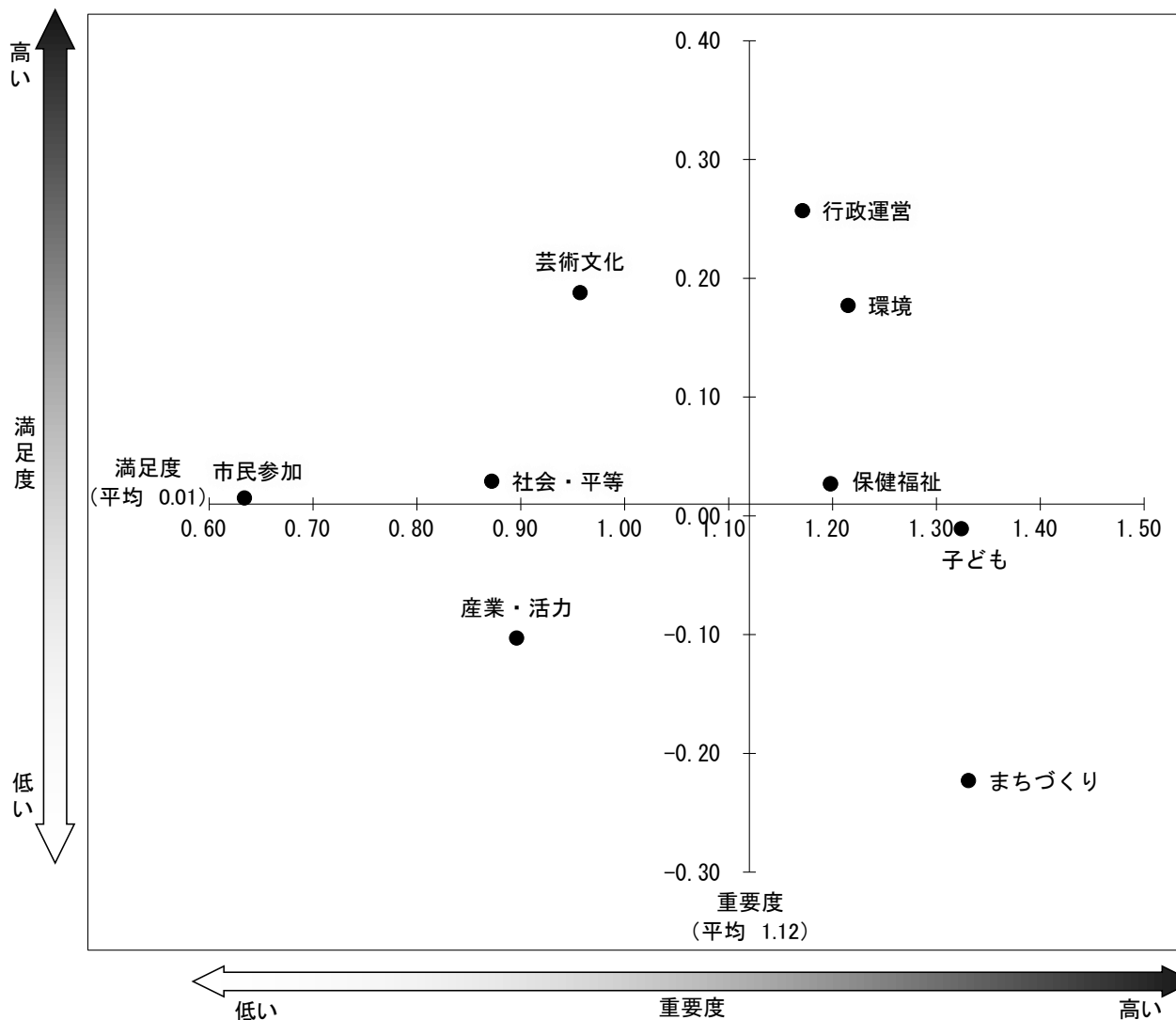
順位	項目	重要度
1	まちづくり	1.33
2	子ども	1.32
3	環境	1.22
4	保健福祉	1.20
5	行政運営	1.17
6	芸術文化	0.96
7	産業・活力	0.90
8	社会・平等	0.87
9	市民参加	0.64

## <CS分析>

※『満足度』をY軸に、『重要度』をX軸にとり、各項目の平均ポイントをプロット

※全ての項目の平均ポイントを基に座標軸を設定（『満足度』=0.01、『重要度』=1.12）し、4つの方向性（ゾーン）に分類

※以下同



No.	項目	平成29年度	
		満足度	重要度
1	市民参加	0.02	0.64
2	社会・平等	0.03	0.87
3	行政運営	0.26	1.17
4	子ども	▲ 0.01	1.32
5	芸術文化	0.19	0.96
6	保健福祉	0.03	1.20
7	環境	0.18	1.22
8	まちづくり	▲ 0.22	1.33
9	産業・活力	▲ 0.10	0.90

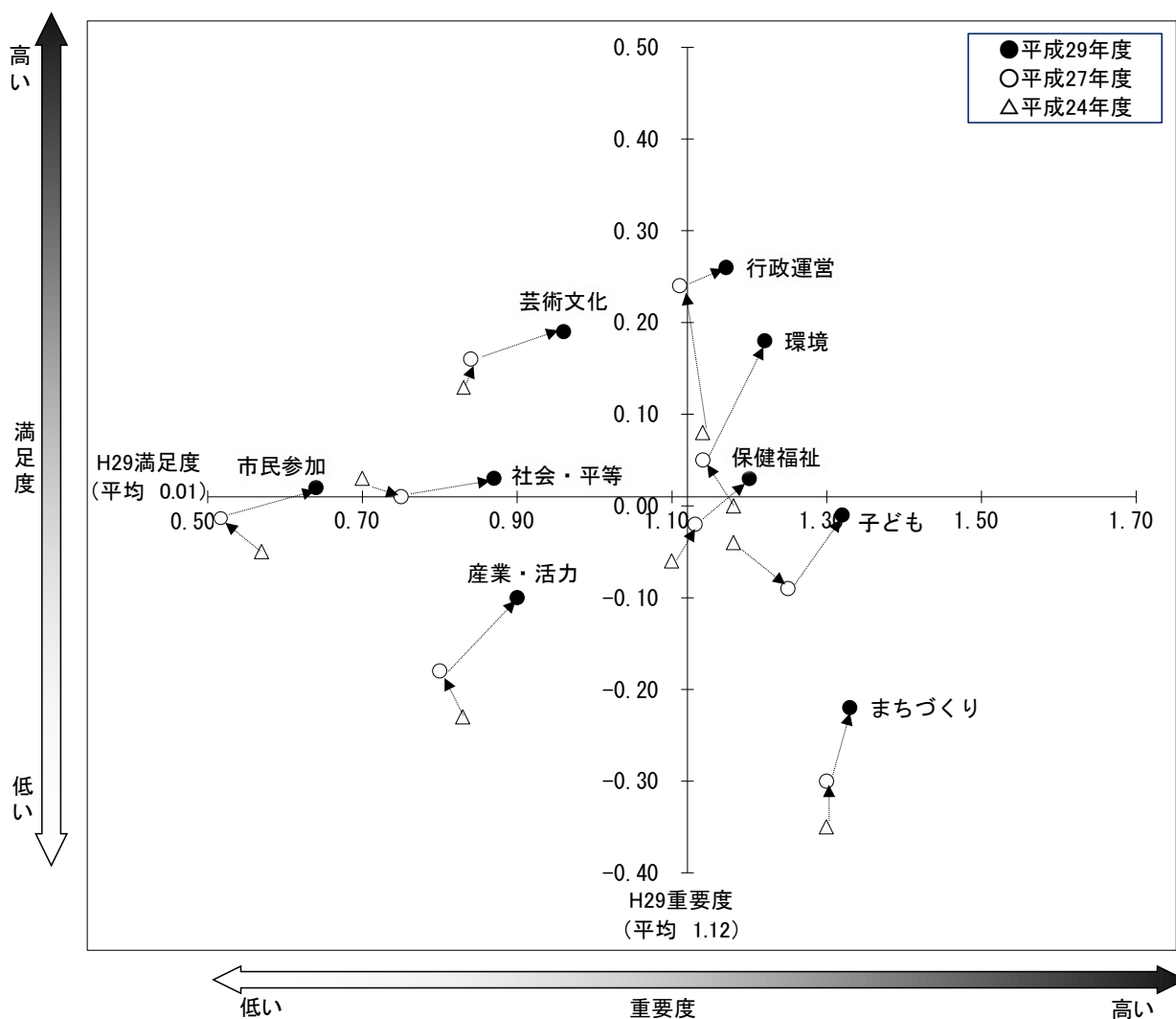
<b>D：維持分野</b> 市民参加 社会・平等 芸術文化	<b>C：重点維持分野</b> 行政運営 保健福祉 環境
<b>B：改善分野</b> 産業・活力	<b>A：重点改善分野</b> 子ども まちづくり



### <CS分析 3カ年比較>

前回調査と比較して、満足度、重要度とも全ての分野で上昇している。特に、満足度平均ポイントは『環境』で0.13、重要度平均ポイントは『市民参加』、『社会・平等』、『芸術文化』で0.12、『産業・活力』で0.10とそれぞれ0.10以上上昇している。

平成24年度調査からの3カ年を比較すると、満足度が2カ年続けて上昇しているのは、9分野中、『市民参加』、『行政運営』、『芸術文化』、『保健福祉』、『環境』、『まちづくり』、『産業・活力』の7分野、重要度が2カ年続けて上昇しているのは、『社会・平等』、『子ども』、『芸術文化』、『保健福祉』の4分野で、満足度、重要度とも2カ年続けて上昇しているのは、『芸術文化』、『保健福祉』の2分野となっている。



No.	項目	平成29年度		平成27年度		平成24年度		前回調査との比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
分野	1 市民参加	0.02	0.64	▲ 0.01	0.52	▲ 0.05	0.57	↗	↗
	2 社会・平等	0.03	0.87	0.01	0.75	0.03	0.70	↗	↗
	3 行政運営	0.26	1.17	0.24	1.11	0.08	1.14	↗	↗
	4 子ども	▲ 0.01	1.32	▲ 0.09	1.25	▲ 0.04	1.18	↗	↗
	5 芸術文化	0.19	0.96	0.16	0.84	1.12	0.83	↗	↗
	6 保健福祉	0.03	1.20	▲ 0.02	1.13	▲ 0.06	1.10	↗	↗
	7 環境	0.18	1.22	0.05	1.14	0.00	1.18	↗	↗
	8 まちづくり	▲ 0.22	1.33	▲ 0.30	1.30	▲ 0.35	1.30	↗	↗
	9 産業・活力	▲ 0.10	0.90	▲ 0.18	0.80	▲ 0.23	0.83	↗	↗

## <項目別結果>

項目別の満足度平均ポイントでは、『行政運営』分野の「市報の内容」が0.54と最も高く、次いで同分野の「市の窓口・電話での職員の対応」が0.45となっている。一方、最も低い項目は、『まちづくり』分野の「自転車を利用しやすいまちづくり」で▲0.63となっている。

### 全体での『満足度』高位順

順位	分野	項目No	項目	満足度
1	行政運営	10.	市報の内容	0.54
2	行政運営	12.	市の窓口・電話での職員の対応	0.45
3	環境	34.	公園・緑地などのみどりの保全・活用	0.37
4	環境	37.	ごみの減量化やリサイクルの推進	0.35
5	芸術文化	21.	図書館サービスの充実	0.34
6	行政運営	9.	市の情報開示・情報公開	0.26
7	行政運営	11.	ホームページの内容	0.25
8	まちづくり	49.	下水道事業の円滑な推進	0.24
9	芸術文化	24.	市民文化祭などの文化芸術活動の充実	0.23
10	芸術文化	22.	公民館事業の充実	0.18
11	環境	36.	公園の整備や道路・公共施設の緑化推進	0.17
12	環境	35.	農地・屋敷林などの保全・活用	0.16
13	保健福祉	30.	健康づくりの支援などの健康事業の充実	0.14
14	産業・活力	54.	地産地消の促進などによる農業の振興	0.14
15	環境	38.	環境汚染の防止など公害対策の推進	0.13
16	芸術文化	23.	スポーツ活動・イベント機会や施設整備の充実	0.12
17	環境	39.	環境学習の場や機会の提供	0.09
18	環境	40.	省資源・省エネルギーの啓発	0.09
19	子ども	15.	地域社会における子どもの参画の推進	0.08
20	行政運営	13.	電子自治体等の推進や地域の情報化対応	0.07
21	芸術文化	20.	生涯学習活動の推進	0.07
22	市民参加	1.	市民が主体のコミュニティ活動への支援	0.06
23	社会・平等	6.	人権尊重・人権教育の推進	0.06
24	社会・平等	5.	平和に関する啓発活動や学習活動の推進	0.05
25	保健福祉	29.	暮らしの相談窓口の充実	0.05
26	環境	41.	再生可能エネルギーの普及活用	0.05
27	市民参加	2.	ボランティアや市民活動団体の育成・支援活動への参加促進	0.04
28	保健福祉	25.	地域のつながりや支えあいなど地域福祉の推進	0.04
29	保健福祉	26.	介護予防・サービスなどの高齢者福祉の充実	0.03
30	保健福祉	27.	地域生活支援などの障害者福祉の充実	0.02
31	市民参加	3.	NPO活動に対する支援	0.01
32	社会・平等	7.	外国籍市民へのサポートや国際交流の推進	0.00
33	社会・平等	8.	男女共同参画社会の推進	0.00
34	保健福祉	31.	地域医療体制の整備	0.00
35	保健福祉	32.	高齢者の生きがいづくりの充実	0.00
36	子ども	19.	教育相談機能・支援体制の充実	▲ 0.01
37	保健福祉	28.	社会保障（生活保護・各種保険）制度の運営	▲ 0.02
38	保健福祉	33.	雇用促進など障害者の社会参加の拡大	▲ 0.02
39	まちづくり	48.	公共住宅の維持整備	▲ 0.02
40	行政運営	14.	健全な自治体経営と財政基盤の強化	▲ 0.03
41	子ども	17.	出産・育児などの子育て支援環境の充実	▲ 0.04
42	子ども	18.	市立小・中学校における教育環境の充実	▲ 0.04
43	市民参加	4.	まちづくりや市政への市民参画の推進	▲ 0.05
44	子ども	16.	地域における子どもの居場所づくり	▲ 0.05
45	産業・活力	57.	起業支援、産学公連携など新産業の育成支援	▲ 0.07
46	まちづくり	51.	集中豪雨等のいっ水対策	▲ 0.08
47	まちづくり	52.	地域パトロール強化などの防犯対策	▲ 0.08
48	産業・活力	55.	地元商業・サービス業の育成・支援	▲ 0.11
49	まちづくり	53.	緊急事態発生時の市の危機管理体制の強化	▲ 0.12
50	産業・活力	56.	就職機会の提供など地域労働環境の向上支援	▲ 0.12
51	まちづくり	46.	バス路線網などの公共交通の充実	▲ 0.14
52	まちづくり	42.	快適で安全な駅周辺の整備	▲ 0.15
53	まちづくり	50.	大規模地震などへの災害対策	▲ 0.15
54	産業・活力	58.	拠点整備、企業誘致などによる産業の振興	▲ 0.16
55	産業・活力	59.	自然や観光資源などによるまちの魅力の向上	▲ 0.18
56	産業・活力	60.	西東京市のPR・イメージアップ	▲ 0.23
57	まちづくり	44.	円滑な車両交通のための幹線・生活道路の整備	▲ 0.46
58	まちづくり	43.	電線地中化などによる街並み・景観整備	▲ 0.54
59	まちづくり	45.	段差解消などの歩きやすい道の整備	▲ 0.55
60	まちづくり	47.	自転車を利用しやすいまちづくり	▲ 0.63

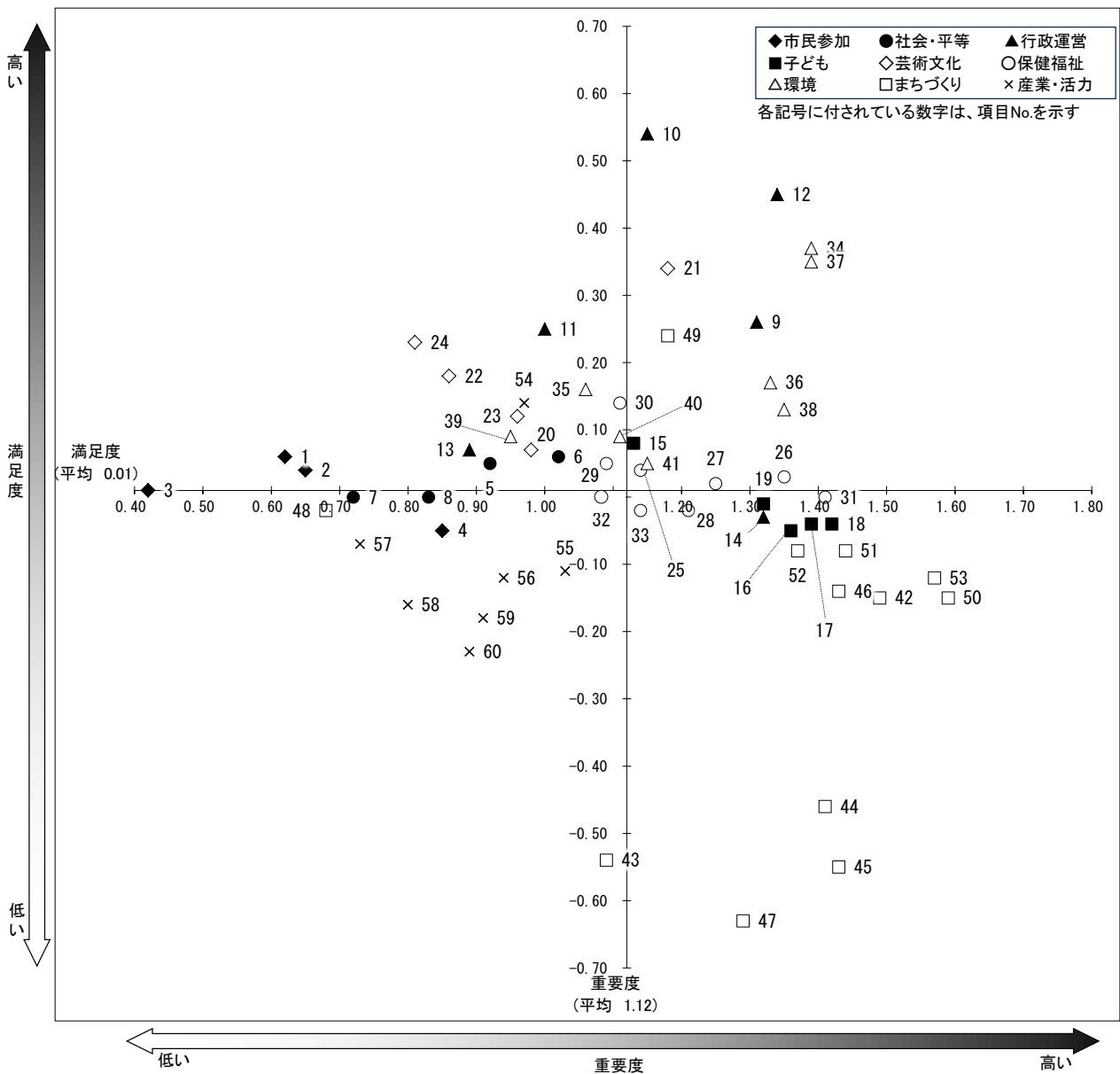
項目別の重要度平均ポイントでは、『まちづくり』分野の「大規模地震などへの災害対策」が1.59と最も高く、次いで同分野の「緊急事態発生時の市の危機管理体制の強化」が1.57となっている。最も低い項目は、『市民参加』分野の「NPO活動に対する支援」で0.42となっている。

全体での『重要度』高位順

順位	分野	項目No	項目	重要度
1	まちづくり	50.	大規模地震などへの災害対策	1.59
2	まちづくり	53.	緊急事態発生時の市の危機管理体制の強化	1.57
3	まちづくり	42.	快適で安全な駅周辺の整備	1.49
4	まちづくり	51.	集中豪雨等のいっ水対策	1.44
5	まちづくり	45.	段差解消などの歩きやすい道の整備	1.43
6	まちづくり	46.	バス路線網などの公共交通の充実	1.43
7	子ども	18.	市立小・中学校における教育環境の充実	1.42
8	保健福祉	31.	地域医療体制の整備	1.41
9	まちづくり	44.	円滑な車両交通のための幹線・生活道路の整備	1.41
10	子ども	17.	出産・育児などの子育て支援環境の充実	1.39
11	環境	34.	公園・緑地などのみどりの保全・活用	1.39
12	環境	37.	ごみの減量化やリサイクルの推進	1.39
13	まちづくり	52.	地域パトロール強化などの防犯対策	1.37
14	子ども	16.	地域における子どもの居場所づくり	1.36
15	保健福祉	26.	介護予防・サービスなどの高齢者福祉の充実	1.35
16	環境	38.	環境汚染の防止など公害対策の推進	1.35
17	行政運営	12.	市の窓口・電話での職員の対応	1.34
18	環境	36.	公園の整備や道路・公共施設の緑化推進	1.33
19	行政運営	14.	健全な自治体経営と財政基盤の強化	1.32
20	子ども	19.	教育相談機能・支援体制の充実	1.32
21	行政運営	9.	市の情報開示・情報公開	1.31
22	まちづくり	47.	自転車を利用しやすいまちづくり	1.29
23	保健福祉	27.	地域生活支援などの障害者福祉の充実	1.25
24	保健福祉	28.	社会保障（生活保護・各種保険）制度の運営	1.21
25	芸術文化	21.	図書館サービスの充実	1.18
26	まちづくり	49.	下水道事業の円滑な推進	1.18
27	行政運営	10.	市報の内容	1.15
28	環境	41.	再生可能エネルギーの普及活用	1.15
29	保健福祉	25.	地域のつながりや支えあいなど地域福祉の推進	1.14
30	保健福祉	33.	雇用促進など障害者の社会参加の拡大	1.14
31	子ども	15.	地域社会における子どもの参画の推進	1.13
32	保健福祉	30.	健康づくりの支援などの健康事業の充実	1.11
33	環境	40.	省資源・省エネルギーの啓発	1.11
34	保健福祉	29.	暮らしの相談窓口の充実	1.09
35	まちづくり	43.	電線地中化などによる街並み・景観整備	1.09
36	保健福祉	32.	高齢者の生きがいづくりの充実	1.08
37	環境	35.	農地・屋敷林などの保全・活用	1.06
38	産業・活力	55.	地元商業・サービス業の育成・支援	1.03
39	社会・平等	6.	人権尊重・人権教育の推進	1.02
40	行政運営	11.	ホームページの内容	1.00
41	芸術文化	20.	生涯学習活動の推進	0.98
42	産業・活力	54.	地産地消の促進などによる農業の振興	0.97
43	芸術文化	23.	スポーツ活動・イベント機会や施設整備の充実	0.96
44	環境	39.	環境学習の場や機会の提供	0.95
45	産業・活力	56.	就職機会の提供など地域労働環境の向上支援	0.94
46	社会・平等	5.	平和に関する啓発活動や学習活動の推進	0.92
47	産業・活力	59.	自然や観光資源などによるまちの魅力の向上	0.91
48	行政運営	13.	電子自治体等の推進や地域の情報化対応	0.89
49	産業・活力	60.	西東京市のPR・イメージアップ	0.89
50	芸術文化	22.	公民館事業の充実	0.86
51	市民参加	4.	まちづくりや市政への市民参画の推進	0.85
52	社会・平等	8.	男女共同参画社会の推進	0.83
53	芸術文化	24.	市民文化祭などの文化芸術活動の充実	0.81
54	産業・活力	58.	拠点整備、企業誘致などによる産業の振興	0.80
55	産業・活力	57.	起業支援、産学公連携など新産業の育成支援	0.73
56	社会・平等	7.	外国籍市民へのサポートや国際交流の推進	0.72
57	まちづくり	48.	公共住宅の維持整備	0.68
58	市民参加	2.	ボランティアや市民活動団体の育成・支援活動への参加促進	0.65
59	市民参加	1.	市民が主体のコミュニティ活動への支援	0.62
60	市民参加	3.	NPO活動に対する支援	0.42

CS分析では、重点改善分野は17項目で、そのうち9項目が『まちづくり』分野の「快適で安全な駅周辺の整備」、「円滑な車両交通のための幹線・生活道路の整備」、「段差解消などの歩きやすい道の整備」、「バス路線網などの公共交通の充実」、「自転車を利用しやすいまちづくり」、「大規模地震などへの災害対策」、「集中豪雨等のいっ水対策」、「地域パトロール強化などの防犯対策」、「緊急事態発生時の市の危機管理体制の強化」、4項目が『子ども』分野の「地域における子どもの居場所づくり」、「出産・育児などの子育て支援環境の充実」、「市立小・中学校における教育環境の充実」、「教育相談機能・支援体制の充実」、3項目が『保健福祉』分野の「社会保障（生活保護・各種保険）制度の運営」、「地域医療体制の整備」、「雇用促進など障害者の社会参加の拡大」、1項目が『行政運営』分野の「健全な自治体経営と財政基盤の強化」となっている。

### <CS分析>



No.	項目	満足度	重要度	No.	項目	満足度	重要度
市民参加	1 市民が主体のコミュニティ活動への支援	0.06	0.62	環境	34 公園・緑地などのみどりの保全・活用	0.37	1.39
	2 ボランティアや市民活動団体の育成・支援活動への参加促進	0.04	0.65		35 農地・屋敷林などの保全・活用	0.16	1.06
	3 NPO活動に対する支援	0.01	0.42		36 公園の整備や道路・公共施設の緑化推進	0.17	1.33
	4 まちづくりや市政への市民参画の推進	▲ 0.05	0.85		37 ごみの減量化やリサイクルの推進	0.35	1.39
社会・平等	5 平和に関する啓発活動や学習活動の推進	0.05	0.92	38 環境汚染の防止など公害対策の推進	0.13	1.35	
	6 人権尊重・人権教育の推進	0.06	1.02	39 環境学習の場や機会の提供	0.09	0.95	
	7 外国籍市民へのサポートや国際交流の推進	0.00	0.72	40 省資源・省エネルギーの啓発	0.09	1.11	
	8 男女共同参画社会の推進	0.00	0.83	41 再生可能エネルギーの普及活用	0.05	1.15	
行政運営	9 市の情報開示・情報公開	0.26	1.31	まちづくり	42 快適で安全な駅周辺の整備	▲ 0.15	1.49
	10 市報の内容	0.54	1.15		43 電線地中化などによる街並み・景観整備	▲ 0.54	1.09
	11 ホームページの内容	0.25	1.00		44 円滑な車両交通のための幹線・生活道路の整備	▲ 0.46	1.41
	12 市の窓口・電話での職員の対応	0.45	1.34		45 段差解消などの歩きやすい道の整備	▲ 0.55	1.43
	13 電子自治体等の推進や地域の情報化対応	0.07	0.89		46 バス路線網などの公共交通の充実	▲ 0.14	1.43
	14 健全な自治体経営と財政基盤の強化	▲ 0.03	1.32		47 自転車を利用しやすいまちづくり	▲ 0.63	1.29
子ども	15 地域社会における子どもの参画の推進	0.08	1.13	48 公共住宅の維持整備	▲ 0.02	0.68	
	16 地域における子どもの居場所づくり	▲ 0.05	1.36	49 下水道事業の円滑な推進	0.24	1.18	
	17 出産・育児などの子育て支援環境の充実	▲ 0.04	1.39	50 大規模地震などへの災害対策	▲ 0.15	1.59	
	18 市立小・中学校における教育環境の充実	▲ 0.04	1.42	51 集中豪雨等のいっ水対策	▲ 0.08	1.44	
	19 教育相談機能・支援体制の充実	▲ 0.01	1.32	52 地域パトロール強化などの防犯対策	▲ 0.08	1.37	
芸術文化	20 生涯学習活動の推進	0.07	0.98	53 緊急事態発生時の市の危機管理体制の強化	▲ 0.12	1.57	
	21 図書館サービスの充実	0.34	1.18	産業・活力	54 地産地消の促進などによる農業の振興	0.14	0.97
	22 公民館事業の充実	0.18	0.86		55 地元商業・サービス業の育成・支援	▲ 0.11	1.03
	23 スポーツ活動・イベント機会や施設整備の充実	0.12	0.96		56 就職機会の提供など地域労働環境の向上支援	▲ 0.12	0.94
	24 市民文化祭などの文化芸術活動の充実	0.23	0.81		57 起業支援、産学公連携など新産業の育成支援	▲ 0.07	0.73
25 地域のつながりや支えあいなど地域福祉の推進	0.04	1.14	58 拠点整備、企業誘致などによる産業の振興		▲ 0.16	0.80	
保健福祉	26 介護予防・サービスなどの高齢者福祉の充実	0.03	1.35	59 自然や観光資源などによるまちの魅力の向上	▲ 0.18	0.91	
	27 地域生活支援などの障害者福祉の充実	0.02	1.25	60 西東京市のPR・イメージアップ	▲ 0.23	0.89	
	28 社会保障（生活保護・各種保険）制度の運営	▲ 0.02	1.21				
	29 暮らしの相談窓口の充実	0.05	1.09				
	30 健康づくりの支援などの健康事業の充実	0.14	1.11				
	31 地域医療体制の整備	0.00	1.41				
	32 高齢者の生きがいづくりの充実	0.00	1.08				
	33 雇用促進など障害者の社会参加の拡大	▲ 0.02	1.14				

## <CS分析 3カ年比較>

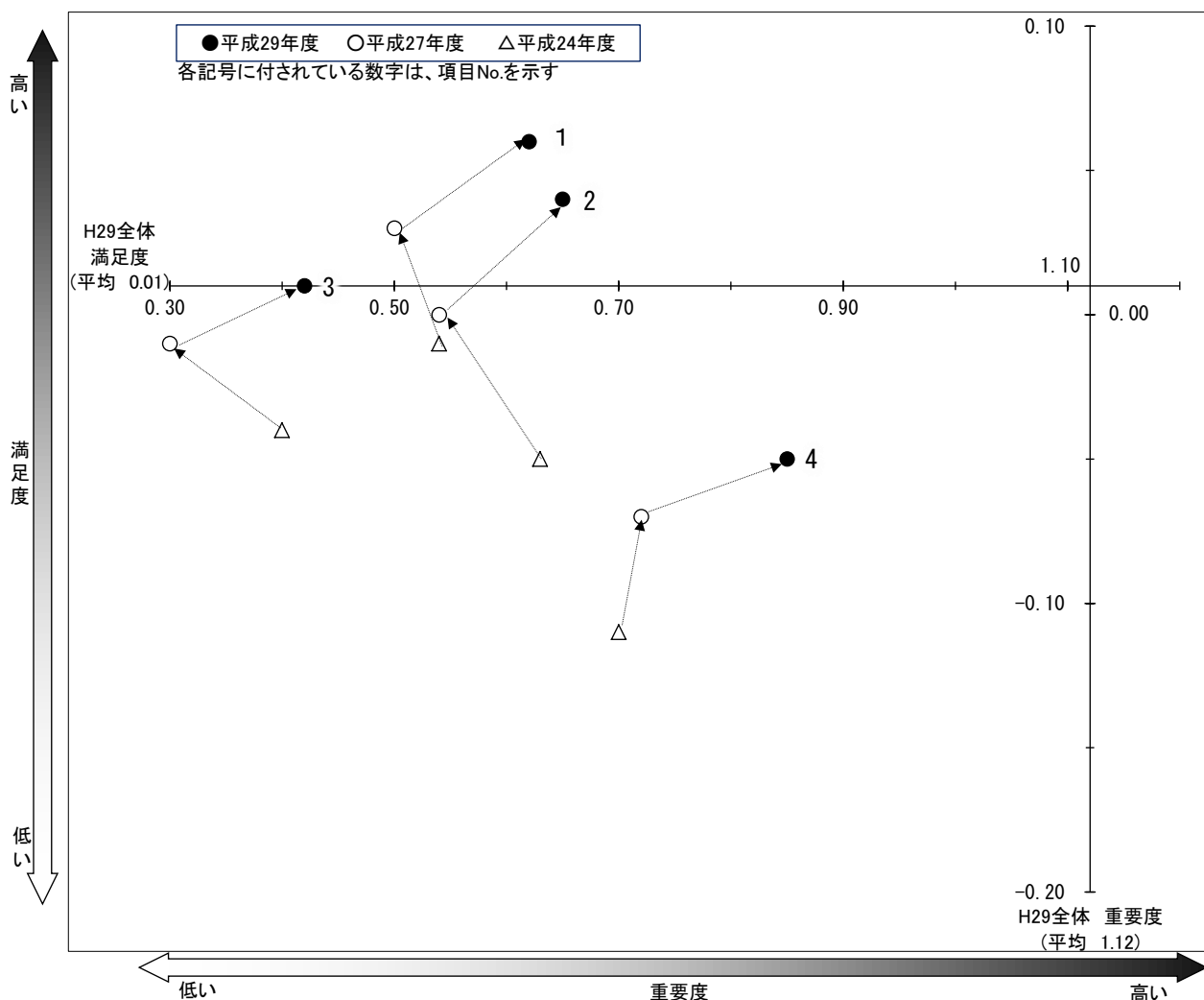
### □市民参加

『市民参加』分野の満足度平均ポイントは、「市民が主体のコミュニティ活動への支援」が0.06で最も高くなっている。重要度平均ポイントは、「まちづくりや市政への市民参画の推進」が0.85で最も高くなっているが、全体平均の1.12を下回っている。

前回調査と比較すると、満足度、重要度ともに全項目で上昇している。変化の大きい項目を見ると、満足度では「ボランティアや市民活動団体の育成・支援活動への参加促進」が0.04、重要度では「まちづくりや市政への市民参画の推進」が0.13の上昇となっている。

平成24年度調査からの3カ年で見ると、満足度、重要度とも2カ年続けて上昇しているのは、「まちづくりや市政への市民参画の推進」であるが、満足度は▲0.05とマイナス値になっている。その他3項目は、2カ年続けて満足度が上昇しており、平成24年度調査ではマイナス値であったところ、今回の調査では全てプラス値となっている。

CS分析では、「ボランティアや市民活動団体の育成・支援活動への参加促進」が改善分野から維持分野に移っている。



No.	項目	平成29年度		平成27年度		平成24年度		前回調査との比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
市民参加	1. 市民が主体のコミュニティ活動への支援	0.06	0.62	0.03	0.50	▲0.01	0.54	↗	↗
	2. ボランティアや市民活動団体の育成・支援活動への参加促進	0.04	0.65	0.00	0.54	▲0.05	0.63	↗	↗
	3. NPO活動に対する支援	0.01	0.42	▲0.01	0.30	▲0.04	0.40	↗	↗
	4. まちづくりや市政への市民参画の推進	▲0.05	0.85	▲0.07	0.72	▲0.11	0.70	↗	↗

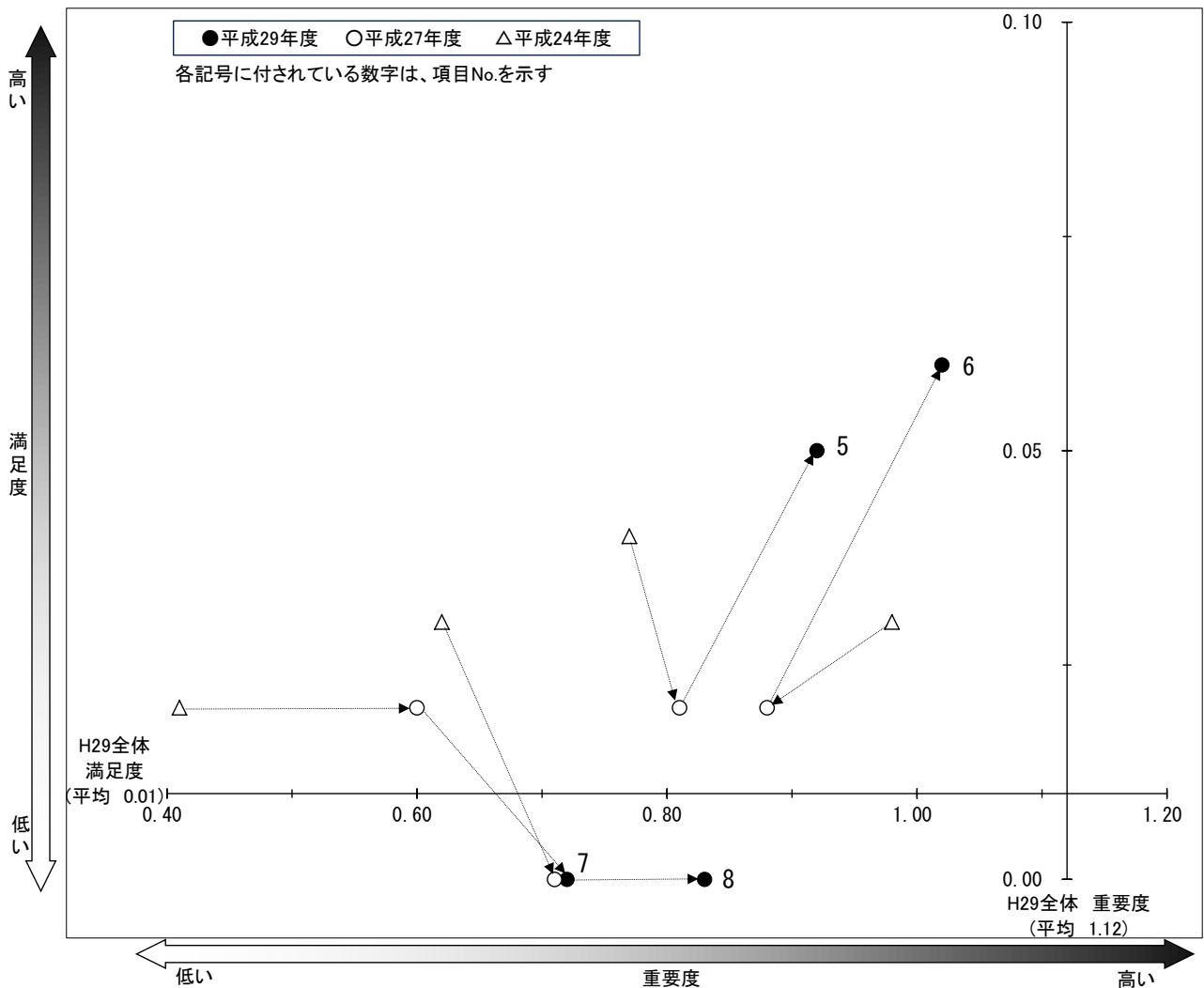
## □社会・平等

『社会・平等』分野では、「人権尊重・人権教育の推進」の満足度平均ポイントが0.06、重要度平均ポイントが1.02でいずれも最も高くなっているが、重要度については全体平均の1.12を下回っている。

前回調査と比較すると、「外国籍市民へのサポートや国際交流の推進」のみ満足度が0.02下降しているが、その他3項目では維持または上昇しており、重要度については全項目で上昇となっている。変化の大きい項目を見ると、「人権尊重・人権教育の推進」で満足度が0.04、重要度が0.14と上昇している。

平成24年度調査からの3カ年で見ると、「平和に関する啓発活動や学習活動の推進」、「外国籍市民へのサポートや国際交流の推進」、「男女共同参画社会の推進」の3項目は、2カ年とも重要度が上昇している。

CS分析では、「外国籍市民へのサポートや国際交流の推進」が維持分野から改善分野に移っている。



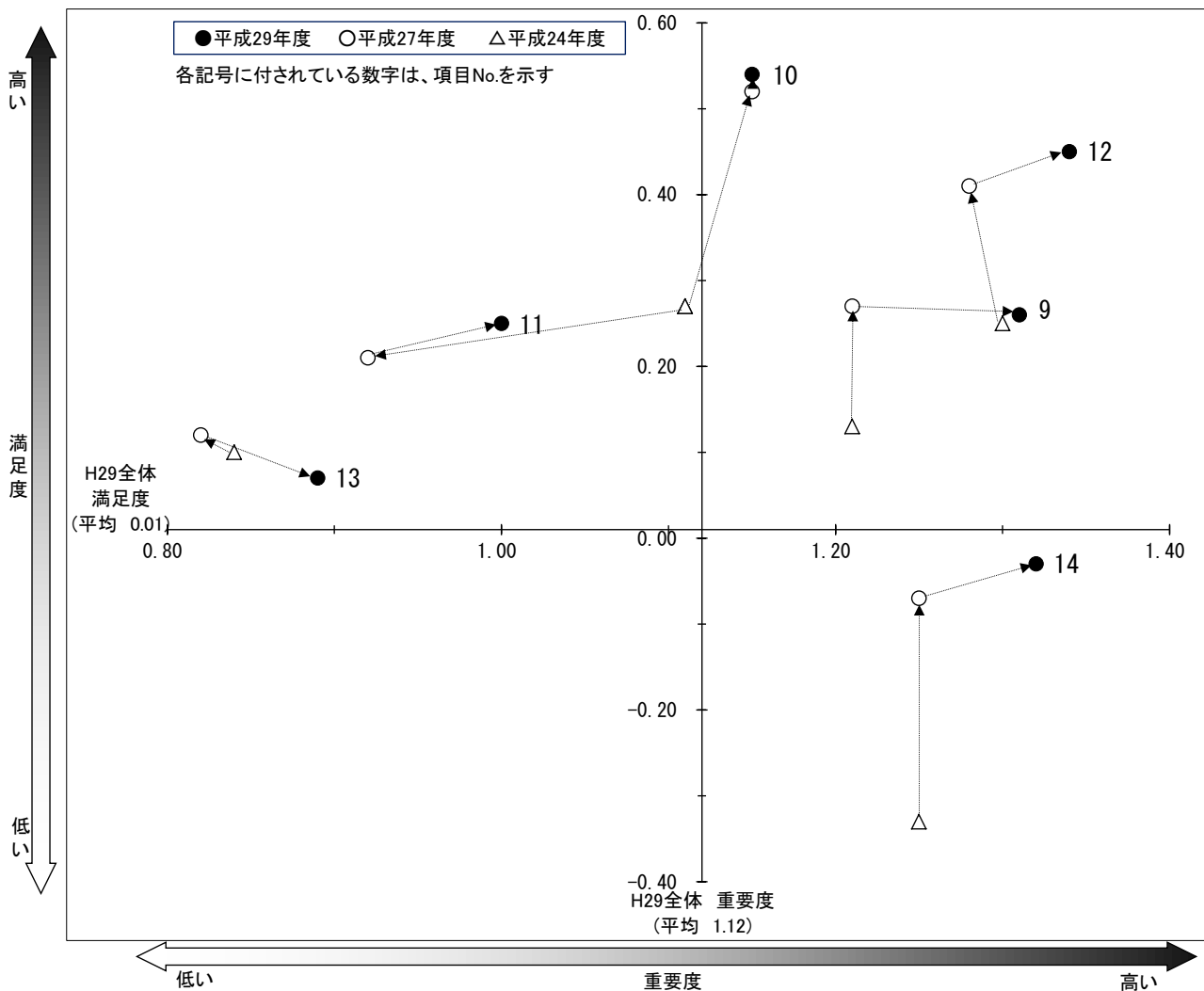
No.	項目	平成29年度		平成27年度		平成24年度		前回調査との比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
社会・平等	5 平和に関する啓発活動や学習活動の推進	0.05	0.92	0.02	0.81	0.04	0.77	↗	↗
	6 人権尊重・人権教育の推進	0.06	1.02	0.02	0.88	0.03	0.98	↗	↗
	7 外国籍市民へのサポートや国際交流の推進	0.00	0.72	0.02	0.60	0.02	0.41	↘	↗
	8 男女共同参画社会の推進	0.00	0.83	0.00	0.71	0.03	0.62	→	↗

## 行政運営

『行政運営』分野の満足度平均ポイントは、「市報の内容」が0.54、重要度平均ポイントは、「市の窓口・電話での職員の対応」が1.34ポイントでそれぞれ最も高くなっている。

前回調査と比較すると、満足度は4項目で上昇しており、最も上昇したのは「ホームページの内容」、「市の窓口・電話での職員の対応」の0.04である。最も下降したのは、「電子自治体等の推進や地域の情報化対応」の▲0.05となっている。重要度は5項目で上昇しており、最も上昇したのは「市の情報開示・情報公開」の0.10である。

平成24年度調査からの3カ年で見ると、満足度が2カ年続けて上昇しているのは「市報の内容」、「市の窓口・電話での職員の対応」、「健全な自治体経営と財政基盤の強化」の3項目となっている。



No.	項目	平成29年度		平成27年度		平成24年度		前回調査との比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
行政運営	9 市の情報開示・情報公開	0.26	1.31	0.27	1.21	0.13	1.21	↘	↗
	10 市報の内容	0.54	1.15	0.52	1.15	0.27	1.11	↗	→
	11 ホームページの内容	0.25	1.00	0.21	0.92	0.27	1.11	↗	↗
	12 市の窓口・電話での職員の対応	0.45	1.34	0.41	1.28	0.25	1.30	↗	↗
	13 電子自治体等の推進や地域の情報化対応	0.07	0.89	0.12	0.82	0.10	0.84	↘	↗
	14 健全な自治体経営と財政基盤の強化	▲0.03	1.32	▲0.07	1.25	▲0.33	1.25	↗	↗



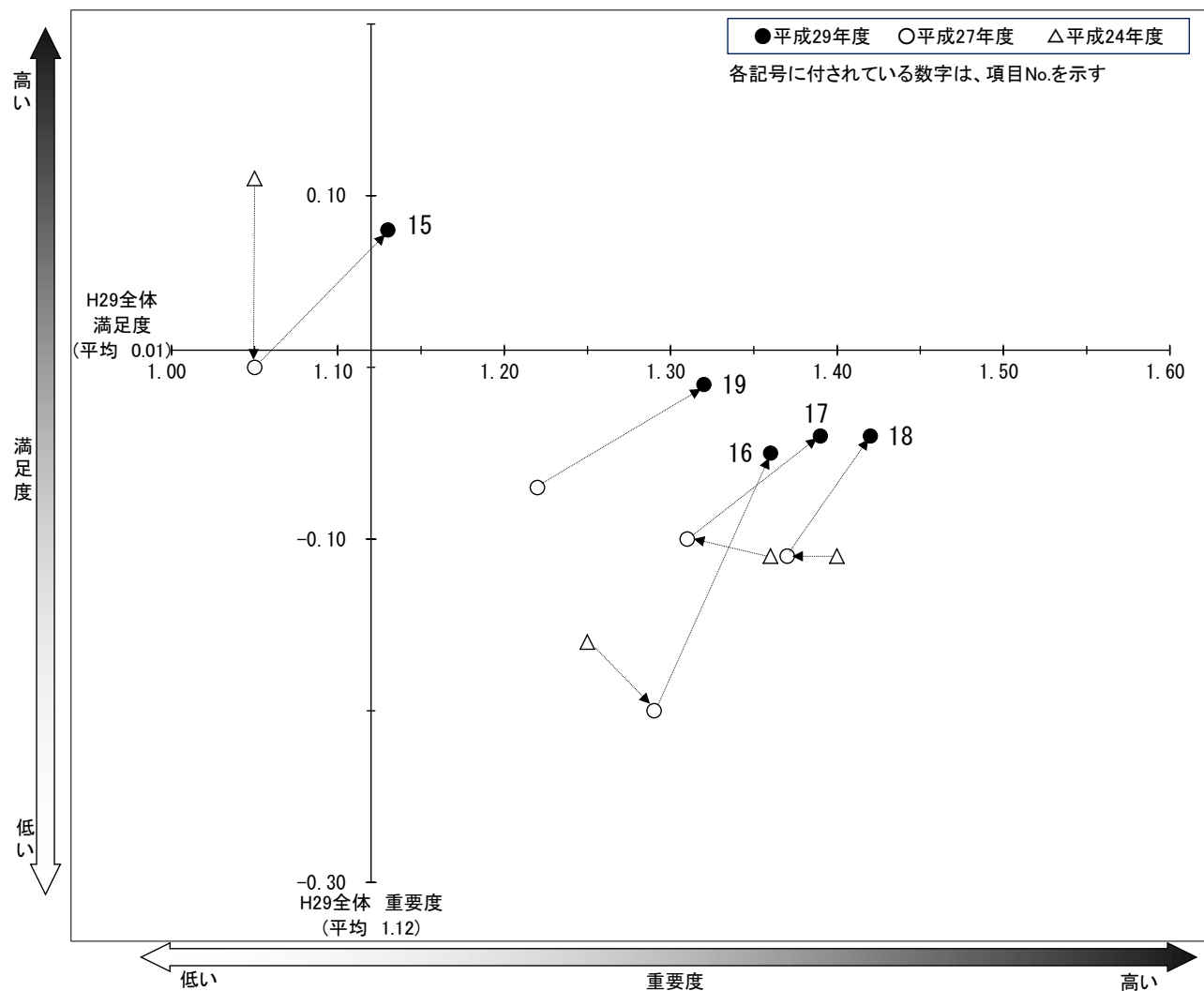
## □子ども

『子ども』分野の満足度平均ポイントは、「地域社会における子どもの参画の推進」が 0.08、重要度平均ポイントは、「市立小・中学校における教育環境の充実」が 1.42 でそれぞれ最も高くなっている。また、重要度は5項目全てが、全体平均の 1.12 を超えている。

前回調査と比較すると、満足度、重要度ともに全項目で上昇している。変化の大きい項目を見ると、満足度では「地域における子どもの居場所づくり」で 0.15、重要度では「教育相談機能・支援体制の充実」で 0.10 の上昇となっている。

平成 24 年度調査からの 3 カ年で見ると、満足度が 2 カ年とも上昇しているのは、「出産・育児などの子育て支援環境の充実」だが、▲0.04 とマイナス値になっている。重要度が 2 カ年とも上昇しているのは「地域における子どもの居場所づくり」である。

CS 分析では、「地域社会における子どもの参画の推進」が改善分野から重点維持分野に移っている。



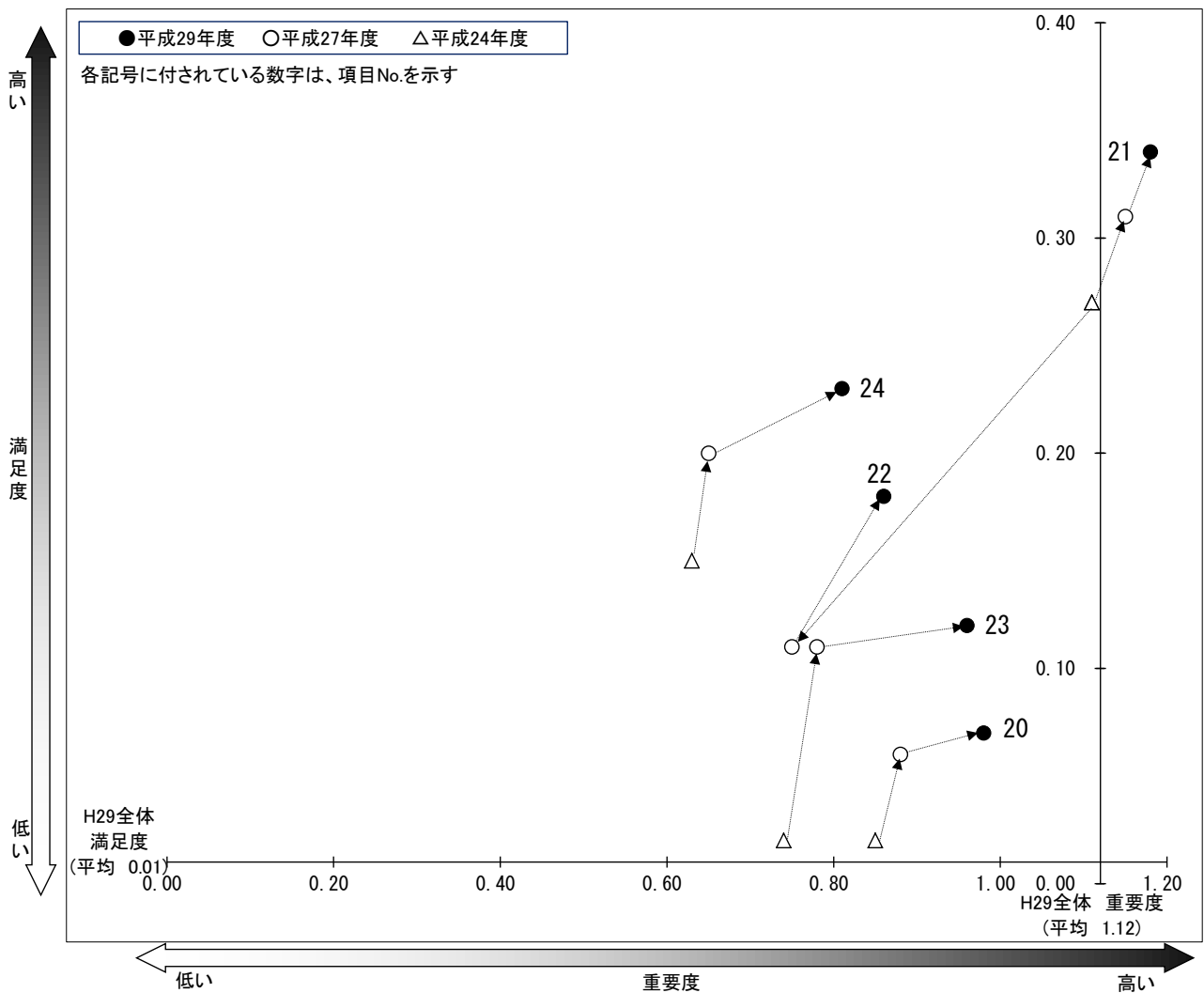
No.	項目	平成29年度		平成27年度		平成24年度		前回調査との比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
子ども	15 地域社会における子どもの参画の推進	0.08	1.13	0.00	1.05	0.11	1.05	↗	↗
	16 地域における子どもの居場所づくり	▲ 0.05	1.36	▲ 0.20	1.29	▲ 0.16	1.25	↗	↗
	17 出産・育児などの子育て支援環境の充実	▲ 0.04	1.39	▲ 0.10	1.31	▲ 0.11	1.36	↗	↗
	18 市立小・中学校における教育環境の充実	▲ 0.04	1.42	▲ 0.11	1.37	▲ 0.11	1.40	↗	↗
	19 教育相談機能・支援体制の充実	▲ 0.01	1.32	▲ 0.07	1.22	—	—	↗	↗

## □芸術文化

『芸術文化』分野では、「図書館サービスの充実」が満足度平均ポイント 0.34、重要度平均ポイント 1.18 で、いずれも最も高くなっている。また、満足度は5項目全てが、全体平均の 0.01 を超えている。

前回調査と比較すると、満足度、重要度ともに全項目で上昇している。変化の大きい項目を見ると、満足度では「公民館事業の充実」が 0.07、重要度では「スポーツ活動・イベント機会や施設整備の充実」が 0.18 の上昇となっている。

平成 24 年度調査からの 3 カ年で見ると、「公民館事業の充実」以外の 4 項目で、満足度、重要度が 2 カ年とも上昇している。



No.	項目	平成29年度		平成27年度		平成24年度		前回調査との比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
芸術文化	20 生涯学習活動の推進	0.07	0.98	0.06	0.88	0.02	0.85	↗	↗
	21 図書館サービスの充実	0.34	1.18	0.31	1.15	0.27	1.11	↗	↗
	22 公民館事業の充実	0.18	0.86	0.11	0.75	0.27	1.11	↗	↗
	23 スポーツ活動・イベント機会や施設整備の充実	0.12	0.96	0.11	0.78	0.02	0.74	↗	↗
	24 市民文化祭などの文化芸術活動の充実	0.23	0.81	0.20	0.65	0.15	0.63	↗	↗

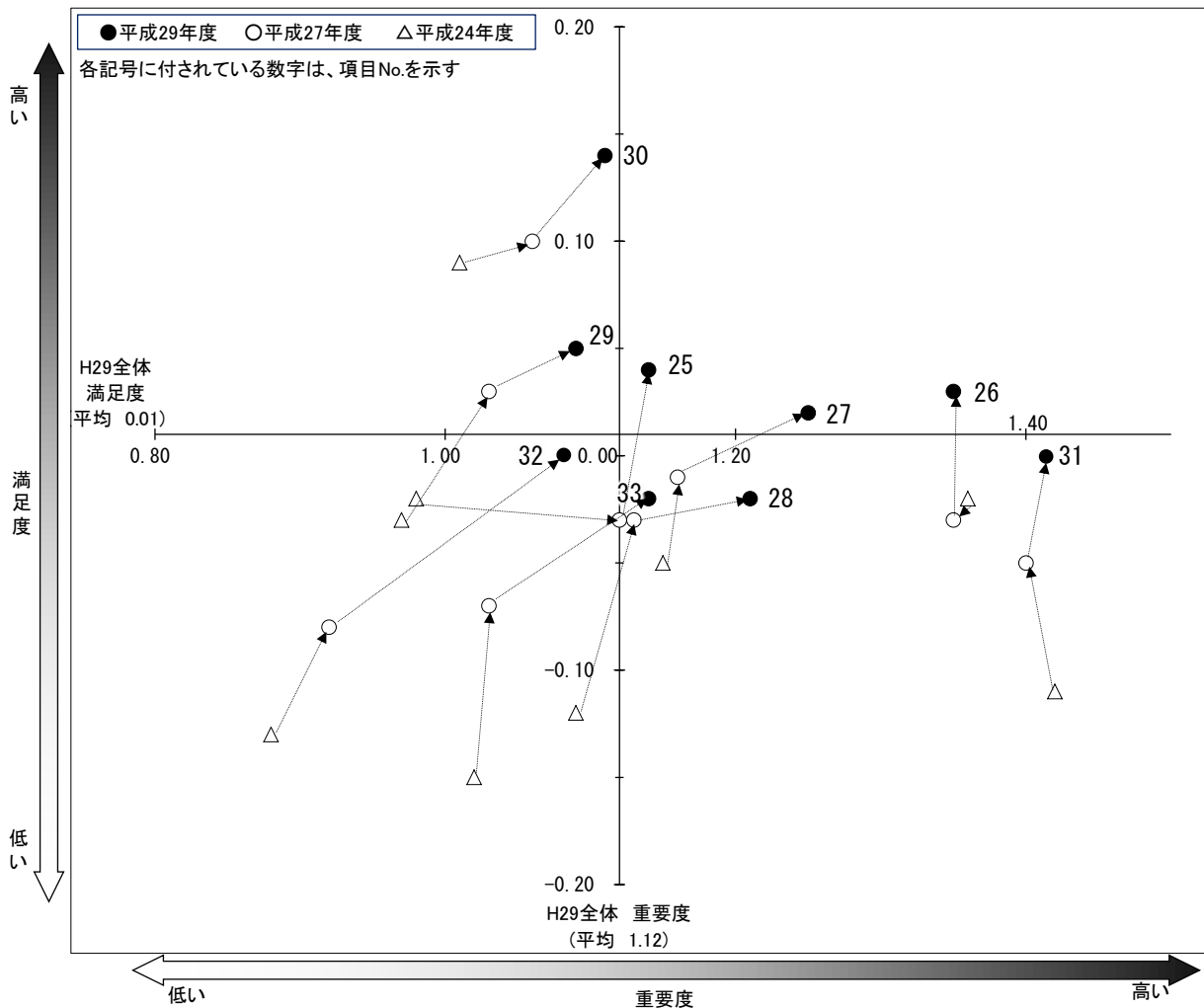
## □保健福祉

『保健福祉』分野の満足度平均ポイントは、「健康づくりの支援などの健康事業の充実」が0.14、重要度平均ポイントは、「地域医療体制の整備」が1.41で、それぞれ最も高くなっている。

前回調査と比較すると、満足度、重要度ともおおむね上昇している。変化の大きい項目を見ると、「高齢者の生きがいがづくりの充実」では、満足度が0.08、重要度が0.16の上昇となっている。

平成24年度調査からの3ヵ年で見ると、「地域生活支援などの障害者福祉の充実」、「社会保障(生活保護・各種保険)制度の運営」、「暮らしの相談窓口の充実」、「健康づくりの支援などの健康事業の充実」、「高齢者の生きがいがづくりの充実」、「雇用促進など障害者の社会参加の拡大」の6項目では、満足度、重要度が2ヵ年とも上昇している。

CS分析では、「地域のつながりや支えあいなど地域福祉の推進」、「介護予防・サービスなどの高齢者福祉の充実」、「地域生活支援などの障害者福祉の充実」が重点改善分野から重点維持分野に、「雇用促進など障害者の社会参加の拡大」が改善分野から重点改善分野に、それぞれ移っている。



No.	項目	平成29年度		平成27年度		平成24年度		前回調査との比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
保健福祉	25 地域のつながりや支えあいなど地域福祉の推進	0.04	1.14	▲0.03	1.12	▲0.02	0.98	↗	↗
	26 介護予防・サービスなどの高齢者福祉の充実	0.03	1.35	▲0.03	1.35	▲0.02	1.36	↗	→
	27 地域生活支援などの障害者福祉の充実	0.02	1.25	▲0.01	1.16	▲0.05	1.15	↗	↗
	28 社会保障(生活保護・各種保険)制度の運営	▲0.02	1.21	▲0.03	1.13	▲0.12	1.09	↗	↗
	29 暮らしの相談窓口の充実	0.05	1.09	0.03	1.03	▲0.03	0.97	↗	↗
	30 健康づくりの支援などの健康事業の充実	0.14	1.11	0.10	1.06	0.09	1.01	↗	↗
	31 地域医療体制の整備	0.00	1.41	▲0.05	1.40	▲0.11	1.42	↗	↗
	32 高齢者の生きがいがづくりの充実	0.00	1.08	▲0.08	0.92	▲0.13	0.88	↗	↗
	33 雇用促進など障害者の社会参加の拡大	▲0.02	1.14	▲0.07	1.03	▲0.15	1.02	↗	↗

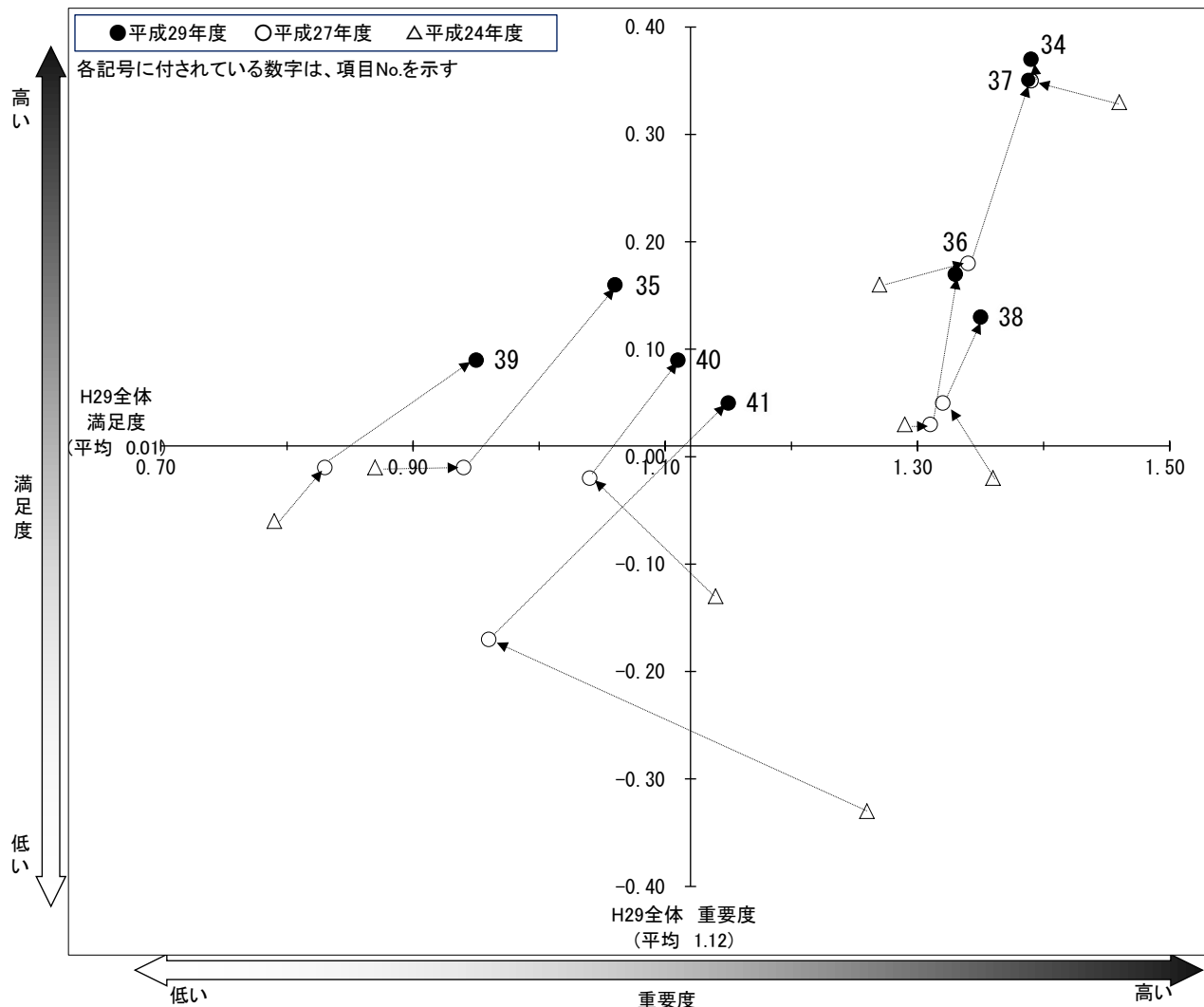
## □環境

『環境』分野の満足度平均ポイントは、「公園・緑地などのみどりの保全・活用」が0.37で最も高く、重要度では、「公園・緑地などのみどりの保全・活用」、「ごみの減量化やリサイクルの推進」が1.39で最も高くなっている。

前回調査と比較すると、満足度、重要度ともおおむね上昇している。変化の大きい項目を見ると、「再生可能エネルギーの普及活用」では満足度が0.22、重要度が0.19の上昇となっている。

平成24年度調査からの3カ年で見ると、「公園・緑地などのみどりの保全・活用」、「環境学習の場や機会の提供」の2項目では、満足度、重要度がともに2カ年とも上昇している。

CS分析では、「農地・屋敷林などの保全・活用」、「環境学習の場や機会の提供」、「省資源・省エネルギーの啓発」が改善分野から維持分野に、「再生可能エネルギーの普及活用」が改善分野から重点維持分野に、それぞれ移っている。



No.	項目	平成29年度		平成27年度		平成24年度		前回調査との比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
環境	34 公園・緑地などのみどりの保全・活用	0.37	1.39	0.18	1.34	0.16	1.27	↗	↗
	35 農地・屋敷林などの保全・活用	0.16	1.06	▲ 0.01	0.94	▲ 0.01	0.87	↗	↗
	36 公園の整備や道路・公共施設の緑化推進	0.17	1.33	0.03	1.31	0.03	1.29	↗	↗
	37 ごみの減量化やリサイクルの推進	0.35	1.39	0.35	1.39	0.33	1.46	→	→
	38 環境汚染の防止など公害対策の推進	0.13	1.35	0.05	1.32	▲ 0.02	1.36	↗	↗
	39 環境学習の場や機会の提供	0.09	0.95	▲ 0.01	0.83	▲ 0.06	0.79	↗	↗
	40 省資源・省エネルギーの啓発	0.09	1.11	▲ 0.02	1.04	▲ 0.13	1.14	↗	↗
	41 再生可能エネルギーの普及活用	0.05	1.15	▲ 0.17	0.96	▲ 0.33	1.26	↗	↗

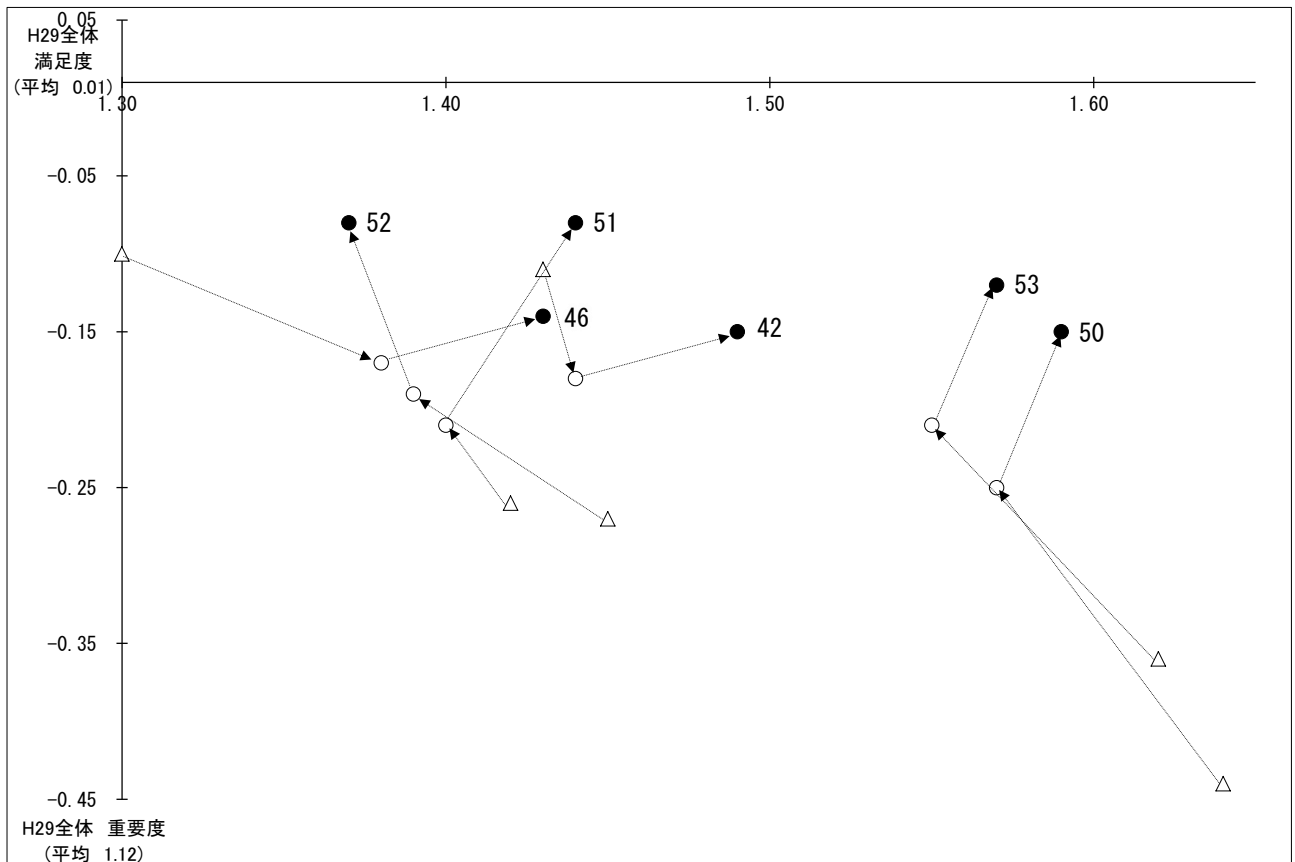
## □まちづくり

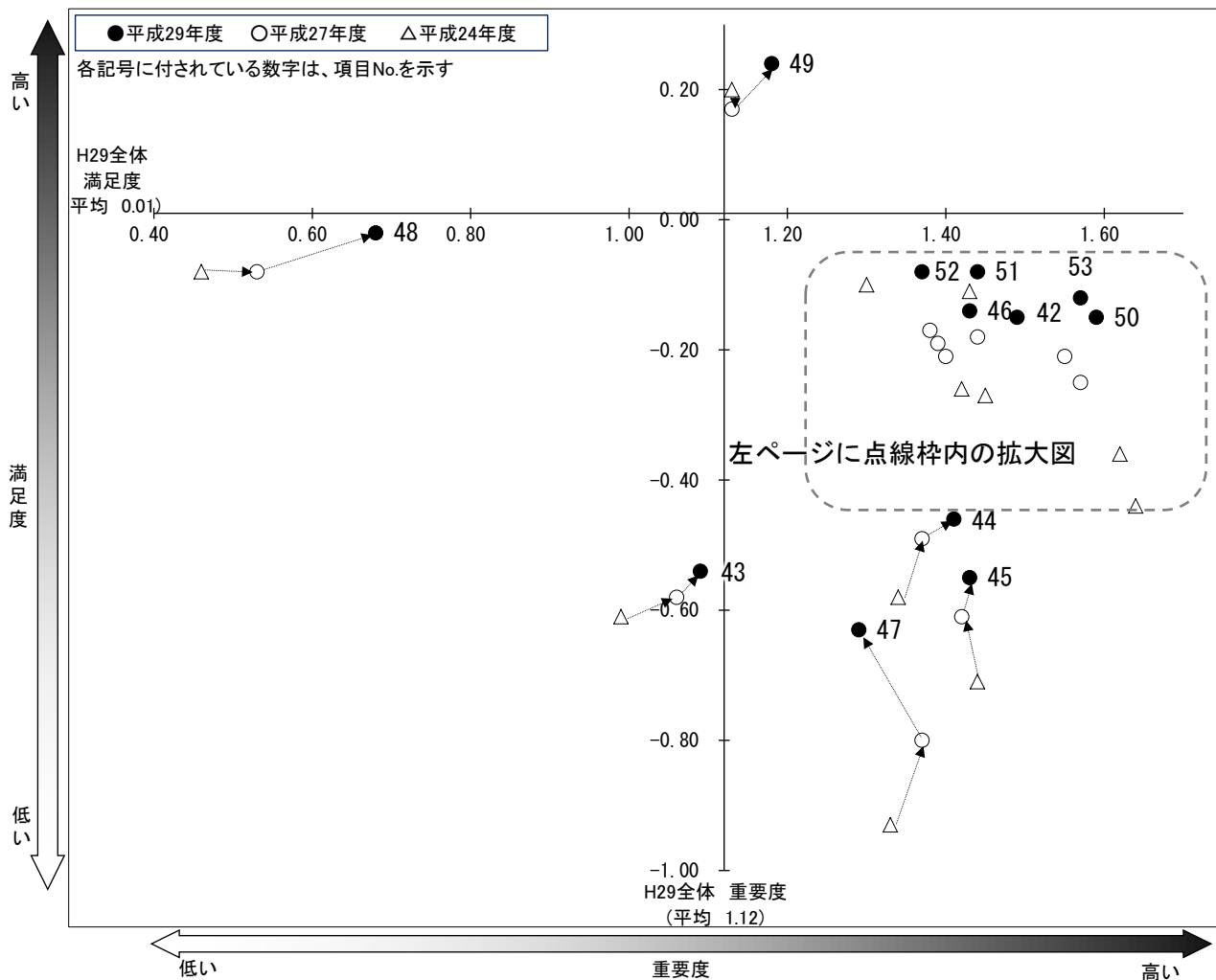
『まちづくり』分野の満足度平均ポイントは、「下水道事業の円滑な推進」を除く 11 項目でマイナス値となっており、全体平均の 0.01 を下回っている。重要度平均ポイントは、「大規模地震などへの災害対策」が 1.59 で最も高く、「電線地中化などによる街並み・景観整備」、「公共住宅の維持整備」を除く 10 項目で、全体平均の 1.12 を上回っている。

前回調査と比較すると、満足度が全項目で上昇している。変化の大きい項目を見ると、満足度は「自転車を利用しやすいまちづくり」で 0.17、重要度は「公共住宅の維持整備」で 0.15 の上昇となっている。

平成 24 年度調査からの 3 ヶ年で見ると、「電線地中化などによる街並み・景観整備」、「円滑な車両交通のための幹線・生活道路の整備」の 2 項目では、満足度、重要度ともに 2 ヶ年続けて上昇している。

<右ページ点線枠内の拡大図>





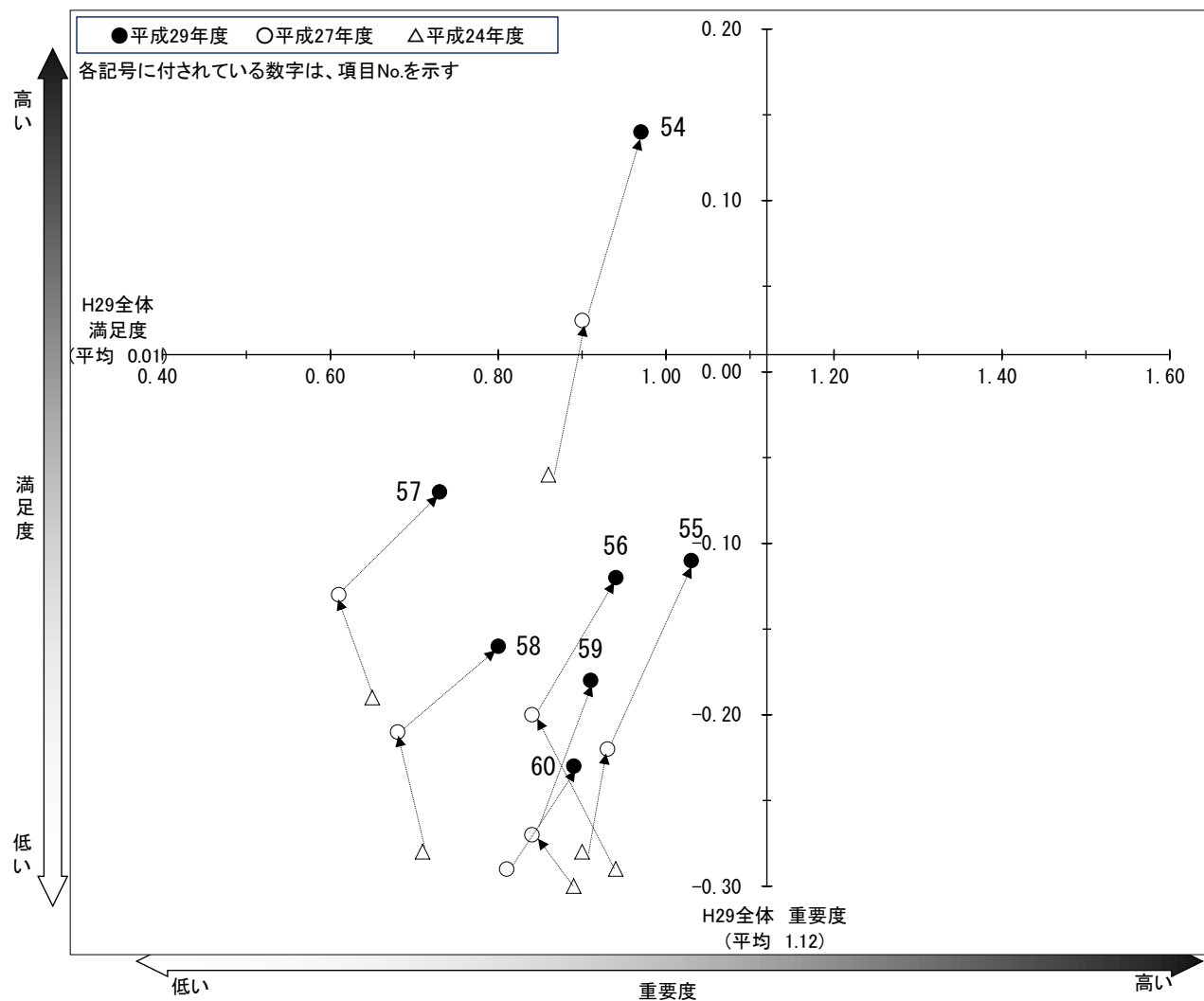
No.	項目	平成29年度		平成27年度		平成24年度		前回調査との比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
まちづくり	42 快適で安全な駅周辺の整備	▲ 0.15	1.49	▲ 0.18	1.44	▲ 0.11	1.43	↗	↗
	43 電線地中化などによる街並み・景観整備	▲ 0.54	1.09	▲ 0.58	1.06	▲ 0.61	0.99	↗	↗
	44 円滑な車両交通のための幹線・生活道路の整備	▲ 0.46	1.41	▲ 0.49	1.37	▲ 0.58	1.34	↗	↗
	45 段差解消などの歩きやすい道の整備	▲ 0.55	1.43	▲ 0.61	1.42	▲ 0.71	1.44	↗	↗
	46 バス路線網などの公共交通の充実	▲ 0.14	1.43	▲ 0.17	1.38	▲ 0.10	1.30	↗	↗
	47 自転車を利用しやすいまちづくり	▲ 0.63	1.29	▲ 0.80	1.37	▲ 0.93	1.33	↗	↘
	48 公共住宅の維持整備	▲ 0.02	0.68	▲ 0.08	0.53	▲ 0.08	0.46	↗	↗
	49 下水道事業の円滑な推進	0.24	1.18	0.17	1.13	0.20	1.13	↗	↗
	50 大規模地震などへの災害対策	▲ 0.15	1.59	▲ 0.25	1.57	▲ 0.44	1.64	↗	↗
	51 集中豪雨等のいっ水対策	▲ 0.08	1.44	▲ 0.21	1.40	▲ 0.26	1.42	↗	↗
	52 地域パトロール強化などの防犯対策	▲ 0.08	1.37	▲ 0.19	1.39	▲ 0.27	1.45	↗	↘
	53 緊急事態発生時の市の危機管理体制の強化	▲ 0.12	1.57	▲ 0.21	1.55	▲ 0.36	1.62	↗	↗

## □産業・活力

『産業・活力』分野の満足度平均ポイントは、「地産地消の促進などによる農業の振興」が0.14で最も高く、その他の6項目では、全てマイナス値となっている。重要度平均ポイントは、「地元商業・サービス業の育成・支援」が1.03で最も高くなっているが、全体平均の1.12を下回っている。

前回調査と比較すると、満足度、重要度ともに全項目で上昇している。変化の大きい項目を見ると、満足度では「地産地消の促進などによる農業の振興」、「地元商業・サービス業の育成・支援」がともに0.11の上昇、重要度では「起業支援、産学公連携など新産業の育成支援」、「拠点整備、企業誘致などによる産業の振興」がともに0.12の上昇となっている。

平成24年度からの3カ年で見ると、「地産地消の促進などによる農業の振興」、「地元商業・サービス業の育成・支援」は、満足度、重要度ともに2カ年とも上昇している。



No.	項目	平成29年度		平成27年度		平成24年度		前回調査との比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
産業・活力	54 地産地消の促進などによる農業の振興	0.14	0.97	0.03	0.90	▲ 0.06	0.86	↗	↗
	55 地元商業・サービス業の育成・支援	▲ 0.11	1.03	▲ 0.22	0.93	▲ 0.28	0.90	↗	↗
	56 就職機会の提供など地域労働環境の向上支援	▲ 0.12	0.94	▲ 0.20	0.84	▲ 0.29	0.94	↗	↗
	57 起業支援、産学公連携など新産業の育成支援	▲ 0.07	0.73	▲ 0.13	0.61	▲ 0.19	0.65	↗	↗
	58 拠点整備、企業誘致などによる産業の振興	▲ 0.16	0.80	▲ 0.21	0.68	▲ 0.28	0.71	↗	↗
	59 自然や観光資源などによるまちの魅力の向上	▲ 0.18	0.91	▲ 0.27	0.84	▲ 0.30	0.89	↗	↗
60 西東京市のPR・イメージアップ	▲ 0.23	0.89	▲ 0.29	0.81	—	—	↗	↗	

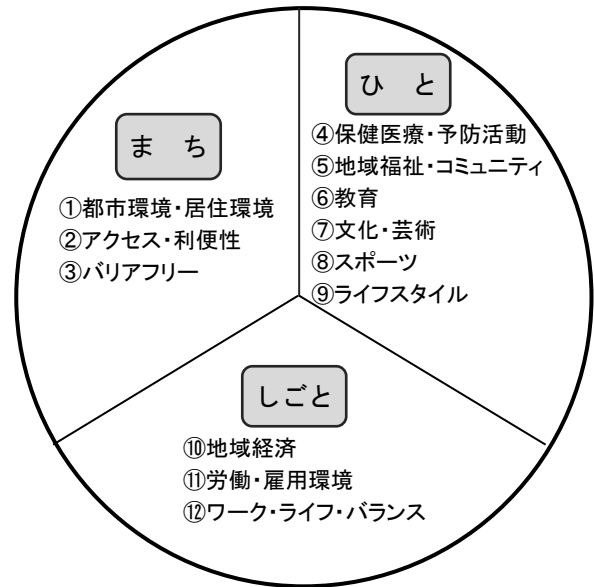
### 3. 「健康」応援都市について

#### (1) まち全体の「健康」達成に向けて重要な要素

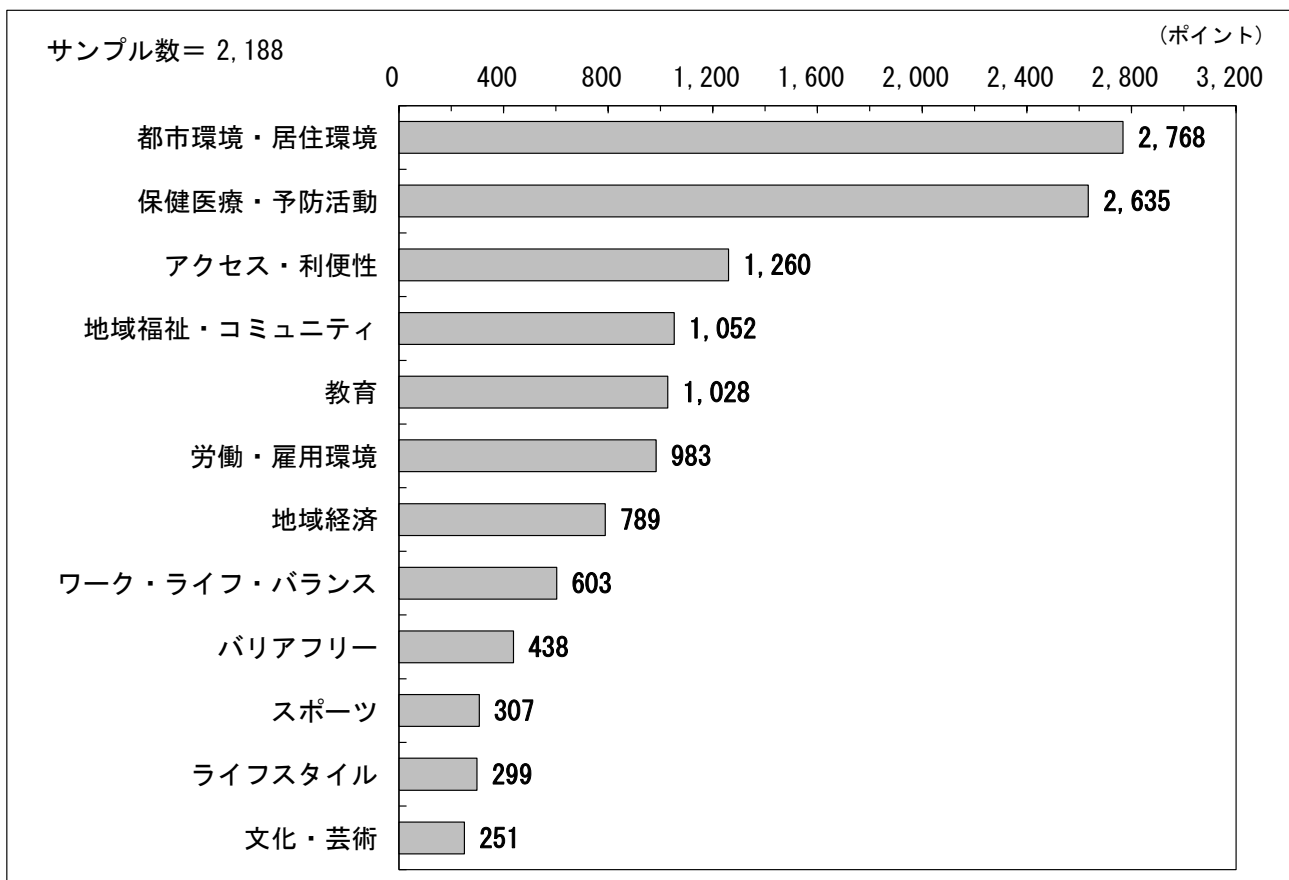
【問8】 すべての方にお聞きします。次の、まち、ひと、しごとの観点から、まち全体の「健康」を達成させるための要素を3つに分類した図の①～⑫のうち、あなたが重要と考えるものを、重要度が高い順に3つお答えください。  
また、「健康」応援都市について、ご意見があればお書きください。（自由回答）。

回答について、1位を3ポイント、2位を2ポイント、3位を1ポイントとし、選択肢別に合計値を算出すると（加重結果※無回答は除く）、まち全体の「健康」を達成させるための要素としては、「都市環境・居住環境」が2,768ポイントで最も多く、次いで、「健康医療・予防活動」の2,635ポイント、「アクセス・利便性」の1,260ポイントとなっている。

「都市環境・居住環境」、「健康医療・予防活動」は、3番目の要素に比べ、2倍以上のポイントとなっている。



#### <加重結果>



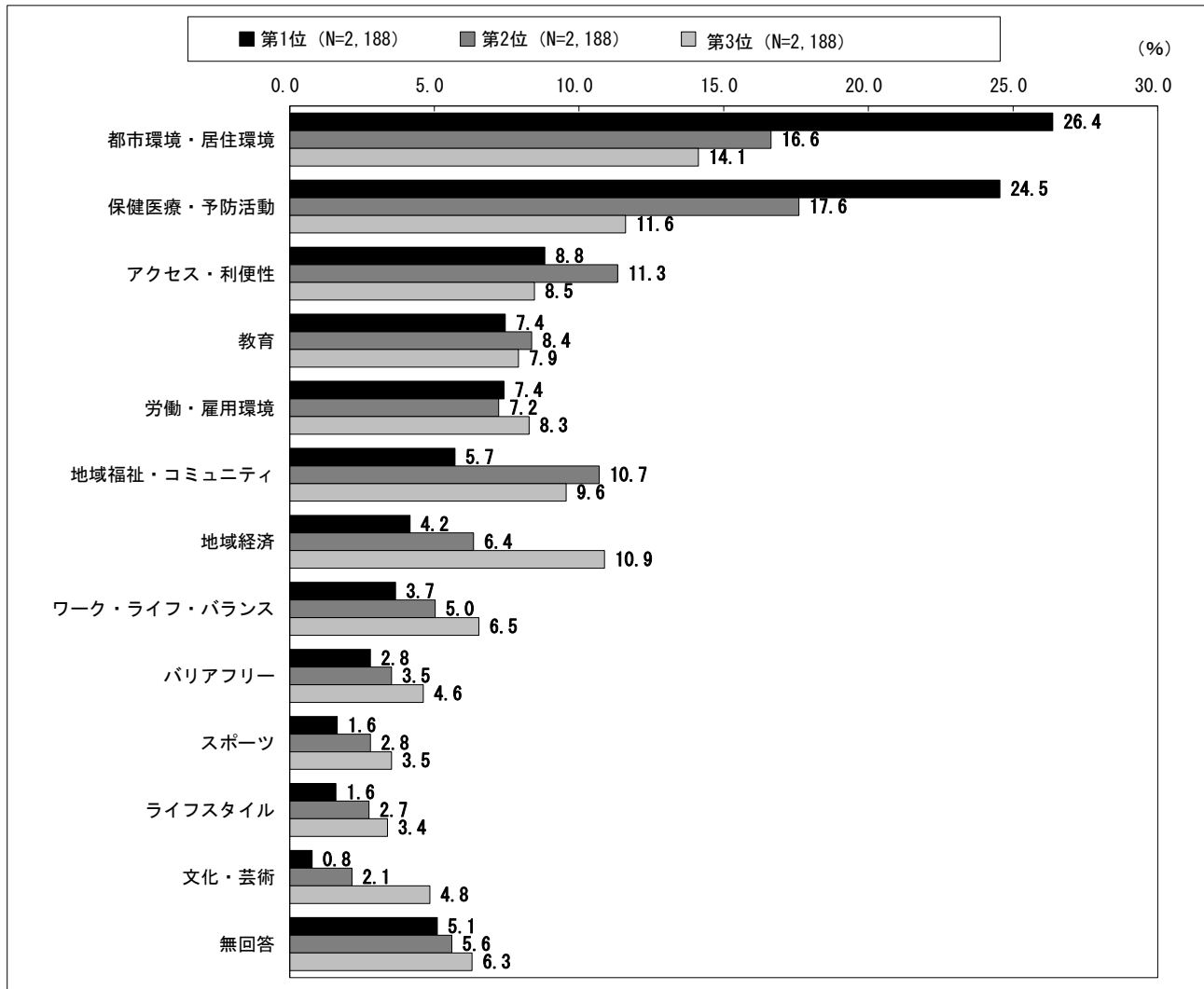


### <順位別結果>

第1位としては「都市環境・居住環境」が26.4%で最も多く、次いで「保健医療・予防活動」が24.5%となっている。

第2位としては「保健医療・予防活動」が17.6%で最も多く、次いで「都市環境・居住環境」が16.6%、「アクセス・利便性」が11.3%、「地域福祉・コミュニティ」が10.7%となっている。

第3位としては「都市環境・居住環境」が14.1%で最も多く、次いで「保健医療・予防活動」が11.6%、「地域経済」が10.9%となっている。



<性別・年代別・同居家族別（加重結果）>

加重結果を年代別に見ると、30歳未満から50歳代では「都市環境・居住環境」のポイント数が最も多く、次いで「保健医療・予防活動」となっているが、60歳代以上では「保健医療・予防活動」のポイント数が最も多く、次いで「都市環境・居住環境」となっている。3番目は、30歳から40歳代では「教育」、50歳から60歳代では「地域福祉・コミュニティ」、30歳未満と70歳以上では「アクセス・利便性」となっている。

職業別に見ると、いずれにおいても、「都市環境・居住環境」、「保健医療・予防活動」が1、2番目のいずれかになっている。3番目は、勤め人（会社や公的機関等）、専業主婦・主夫、学生では「アクセス・利便性」、パート・アルバイト等、自営業・事業主・農業では「労働・雇用環境」、無職では「地域福祉・コミュニティ」となっている。

同居家族別に見ると、中学生以下の子どもがいる家族は、「保健医療・予防活動」が最も多く、次いで「地域福祉・コミュニティ」、「都市環境・居住環境」となっている。高校・大学生の子どもがいる家族は、「教育」が最も多く、次いで「都市環境・居住環境」、「文化・芸術」となっているが、7番目までのポイント数の差が少なく、重要と考える要素にバラつきが見られる。介護を必要とする家族がいる場合は、「アクセス・利便性」が最も多く、次いで「都市環境・居住環境」、「バリアフリー」、介護を必要としない65歳以上の家族がいる場合は、「都市環境・居住環境」が最も多く、次いで「アクセス・利便性」、「バリアフリー」となっており、ともに「バリアフリー」が3番目までに含まれている。

（単位：ポイント）

	サンプル数	「ま 都市 環境 ・ 居 住 環 境」	「ひ と 保 健 医 療 ・ 予 防 活 動」	「ま ち ア ク セ ス ・ 利 便 性」	「ひ と 教 育」	「し ご と 労 働 ・ 雇 用 環 境」	「ひ と 地 域 福 祉 ・ コ ミ ュ ニ テ ィ」	「し ご と 地 域 経 済」	「し ご と ワ ー ク ・ ラ イ フ ・ バ ラ ン ス」	「ま ち バ リ ア フ リ ー」	「ひ と ス ポ ー ツ」	「ひ と ラ イ フ ス タ イ ル」	「ひ と 文 化 ・ 芸 術」	
全体	2,188	2,768	2,635	1,260	1,028	983	1,052	789	603	438	307	299	251	
性別	男	876	1,195	1,027	479	442	367	395	305	246	136	189	150	110
	女	1,094	1,307	1,326	696	511	531	548	403	318	245	97	125	125
年代	30歳未満	257	310	242	203	133	166	97	70	117	48	68	52	29
	30歳代	373	502	399	232	252	163	145	126	165	45	54	75	27
	40歳代	371	485	388	229	255	203	182	148	121	46	56	55	38
	50歳代	393	527	493	236	141	175	258	145	97	82	47	47	53
	60歳代	308	403	439	132	135	146	153	126	47	51	44	45	39
	70歳以上	469	513	657	219	102	128	212	164	51	163	36	25	63
居住年数	5年未満	340	500	341	260	200	132	131	128	147	48	28	51	36
	5年以上10年未満	271	342	324	153	172	128	105	76	100	37	47	36	37
	10年以上	1,565	1,907	1,963	842	653	718	812	582	355	350	230	210	175

注) まち全体の「健康」を達成させるための要素の選択肢は、左から全体の加重結果でポイント数の多い順（「その他」、「困っていることは特にない」を除く）としている。なお、属性別に見た場合のポイント数上位3番目までを網掛けしている。

(単位：ポイント)

	サンプル数	【まち】 都市環境・居住環境	【ひと】 保健医療・予防活動	【まち】 アクセス・利便性	【ひと】 教育	【しごと】 労働・雇用環境	【まち】 地域福祉・コミュニティ	【しごと】 地域経済	【しごと】 ワーク・ライフ・バランス	【まち】 バリアフリー	【ひと】 スポーツ	【ひと】 ライフスタイル	【ひと】 文化・芸術	
全体	2,188	2,768	2,635	1,260	1,028	983	1,052	789	603	438	307	299	251	
職業	自営業・事業主・農業	143	164	179	66	68	81	58	63	25	30	18	10	14
	勤め人（会社や公的機関等）	819	1,159	903	524	466	346	384	273	314	109	119	144	93
	パート・アルバイト等	285	356	299	143	100	212	152	109	84	44	45	47	24
	専業主婦・主夫	385	450	551	223	171	118	182	165	69	117	46	33	43
	学生	130	156	117	97	82	80	47	32	52	26	39	32	19
	無職	356	423	505	167	114	112	182	125	45	94	27	25	44
	その他	37	25	50	22	13	22	25	9	7	9	8	4	10
住居	一戸建て（持ち家、借家）	1,168	1,444	1,413	657	584	484	576	464	308	238	166	152	133
	民間集合住宅（マンション、アパート）	746	1,006	918	447	311	344	357	246	241	146	102	116	88
	公営住宅	216	246	249	122	91	135	102	65	40	37	26	24	27
	その他（住居無回答を含む）	58	72	55	34	42	20	17	14	14	17	13	7	3
世帯構成	単身世帯（一人で住んでいる）	244	303	309	165	53	145	120	65	68	45	17	27	23
	夫婦で住んでいる	520	681	681	285	162	157	251	201	112	116	63	78	99
	二世帯世帯（親と子）	1,167	1,483	1,340	660	681	572	570	425	353	212	189	167	115
	三世帯世帯（親と子と孫）	137	145	173	72	77	61	68	50	52	33	19	17	6
	その他	46	54	66	39	15	14	17	21	6	13	4	1	5
同居家族	小学校入学前の子がいる	229	101	368	27	39	56	106	52	25	60	37	72	94
	小・中学生の子がいる	300	124	365	82	97	57	157	58	21	96	87	106	112
	高校・大学生の子がいる	314	154	132	138	160	52	140	64	47	135	102	73	143
	介護を必要とする家族がいる	145	125	26	207	30	17	27	28	16	65	59	23	31
	介護を必要としない65歳以上の家族がいる	507	464	59	261	112	68	177	79	41	236	140	106	144

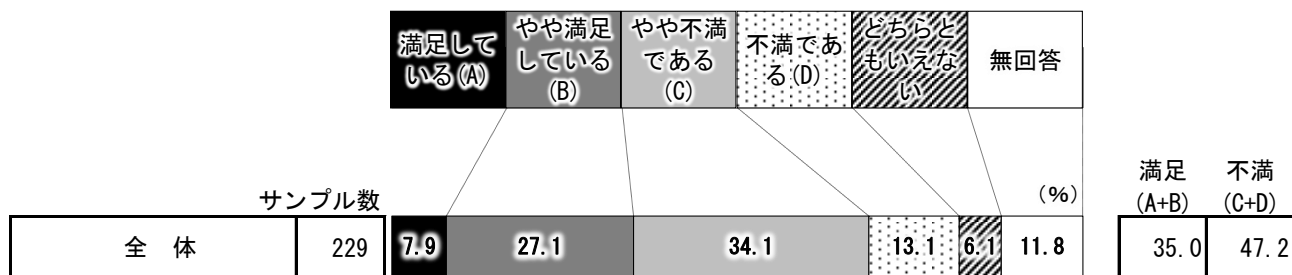
注) まち全体の「健康」を達成させるための要素の選択肢は、左から全体の加重結果でポイント数の多い順（「その他」、「困っていることは特にない」を除く）としている。なお、属性別に見た場合のポイント数上位3番目までを網掛けしている。

## 4. あなたの暮らしの希望について

### (1) 子育て全般への満足度【未就学児のいる保護者のみ】

【問9】未就学児のいる保護者の方にお聞きします。西東京市での子育て全般について、どのように感じていますか。（〇は1つだけ）。

子育て全般の満足度については、「やや不満である」が34.1%で最も多くなっている。「満足している」、「やや満足している」を合わせた『満足』が35.0%、「やや不満である」、「不満」を合わせた『不満』が47.2%で、『不満』が『満足』を上回っている。

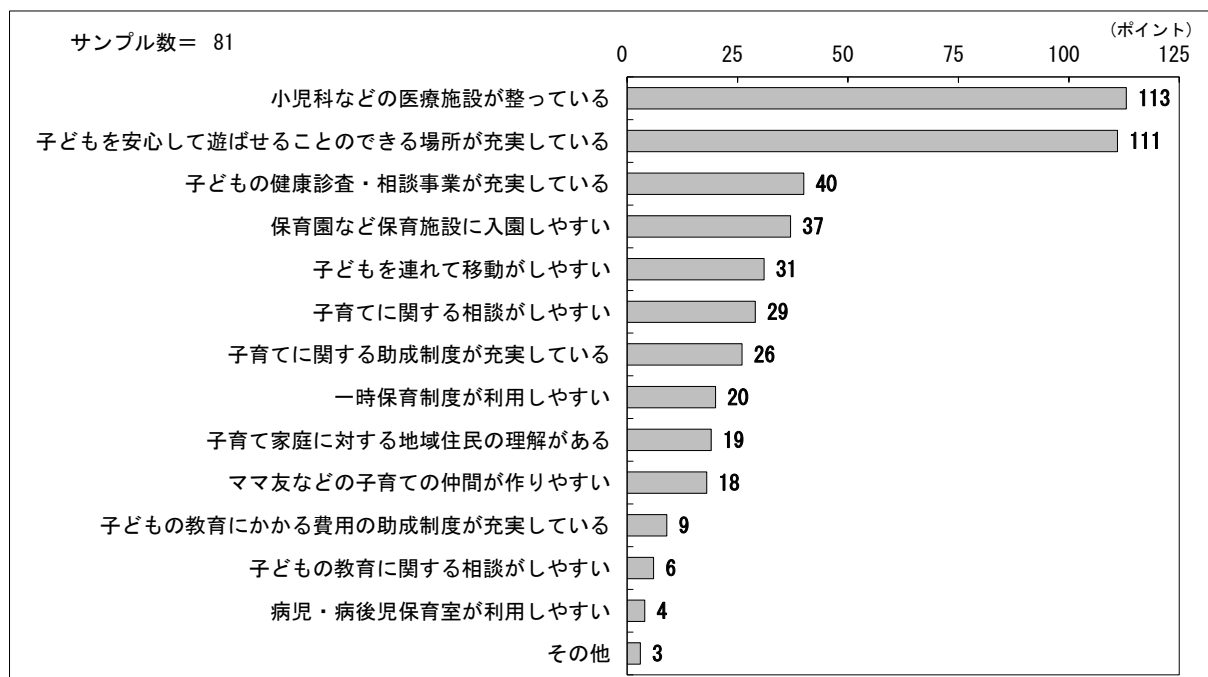


### (2) 子育て全般に満足している理由

【問9-2】問9で「1. 満足している」または「2. やや満足している」と答えた方にお聞きします。その主な理由は何ですか。下の1~14の中から、当てはまる順に3つ選んで、枠内にその番号を記入してください。

回答について、1位を3ポイント、2位を2ポイント、3位を1ポイントとし、選択肢別に合計値を算出すると（加重結果※無回答は除く）、西東京市の子育て全般に対し『満足』と回答した理由としては、「小児科などの医療施設が整っている」が113ポイントで最も多く、次いで、「子どもを安心して遊ばせることのできる場所が充実している」の111ポイントとなっている。

#### <加重結果>

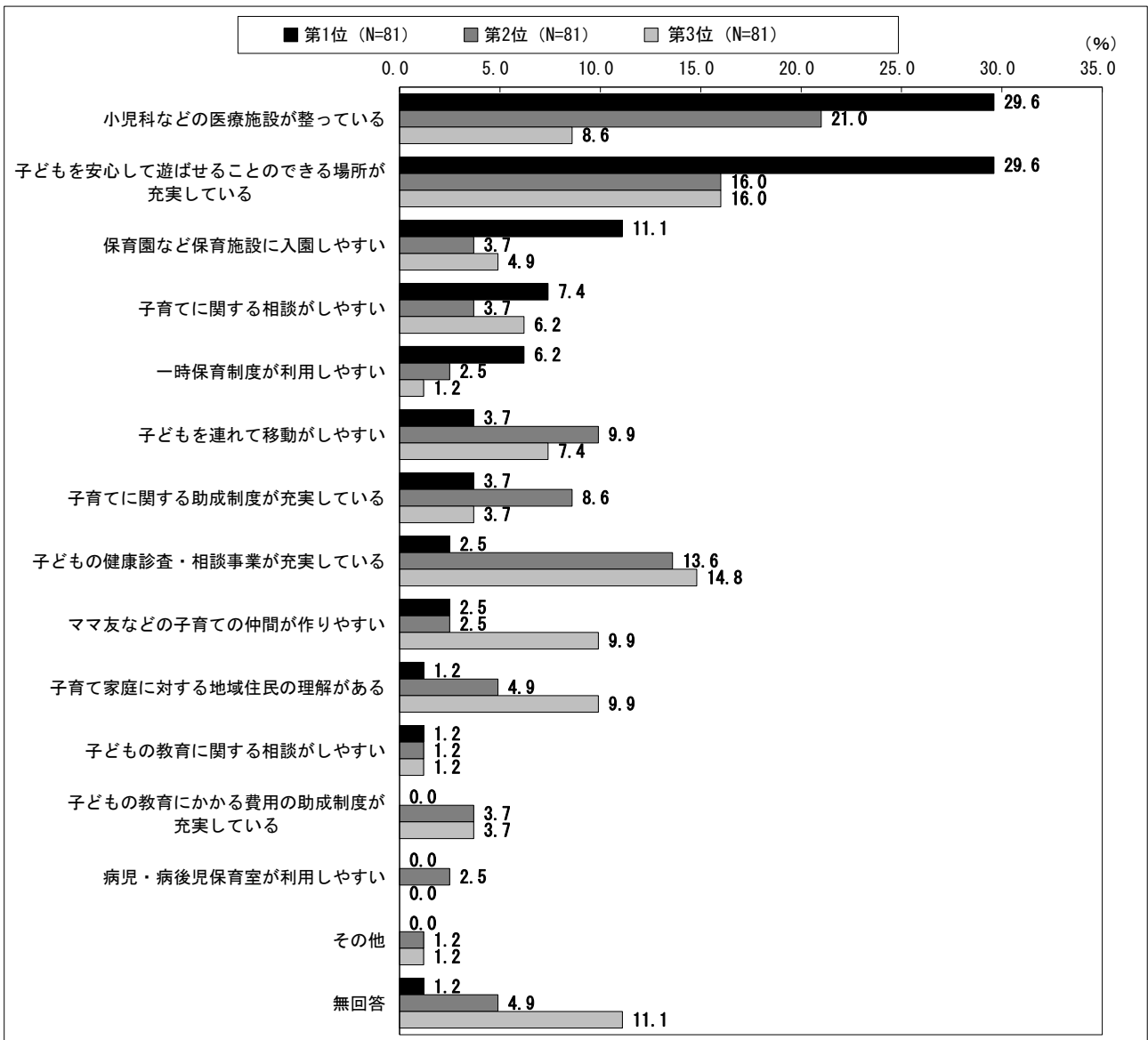


### <順位別結果>

第1位としては「小児科などの医療施設が整っている」、「子どもを安心して遊ばせることのできる場所が充実している」がともに29.6%で最も多く、回答の半数以上がこの2つの理由に集中している。

第2位としては「小児科などの医療施設が整っている」が21.0%で最も多く、次いで「子どもを安心して遊ばせることのできる場所が充実している」が16.0%、「子どもの健康診査・相談事業が充実している」が13.6%となっている。

第3位としては「子どもを安心して遊ばせることのできる場所が充実している」が16.0%で最も多く、次いで「子どもの健康診査・相談事業が充実している」が14.8%となっている。

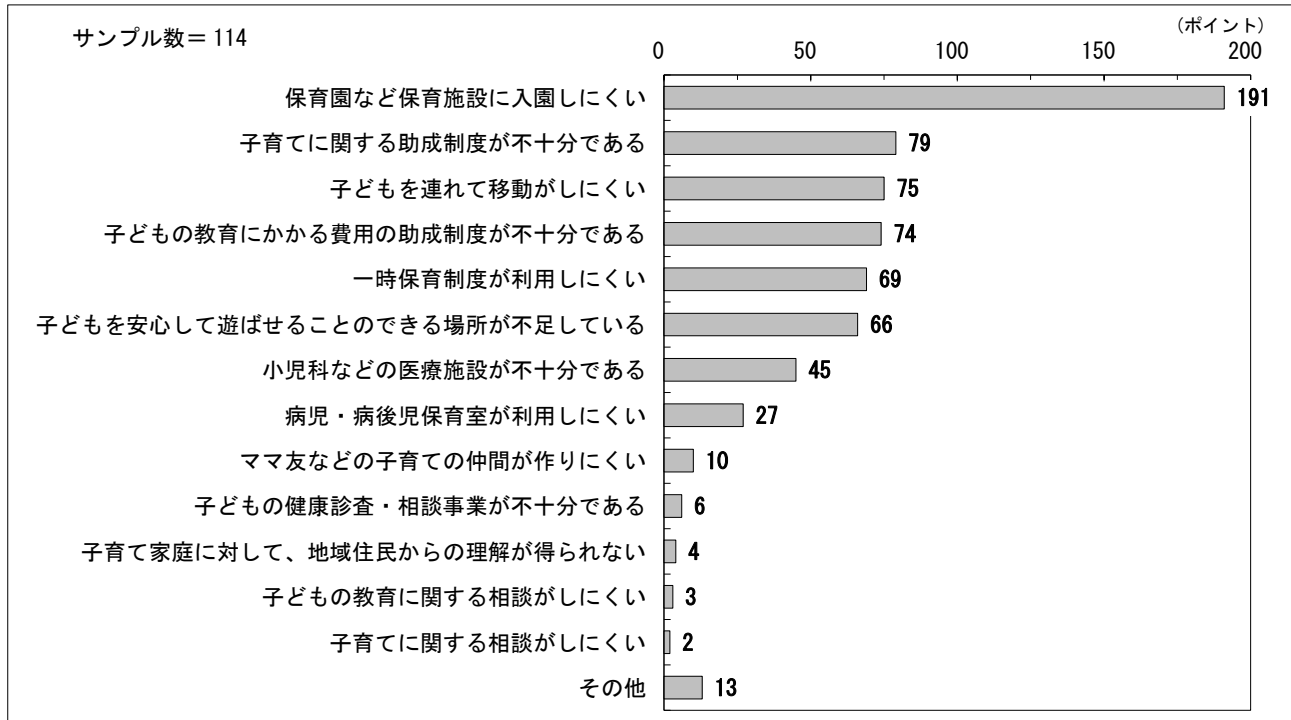


### (3)子育て全般に不満を感じる理由

【問9-3】問9で「3. やや不満である」または「4. 不満である」と答えた方にお聞きします。その主な理由は何ですか。下の1~14の中から、当てはまる順に3つ選んで、枠内にその番号を記入してください。

回答について、1位を3ポイント、2位を2ポイント、3位を1ポイントとし、選択肢別に合計値を算出すると（加重結果※無回答は除く）、西東京市の子育て全般に対し『不満』と回答した理由としては、「保育園など保育施設に入園しにくい」が191ポイントで最も多くなっている。

#### <加重結果>

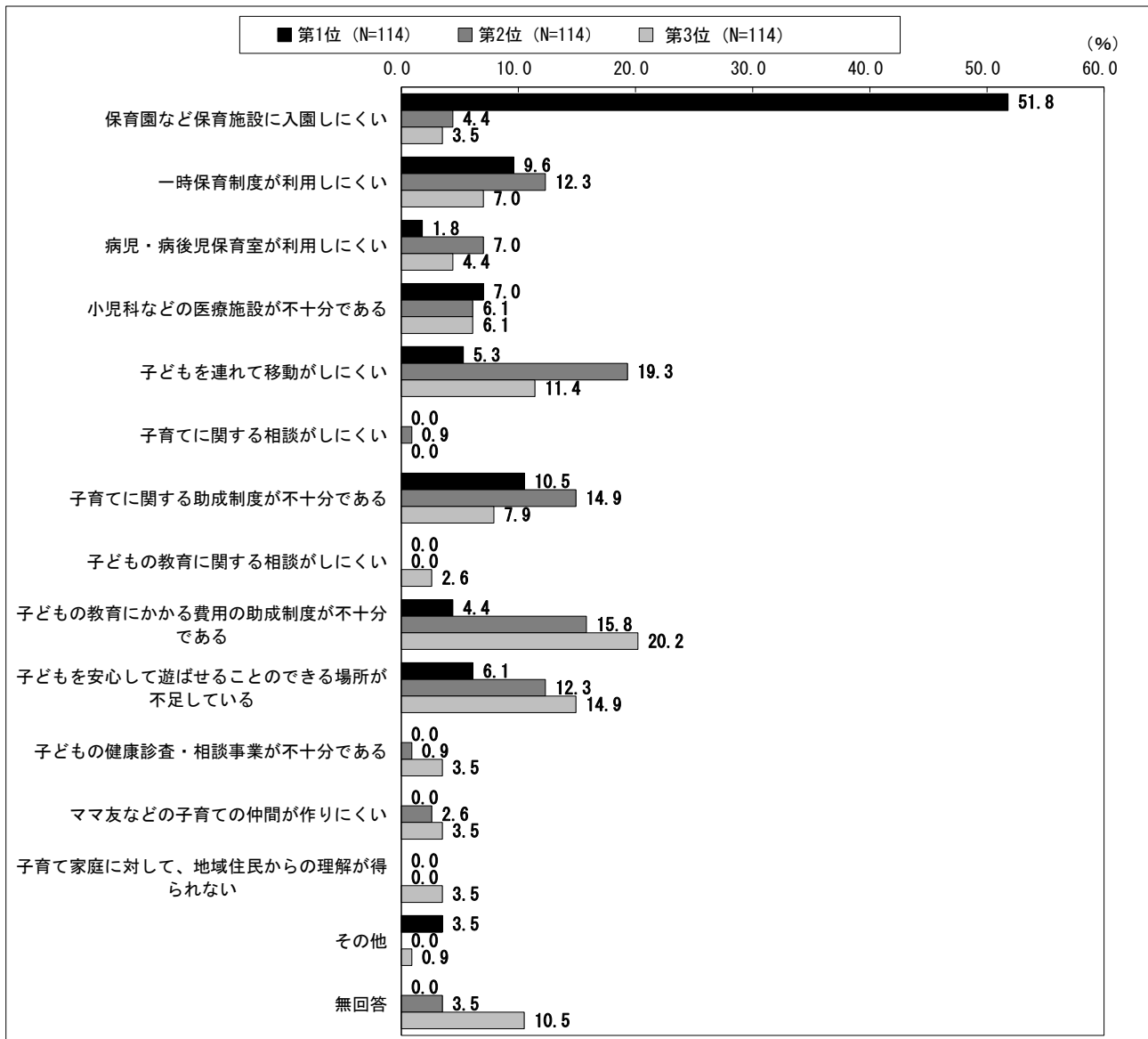


### <順位別結果>

第1位としては「保育園など保育施設に入園しにくい」が51.8%で最も多く、回答の半数以上となっている。

第2位としては「子どもを連れて移動がしにくい」が19.3%で最も多く、次いで「子どもの教育にかかる助成制度が不十分である」が15.8%、「子育てに関する助成制度が不十分である」が14.9%となっている。

第3位としては「子どもの教育にかかる助成制度が不十分である」が20.2%で最も多く、次いで「子どもを安心して遊ばせることのできる場所が不足している」が14.9%となっている。



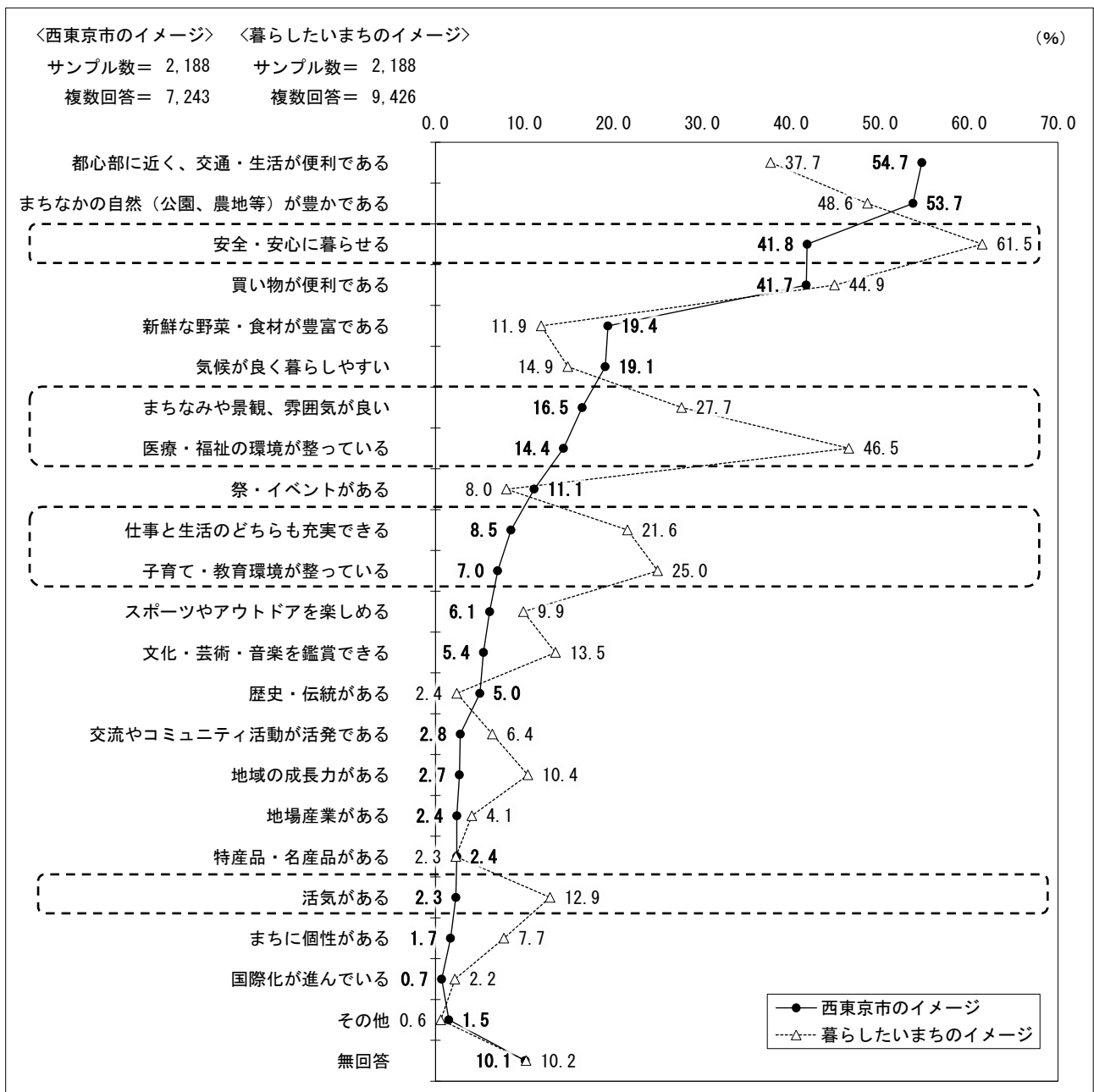
#### (4)西東京市のイメージと暮らしたいまちのイメージ

【問10】すべての方にお聞きします。あなたが思う「西東京市のイメージ」と、あなたが将来的に「暮らしたいまちのイメージ」をそれぞれお答えください。

西東京市のイメージについては、「都心部に近く、交通・生活が便利である」が54.7%で最も多く、次いで「まちなかの自然（公園、農地等）が豊かである」が53.7%、「安全・安心に暮らせる」が41.8%、「買い物が便利である」が41.7%となっている。

暮らしたいまちのイメージについては、「安全・安心に暮らせる」が61.5%で最も多く、次いで、「まちなかの自然（公園、農地等）が豊かである」が48.6%、「医療・福祉の環境が整っている」が46.5%、「買い物が便利である」が44.9%となっている。

暮らしたいまちのイメージと比較して、西東京市のイメージの回答割合が10ポイント以上低い項目は、「安全・安心に暮らせる」、「まちなみや景観、雰囲気が良い」、「医療・福祉の環境が整っている」、「仕事と生活のどちらも充実できる」、「子育て・教育環境が整っている」、「活気がある」となっている。



注) 西東京市のイメージと暮らしたいまちのイメージでは複数回答の合計が異なっている。



## (5)ライフステージ別住みたいまち【18～39歳のみ】

【問11】18歳～39歳の方にお聞きします。あなたが次の状況になったとき、具体的にどこに住みたいと思いますか。(〇は1つずつ)  
また、それぞれの状況について、「市内」及び「近隣区市部※1」以外を選んだ場合は、具体的な自治体名(あるいは地域名)をご記入ください。

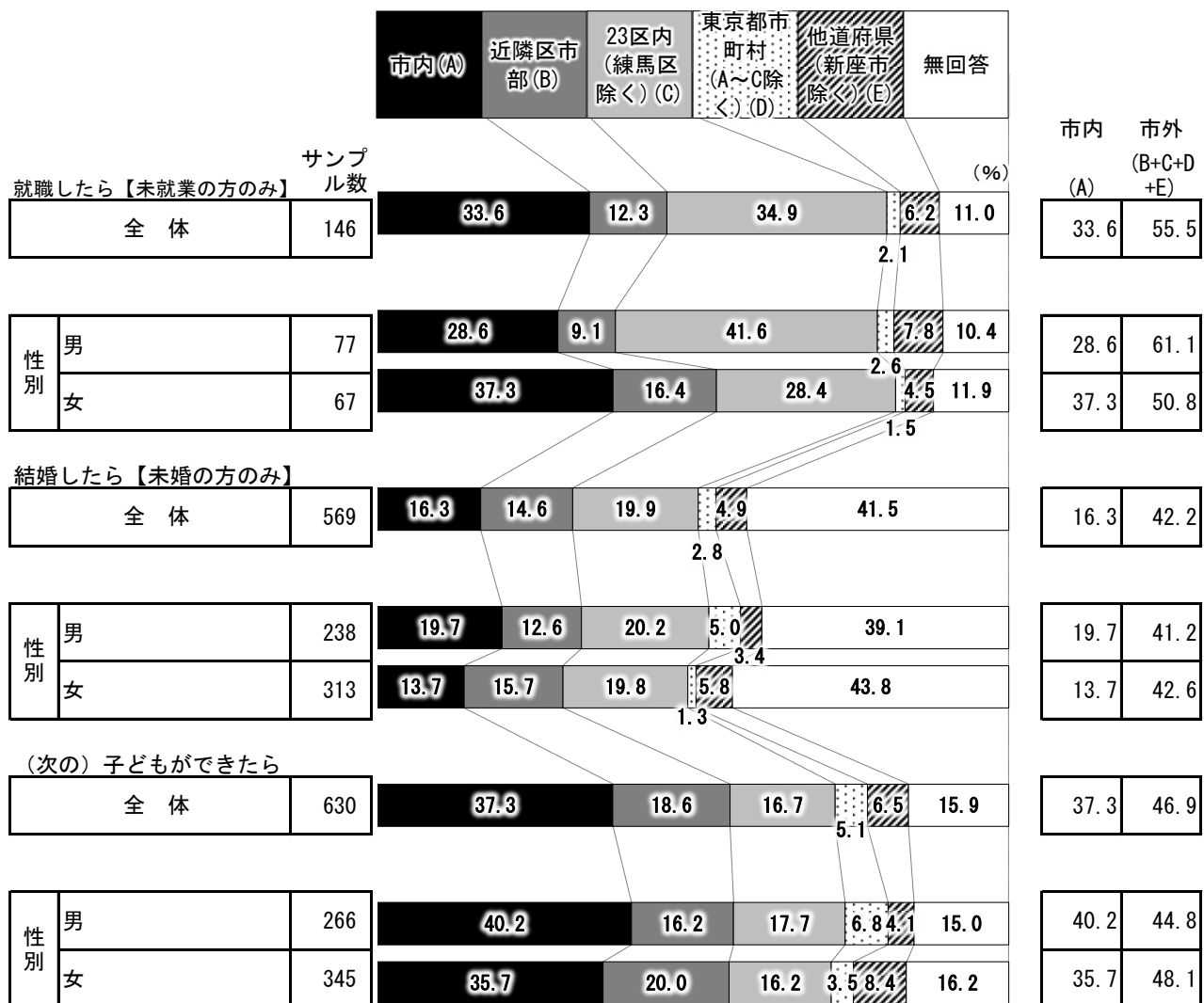
未就業の方が就職したら住みたいまちについては、「23区内(練馬区を除く)」が34.9%で最も多く、次いで「市内」が33.6%となっている。

男女別に見ると、男性では「23区内(練馬区を除く)」が41.6%で最も多く、次いで「市内」の28.6%となっている。一方、女性では「市内」が37.3%で最も多く、次いで「23区内(練馬区を除く)」の28.4%となっている。

未婚の方が結婚したら住みたいまちについては、「23区内(練馬区を除く)」が19.9%で最も多く、次いで「市内」が16.3%、「近隣区市部」が14.6%となっている。

(次の)子どもができたなら住みたいまちについては、「市内」が37.3%で最も多く、次いで「近隣区市部」が18.6%、「23区内(練馬区を除く)」が16.7%となっている。

高齢になったら住みたいまちについては、「市内」が38.3%で最も多く、次いで「近隣区市部」が16.5%、「他道府県(新座市を除く)」が15.4%となっている。



		市内(A)	近隣区市部(B)	23区内 (練馬区除く)(C)	東京都市 町村 (A~C除 く)(D)	他道府県 (新座市 除く)(E)	無回答	市内 (A)	市外 (B+C+D +E)
高齢になったら		サンプル数	(%)						
全体		630	38.3	16.5	11.3	5.2	15.4	38.3	48.4
性別	男	266	38.7	15.0	11.3	6.0	17.3	38.7	49.6
	女	345	37.7	17.4	11.9	4.3	14.5	37.7	48.1

各ライフステージの「無回答」をサンプル数から除外して見ると、結婚したら住みたいまちについては、他のライフステージに比べて、「市内」の割合が少なくなっている。

		市内(A)	近隣区市部(B)	23区内 (練馬区除く)(C)	東京都市 町村 (A~C除 く)(D)	他道府県 (新座市 除く)(E)	無回答	市内 (A)	市外 (B+C+D +E)
就職したら【未就業の方のみ】		サンプル数	(%)						
全体		130	37.7	13.8	39.2	6.9	2.3	37.7	62.2
結婚したら【未婚の方のみ】		サンプル数	(%)						
全体		333	27.9	24.9	33.9	4.8	8.4	27.9	72.0
(次の)子どもができたら		サンプル数	(%)						
全体		530	44.3	22.1	19.8	6.0	7.7	44.3	55.6
高齢になったら		サンプル数	(%)						
全体		546	44.1	19.0	13.0	6.0	17.8	44.1	55.8

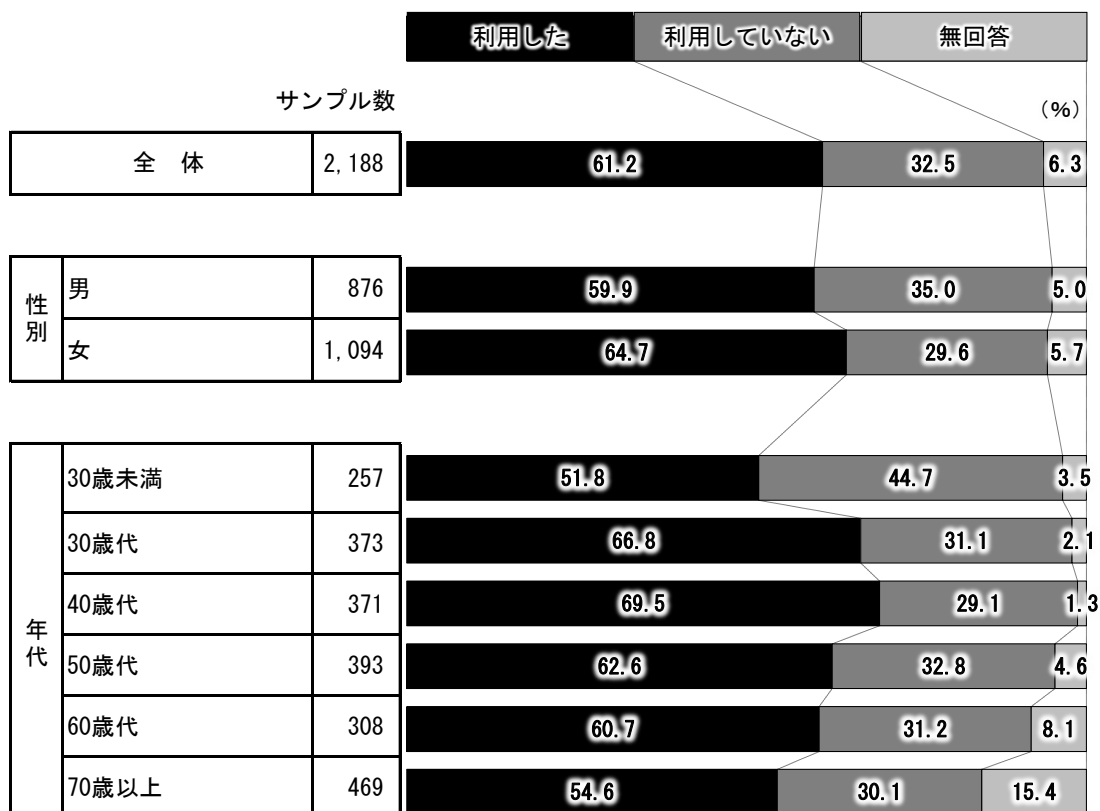
## 5. 西東京市の公共施設について

### (1) 過去1年間における公共施設等の利用状況

【問12】 すべての方にお聞きします。あなたはこの1年の間に、西東京市の公共施設等（施設名称は問14を参照）を利用しましたか。（○は1つだけ）

この1年の間に西東京市の公共施設を「利用した」が61.2%、「利用していない」が32.5%となっている。

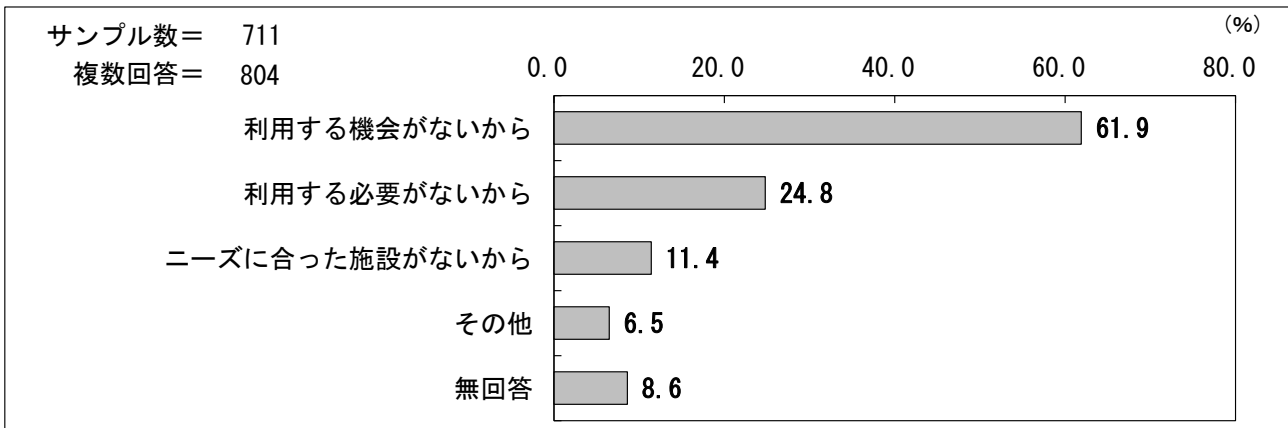
年代別で見ると、公共施設を「利用した」の割合が最も多いのは40歳代で69.5%となっている。30歳から60歳代では6割以上が公共施設を利用しているが、30歳未満と70歳以上では、他の世代と比較して「利用した」の割合が少なくなっている。



## (2)公共施設等を利用していない理由

【問13】問12で「2.利用していない」とお答えの方にお聞きします。西東京市の公共施設等を利用していない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

公共施設を「利用していない」理由としては、「利用する機会がないから」が61.9%となっている。



	サンプル数	合計回答数	利用する機会がないから	利用する必要があるから	ニーズに合った施設がないから	その他	無回答	
全体	711 ( 100.0)	804 ( 113.1)	440 ( 61.9)	176 ( 24.8)	81 ( 11.4)	46 ( 6.5)	61 ( 8.6)	
性別	男	307 ( 100.0)	192 ( 111.7)	76 ( 62.5)	76 ( 24.8)	33 ( 10.7)	17 ( 5.5)	25 ( 8.1)
	女	324 ( 100.0)	368 ( 113.6)	202 ( 62.3)	78 ( 24.1)	41 ( 12.7)	22 ( 6.8)	25 ( 7.7)
年代	30歳未満	115 ( 100.0)	125 ( 108.7)	75 ( 65.2)	28 ( 24.3)	7 ( 6.1)	4 ( 3.5)	11 ( 9.6)
	30歳代	116 ( 100.0)	136 ( 117.2)	82 ( 70.7)	27 ( 23.3)	15 ( 12.9)	5 ( 4.3)	7 ( 6.0)
	40歳代	108 ( 100.0)	125 ( 115.7)	70 ( 64.8)	28 ( 25.9)	11 ( 10.2)	8 ( 7.4)	8 ( 7.4)
	50歳代	129 ( 100.0)	148 ( 114.7)	78 ( 60.5)	35 ( 27.1)	21 ( 16.3)	3 ( 2.3)	11 ( 8.5)
	60歳代	96 ( 100.0)	106 ( 110.4)	62 ( 64.6)	22 ( 22.9)	8 ( 8.3)	6 ( 6.3)	8 ( 8.3)
	70歳以上	141 ( 100.0)	158 ( 112.1)	71 ( 50.4)	35 ( 24.8)	18 ( 12.8)	18 ( 12.8)	16 ( 11.3)

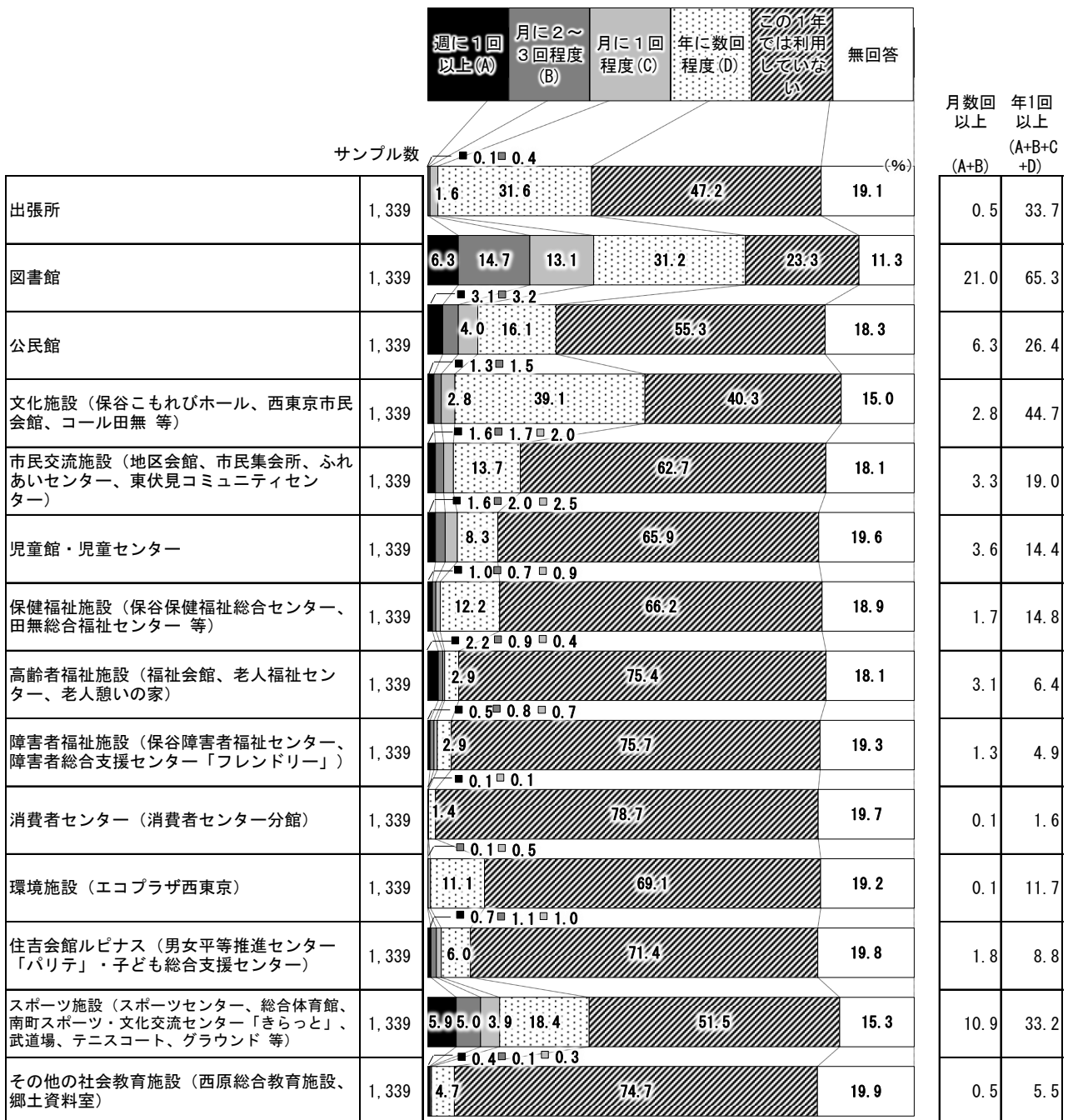
注：( )内はサンプル数を母数とした割合 単位は%

### (3)公共施設別の利用頻度

【問14】問12で「1.利用した」とお答えの方にお聞きします。西東京市の次の公共施設等のそれぞれについて、この1年の間に何回程度利用していますか。施設ごとに最も近い回数をお答えください。(〇はそれぞれの項目に1つずつ)

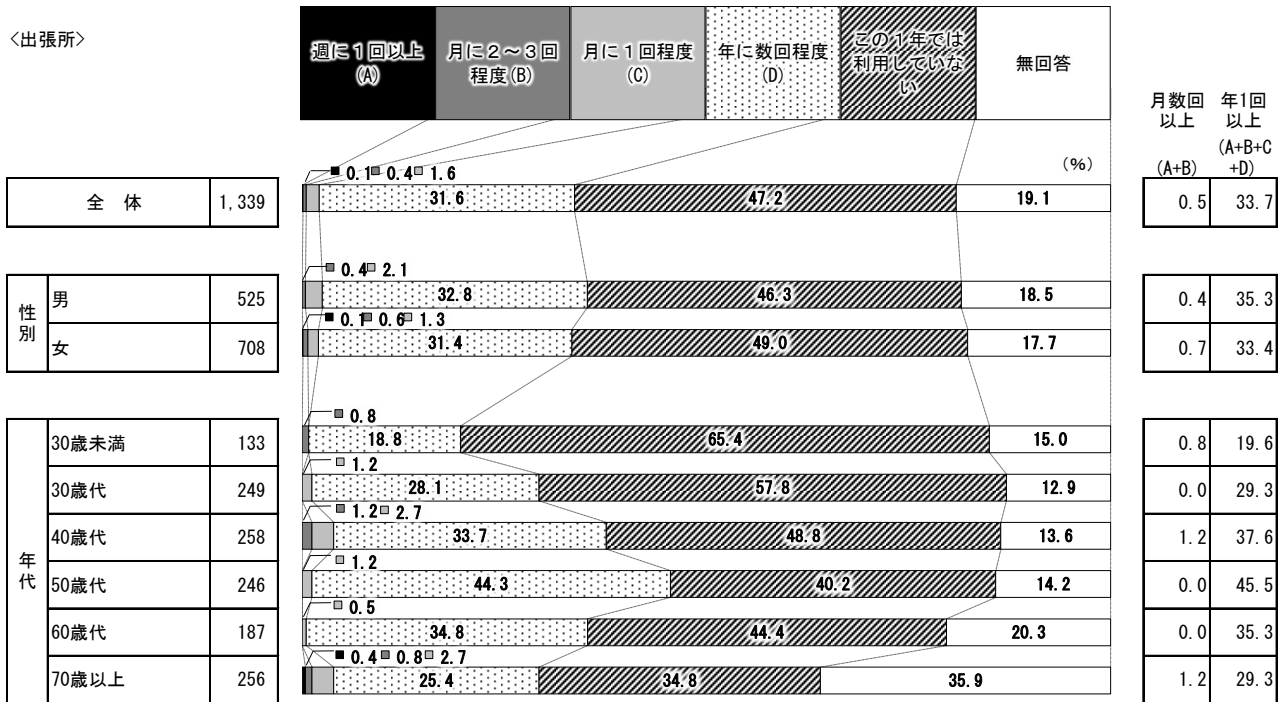
公共施設の利用頻度を見ると、「週に1回以上」、「月に1回程度」、「年に数回程度」を合わせた『年1回以上』の割合は、図書館が65.3%で最も多く、次いで文化施設（保谷こもれびホール、西東京市民会館、コール田無等）が44.7%、出張所が33.7%となっている。

「週に1回以上」と「月に2～3回程度」を合わせた『月数回以上』の割合は、図書館が21.0%で最も多く、次いでスポーツ施設（スポーツセンター、総合体育館、南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」、武道場、テニスコート、グラウンド等）が10.9%となっている。



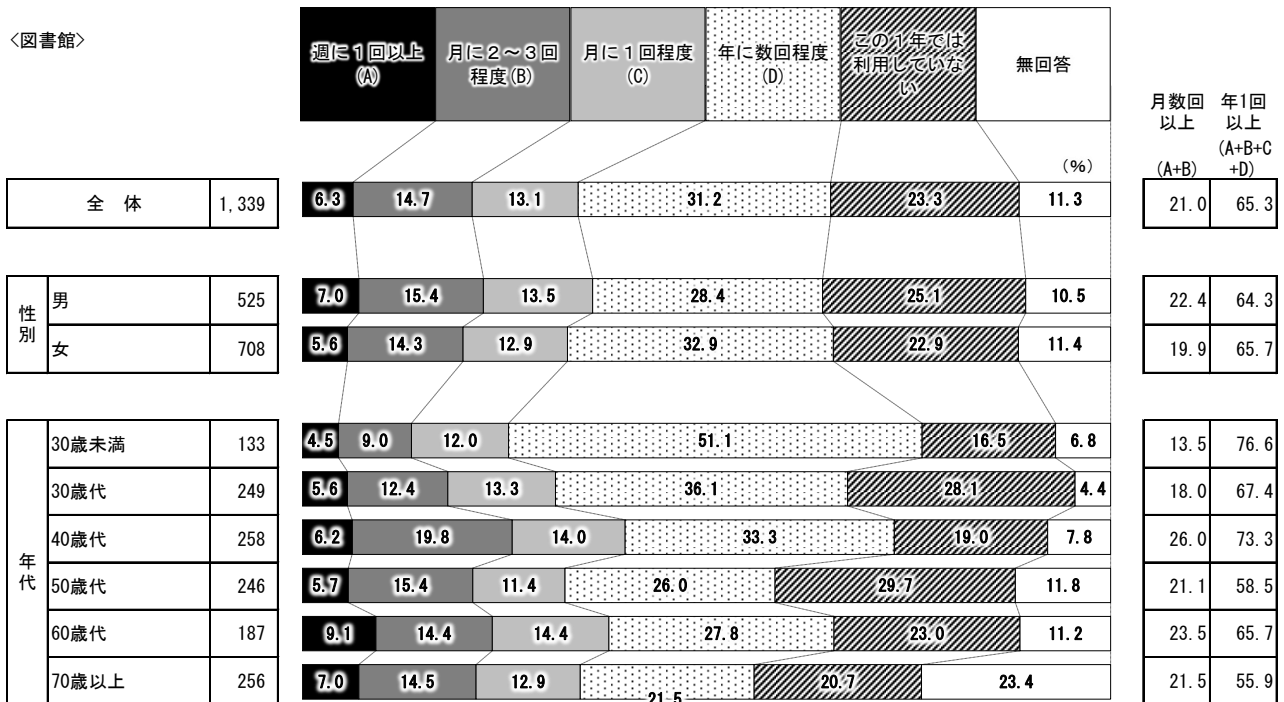
## □出張所

年代別に見ると、『年1回以上』利用の割合が最も多いのは、50歳代で45.5%となっている。一方、『年1回以上』利用の割合が最も少ないのは、30歳未満で19.6%となっている。30歳未満では「この1年では利用していない」が65.4%、30歳代では57.8%となっている。



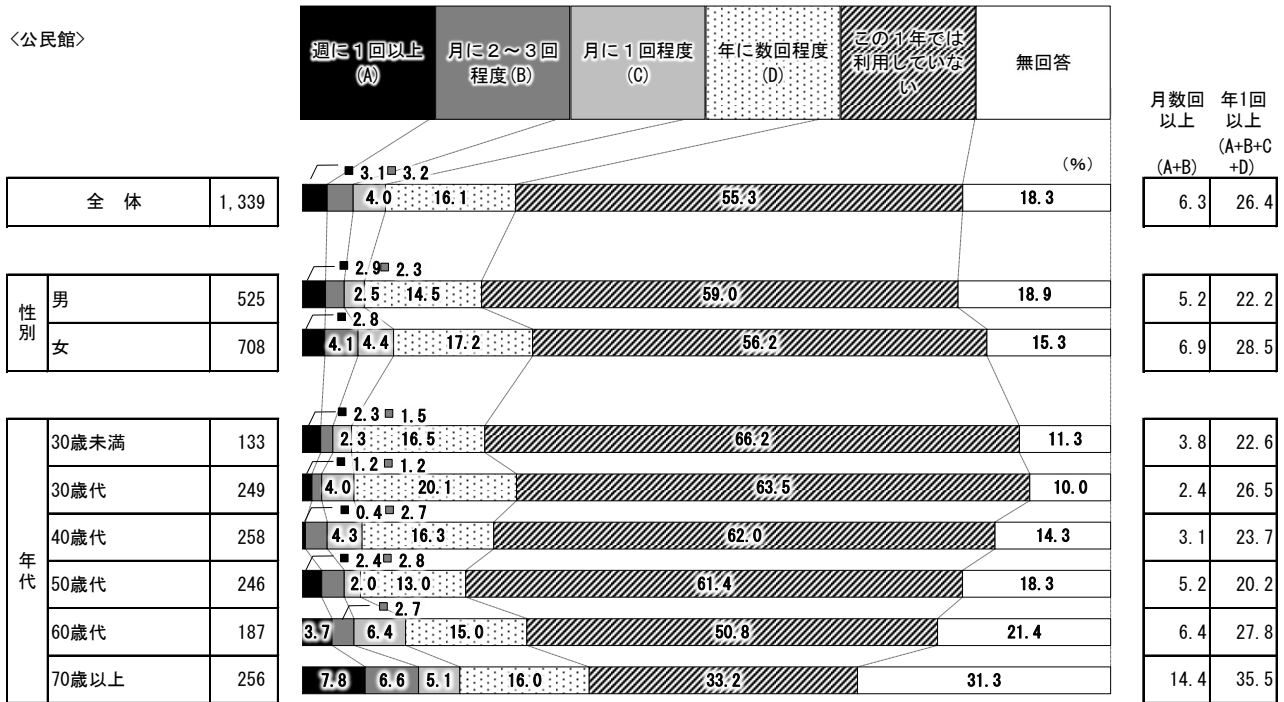
## □図書館

年代別に見ると、『年1回以上』利用の割合が最も多いのは、30歳未満で76.6%、次いで40歳代の73.3%となっている。利用頻度の高い年代は40歳代で、『月数回以上』が26.0%と最も多くなっている。一方、30歳未満では『月1回以上』が13.5%と最も少なくなっている。



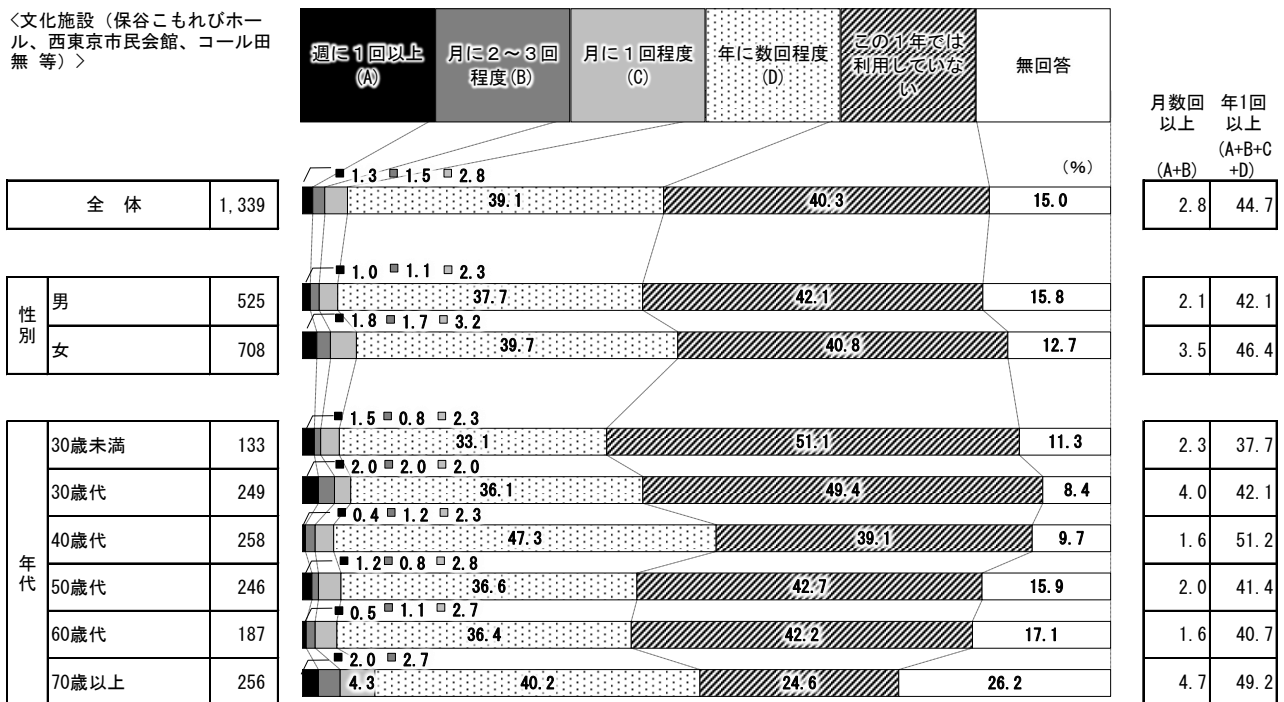
## 公民館

年代別に見ると、『年1回以上』利用の割合が最も多いのは、70歳以上で35.5%、次いで60歳代の27.8%となっている。おおむね年代が高くなるにつれ、『月数回以上』利用の割合が多くなっており、70歳以上で14.4%となっている。



## 文化施設

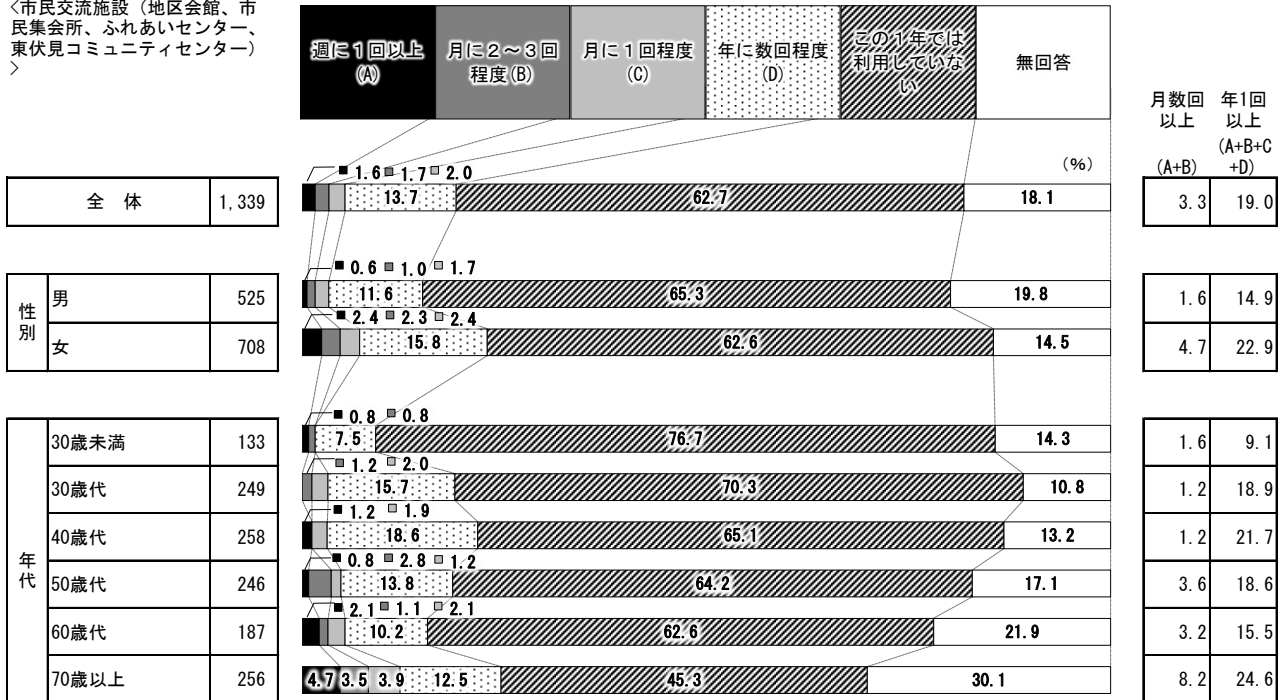
年代別に見ると、『年1回以上』利用の割合が最も多いのは、40歳代で51.2%、次いで70歳以上の49.2%となっている。



## □市民交流施設

年代別に見ると、『年1回以上』利用の割合が最も多いのは、70歳以上で24.6%、次いで40歳代の21.7%となっている。

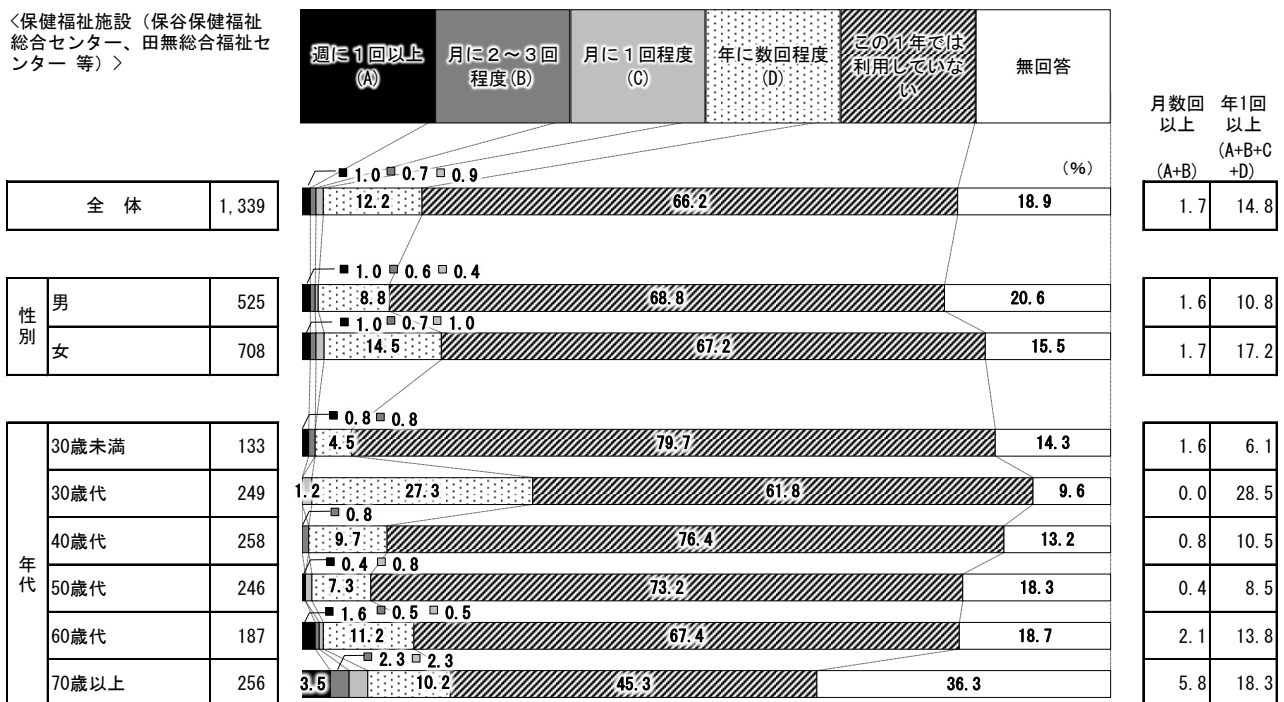
＜市民交流施設（地区会館、市民集会所、ふれあいセンター、東伏見コミュニティセンター）＞



## □保健福祉施設

年代別に見ると、『年1回以上』利用の割合が最も多いのは、30歳代で28.5%となっている。

＜保健福祉施設（保谷保健福祉総合センター、田無総合福祉センター等）＞

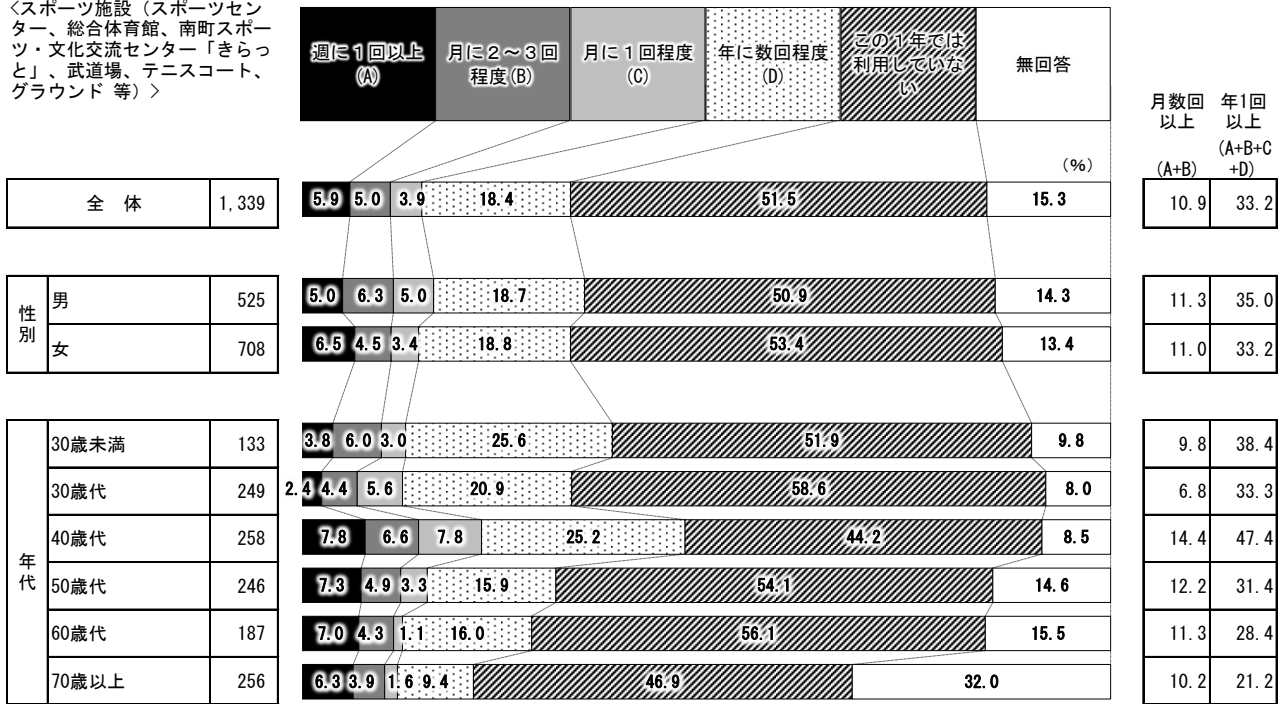




## □スポーツ施設

年代別に見ると、『年1回以上』利用の割合が最も多いのは、40歳代で47.4%となっている。

＜スポーツ施設（スポーツセンター、総合体育館、南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」、武道場、テニスコート、グラウンド等）＞



#### (4) 今後の公共施設のあり方

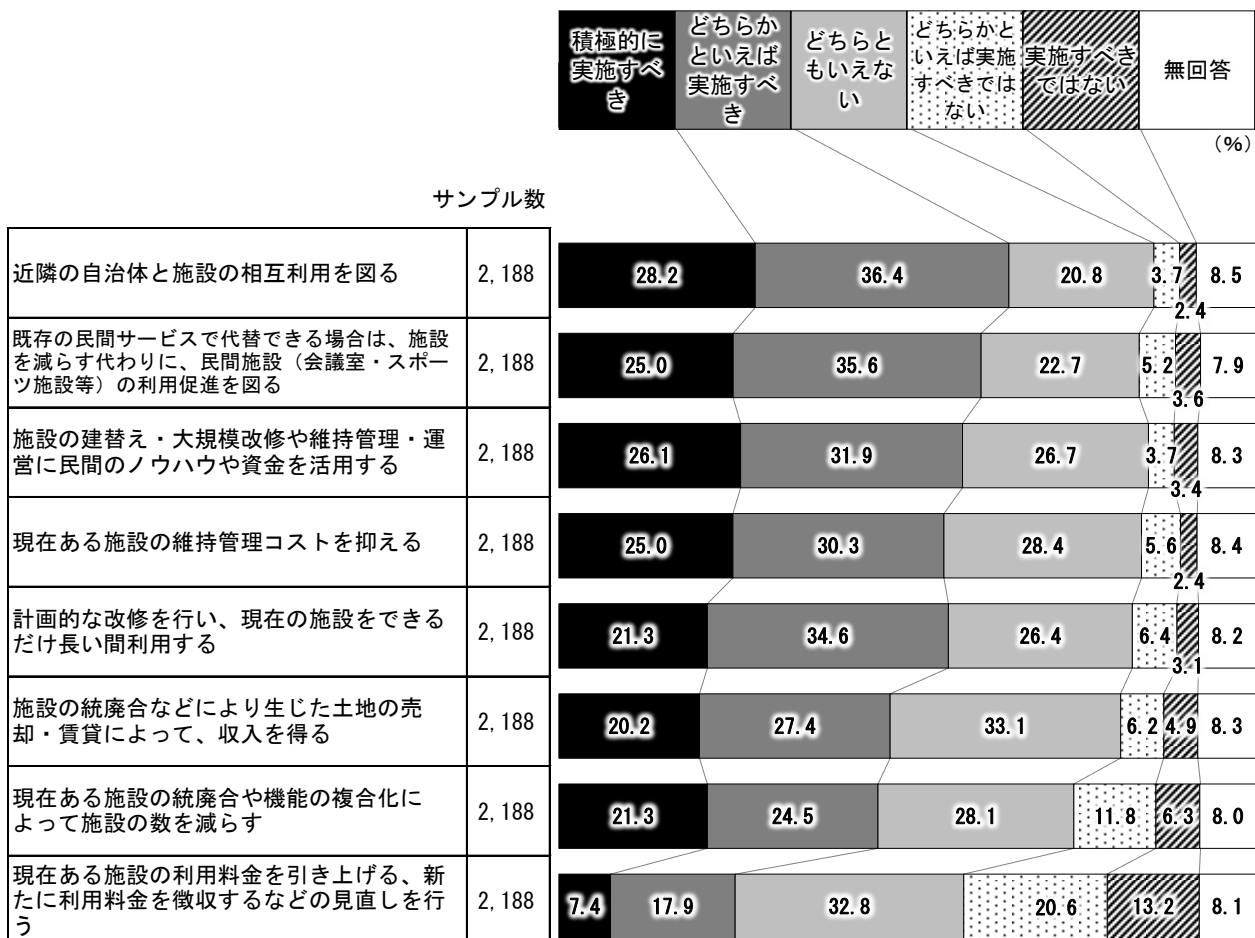
【問15】西東京市の公共施設は、小中学校を中心に1960年代以降に整備されたものが多く、現在、これらの施設が老朽化しつつあり、近い将来、一斉に作り直さなければならない時期を迎えます。

一方で、西東京市を含めた多くの自治体では、厳しい財政状況の下、全ての施設を新たに作り直すことが難しい状況になっています。

西東京市では、このような状況に対応するため、「西東京市公共施設等総合管理計画」を策定し、次のような手法や考え方を示しています。あなたは、西東京市がこれらの方策を実施することについて、どのように思いますか。（○はそれぞれの項目に1つずつ）

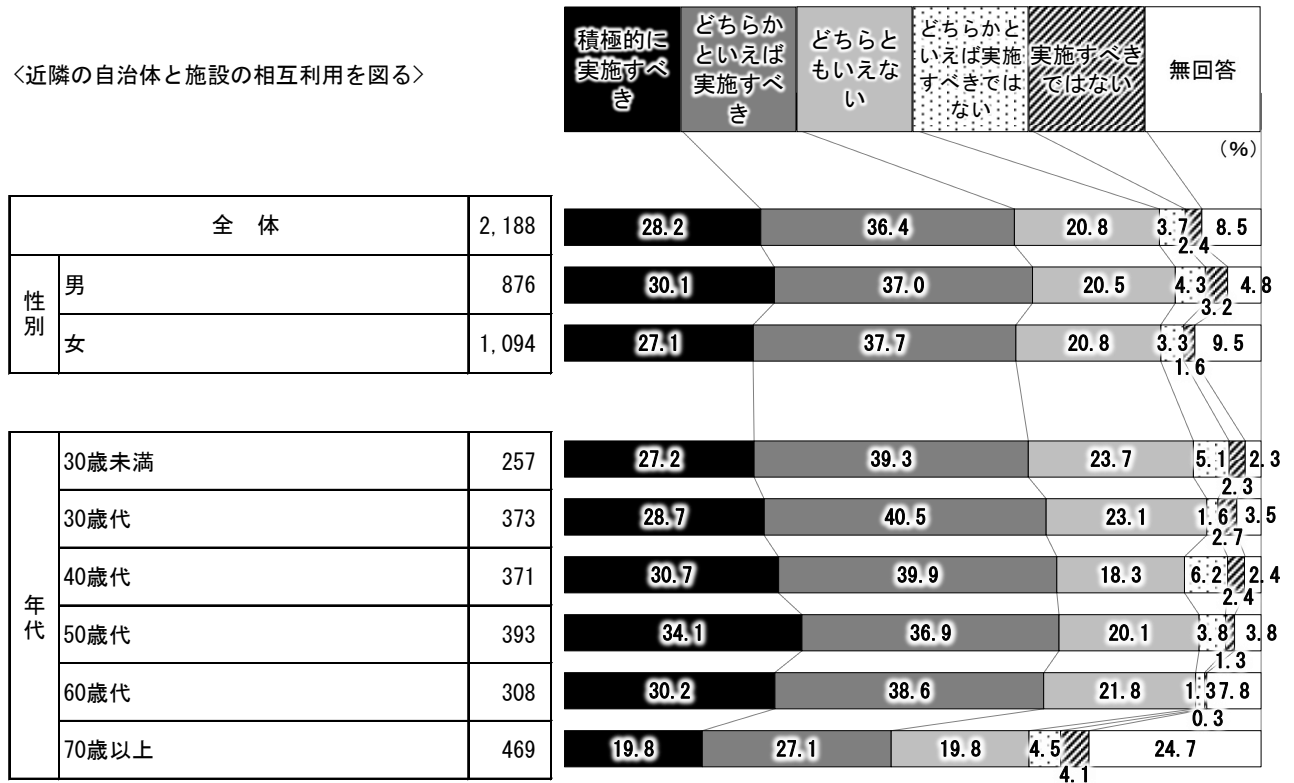
今後、西東京市の公共施設をマネジメントしていく上で考えられる方策について、「積極的に維持すべき」、「どちらかといえば実施すべき」を合わせた回答割合が最も多いのは「近隣の自治体の施設の相互利用を図る」で64.6%となっている。一方で、「現在ある施設の利用料金を引き上げる、新たに利用料金を徴収するなどの見直しを行う」は25.3%で最も少なくなっている。

年代別に見ると、おおむねいずれの方策においても「積極的に維持すべき」、「どちらかといえば実施すべき」を合わせた回答割合は、40歳代が最も多くなっている。また、「現在ある施設の統廃合や機能の複合化によって施設の数減らす」、「現在ある施設の利用料金を引き上げる、新たに利用料金を徴収するなどの見直しを行う」については、おおむね年代が低くなるほど「どちらかといえば実施すべきではない」、「実施すべきではない」を合わせた回答割合が多くなっている。

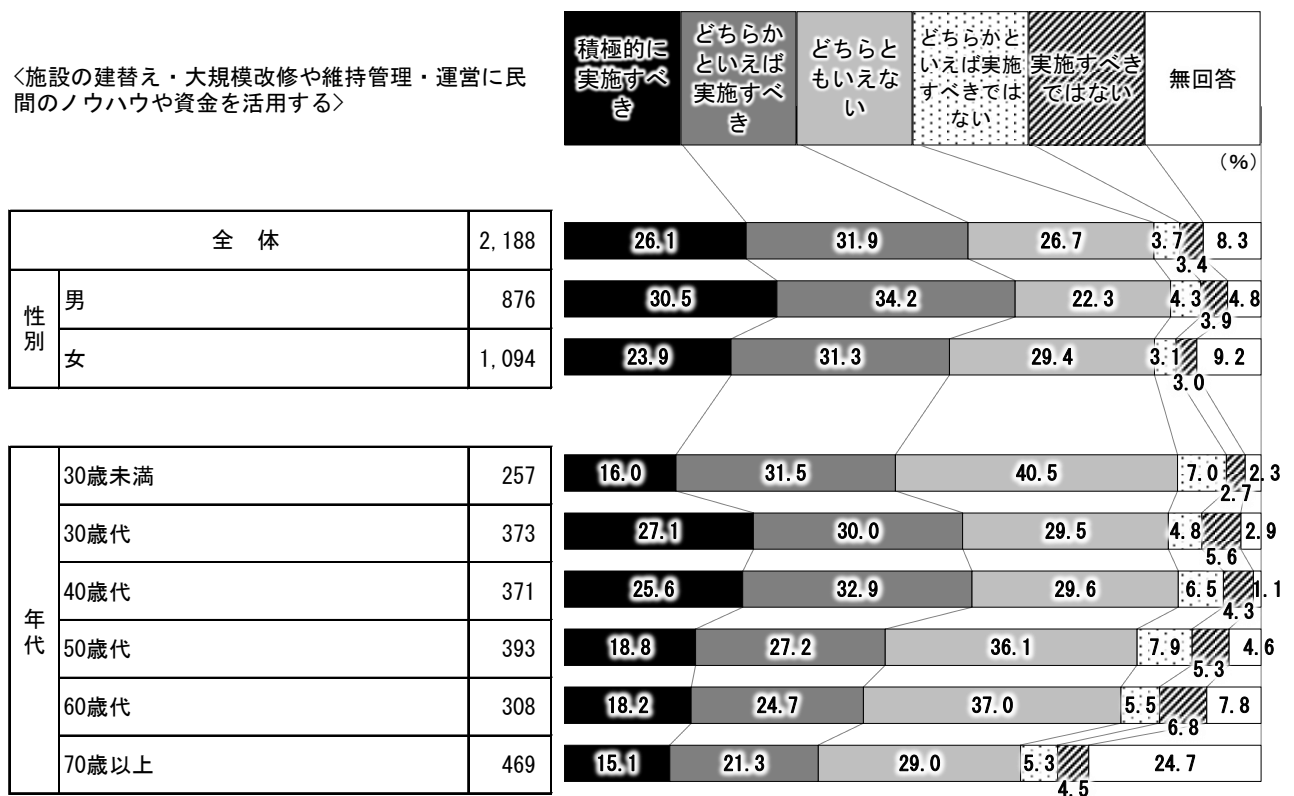


<性別・年代別>

<近隣の自治体と施設の相互利用を図る>



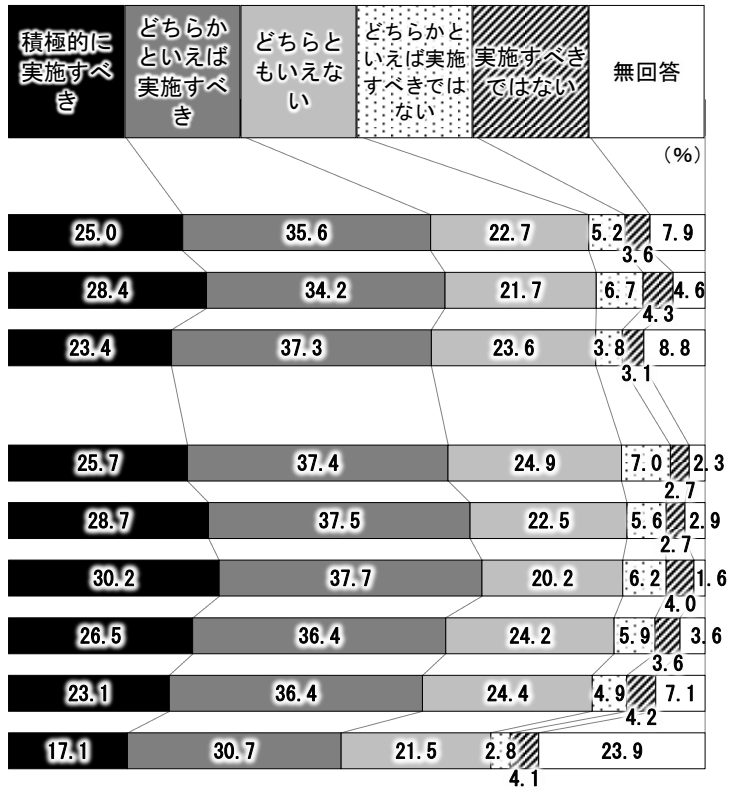
<施設の建替え・大規模改修や維持管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する>



〈既存の民間サービスで代替できる場合は、施設を減らす代わりに、民間施設（会議室・スポーツ施設等）の利用促進を図る〉

全体		2,188
性別	男	876
	女	1,094

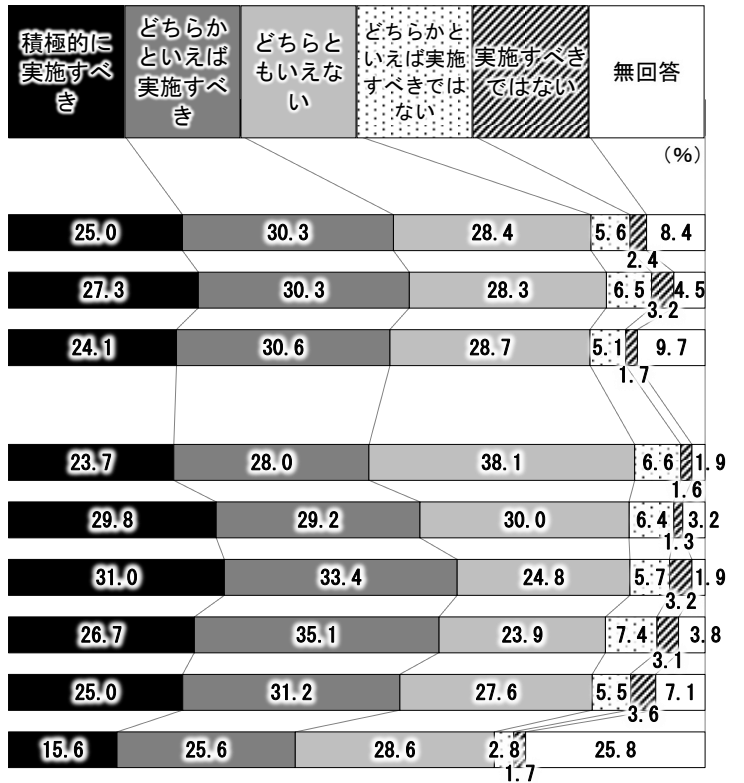
年代	30歳未満	257
	30歳代	373
	40歳代	371
	50歳代	393
	60歳代	308
	70歳以上	469



〈現在ある施設の維持管理コストを抑える〉

全体		2,188
性別	男	876
	女	1,094

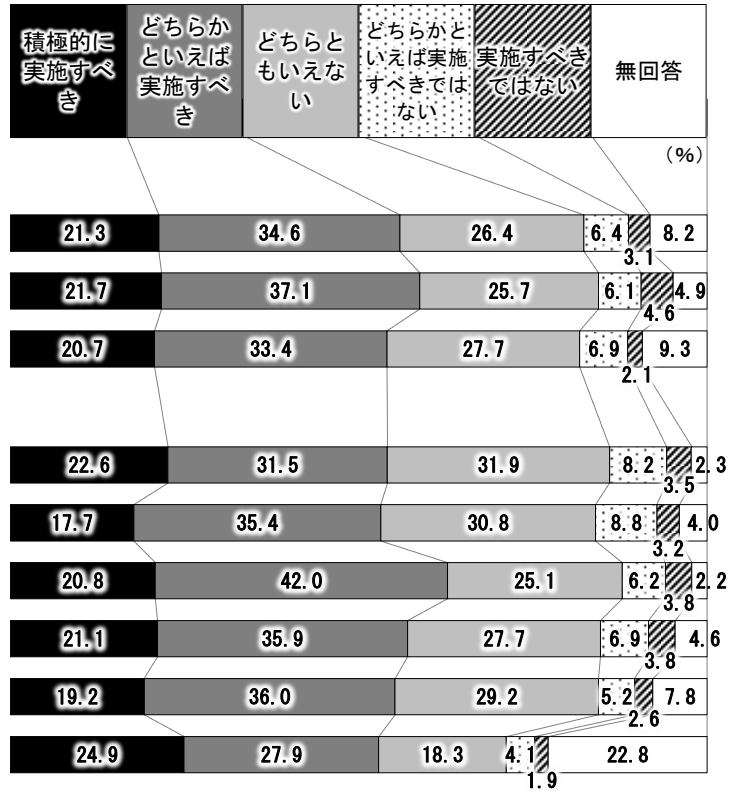
年代	30歳未満	257
	30歳代	373
	40歳代	371
	50歳代	393
	60歳代	308
	70歳以上	469



〈計画的な改修を行い、現在の施設をできるだけ長い間利用する〉

全体		2,188
性別	男	876
	女	1,094

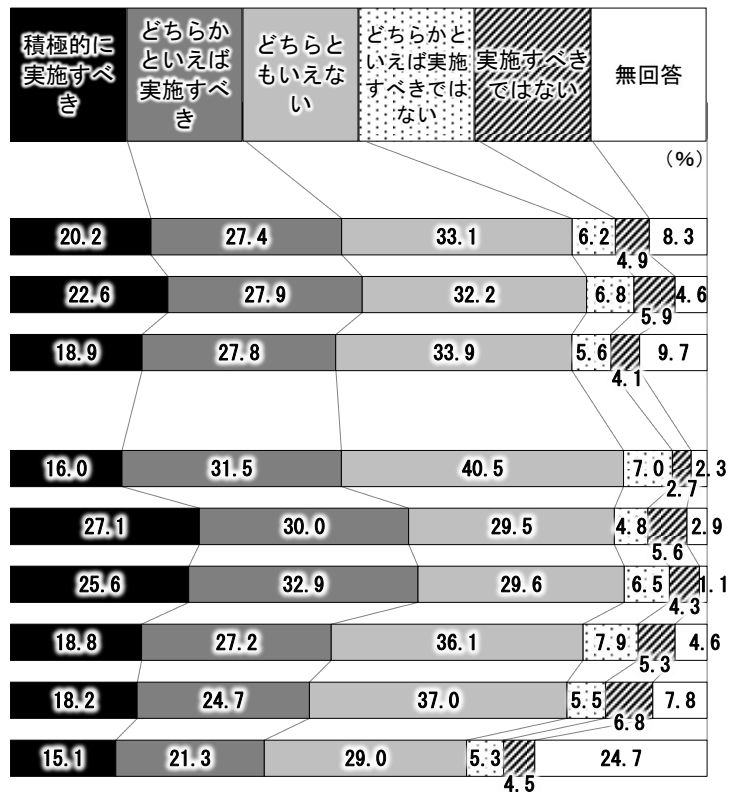
年代	30歳未満	257
	30歳代	373
	40歳代	371
	50歳代	393
	60歳代	308
	70歳以上	469



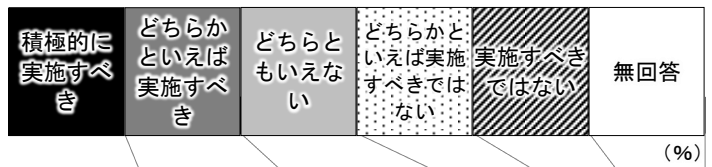
〈施設の統廃合などにより生じた土地の売却・賃貸によって、収入を得る〉

全体		2,188
性別	男	876
	女	1,094

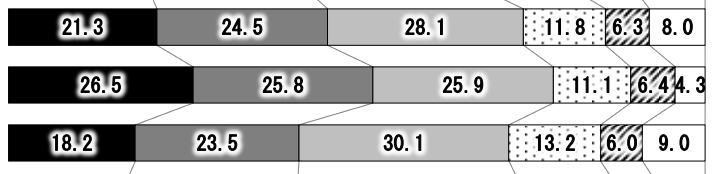
年代	30歳未満	257
	30歳代	373
	40歳代	371
	50歳代	393
	60歳代	308
	70歳以上	469



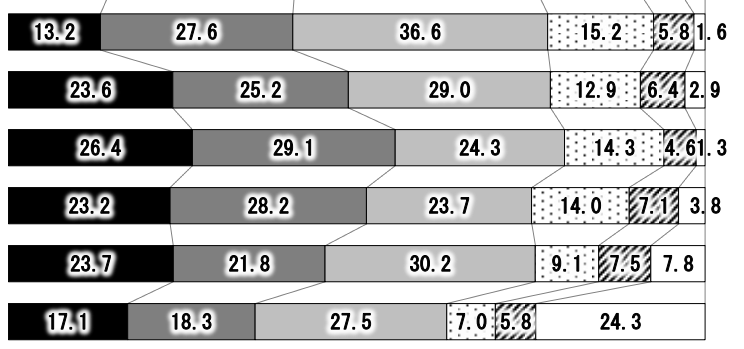
<現在ある施設の統廃合や機能の複合化によって施設の数を減らす>



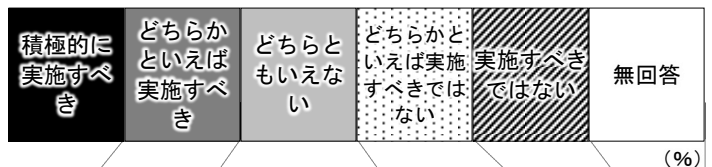
全体		2,188
性別	男	876
	女	1,094



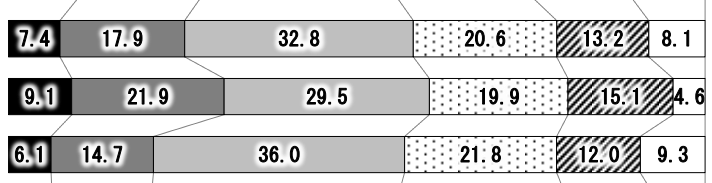
年代	30歳未満	257
	30歳代	373
	40歳代	371
	50歳代	393
	60歳代	308
	70歳以上	469



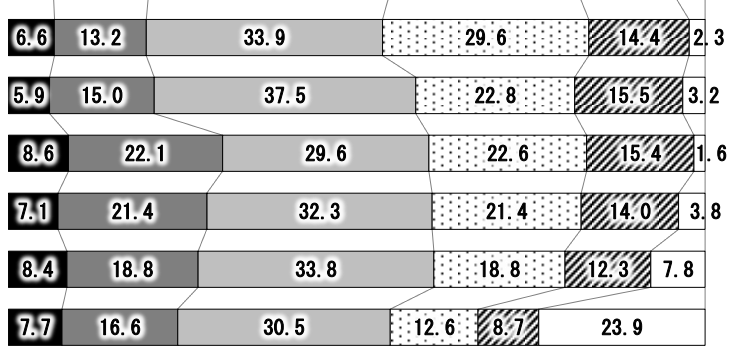
<現在ある施設の利用料金を引き上げる、新たに利用料金を徴収するなどの見直しを行う>



全体		2,188
性別	男	876
	女	1,094



年代	30歳未満	257
	30歳代	373
	40歳代	371
	50歳代	393
	60歳代	308
	70歳以上	469



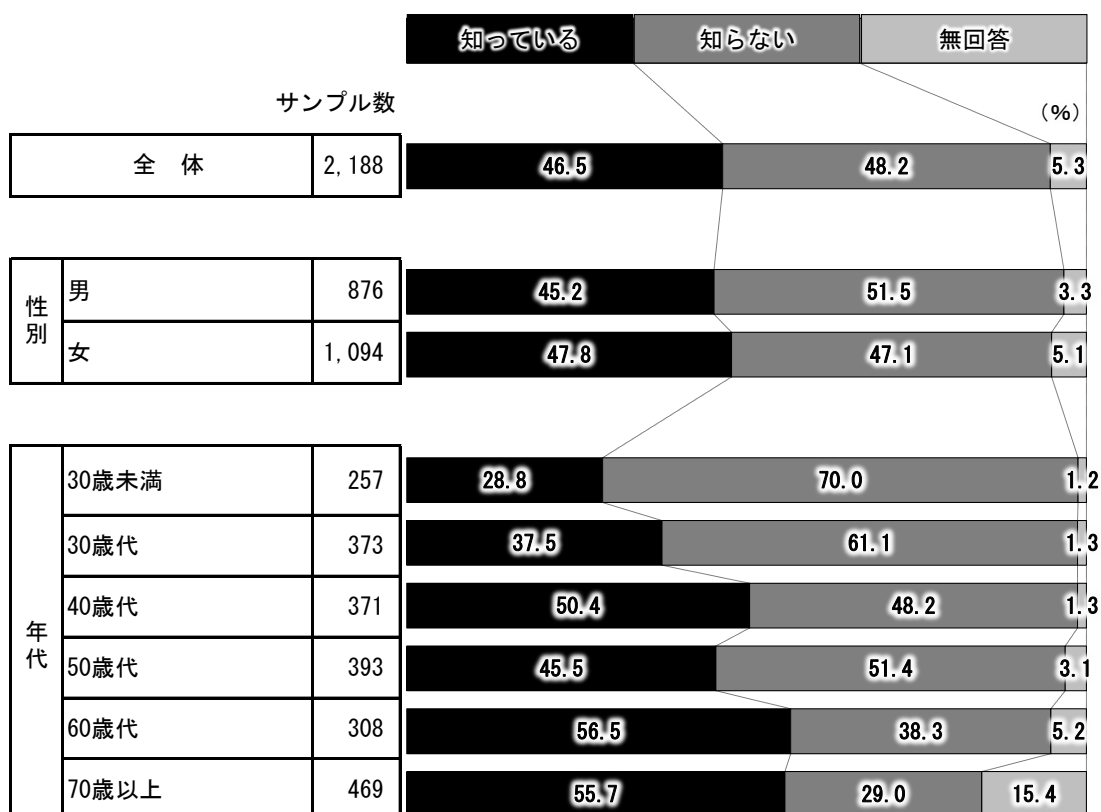
## 6. 庁舎統合について

### (1) 本庁舎整備統合の認知

【問16】 すべての方にお聞きします。あなたは、「庁舎統合方針」（平成28年12月決定）についてご存知ですか。（○は1つだけ）

庁舎統合方針について、「知っている」は46.5%、「知らない」は48.2%となっている。  
年代別で見ると、おおむね年代が高くなるほど「知っている」と回答している割合が多くなっており、60歳代で56.5%、70歳以上で55.7%となっている。

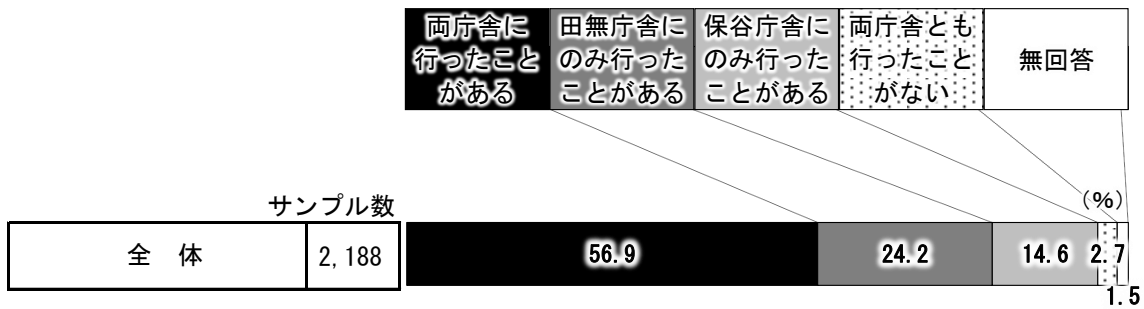
一方で、30歳未満は「知っている」が28.8%と3割に満たない。



## (2)本庁舎への訪問経験

【問17】あなたは、これまでに本庁舎を訪れたことがありますか。（○は1つだけ）

本庁舎者の訪問経験について、「両庁舎とも行ったことがある」が56.9%で最も多く、次いで「田無庁舎のみ行ったことがある」が24.2%、「保谷庁舎のみ行ったことがある」が14.6%、「両庁舎とも行ったことがない」は2.7%となっている。

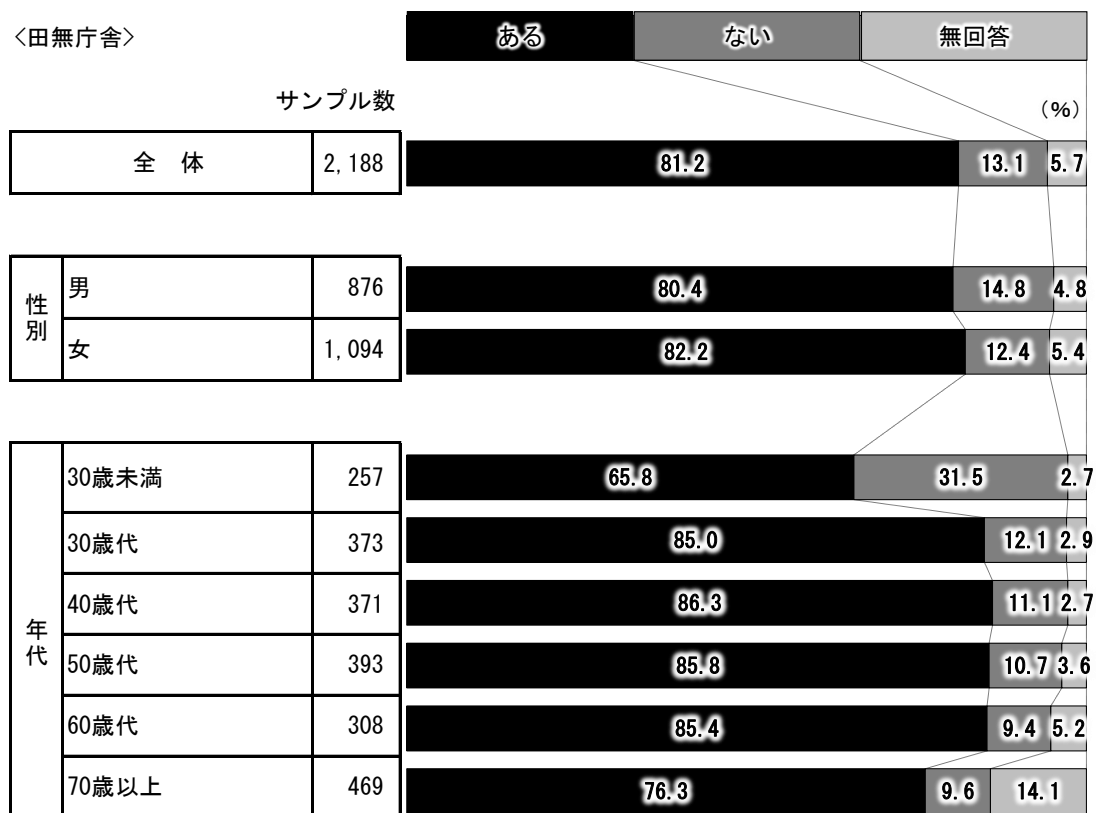


注) いずれかの庁舎について訪問経験「あり」と回答しており、もう一方が「無回答」の場合は、訪問経験「あり」と回答している庁舎のみ行ったことがあるとして集計している。また、いずれかの庁舎について訪問経験「なし」と回答しており、もう一方が「無回答」の場合は、両庁舎とも訪問経験がないかの判断がつかないため、「無回答」として集計している。



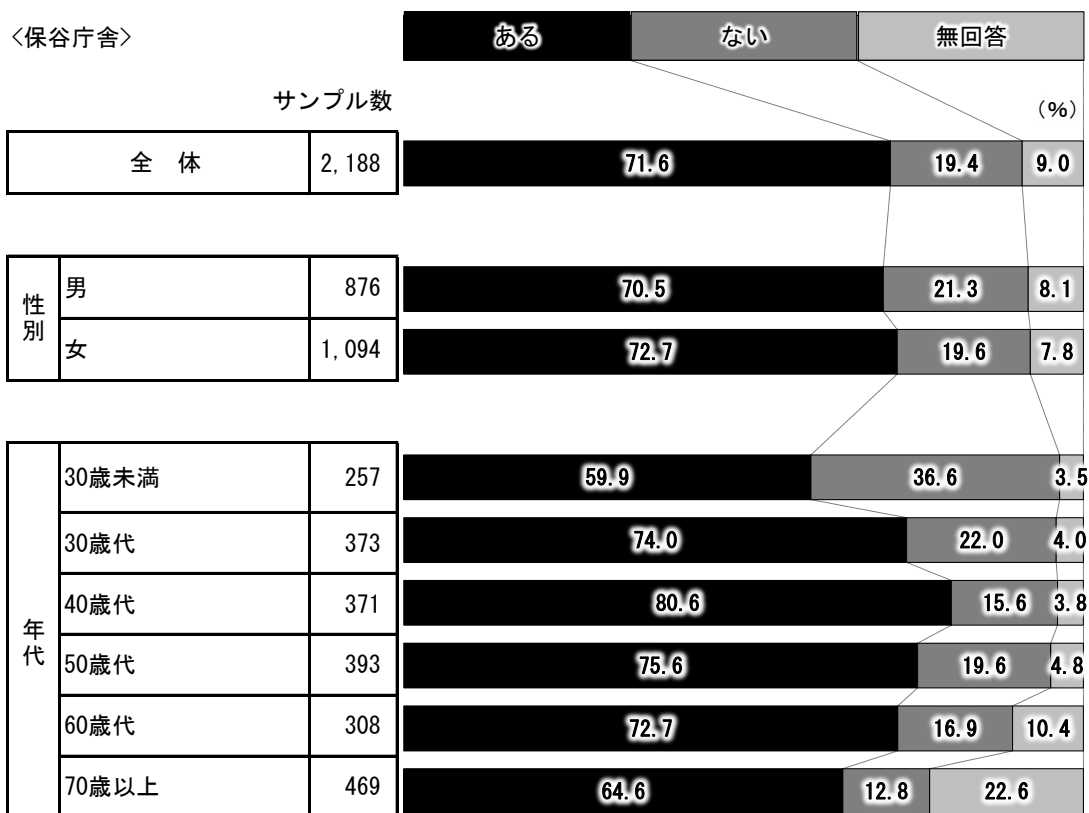
田無庁舎の訪問経験について、「ある」は81.2%、「ない」は13.1%となっている。

年代別に見ると、30歳から60歳代では、田無庁舎を訪れたことが「ある」が8割を超えているのに対し、30歳未満では、最も少なく65.8%となっている。



保谷庁舎の訪問経験について、「ある」は71.6%、「ない」は19.4%となっている。

年代別に見ると、保谷庁舎を訪れたことが「ある」は40歳代で最も多く80.6%となっている。また、30歳未満は、保谷庁舎を訪れたことが「ある」が、最も少ない59.9%となっている。

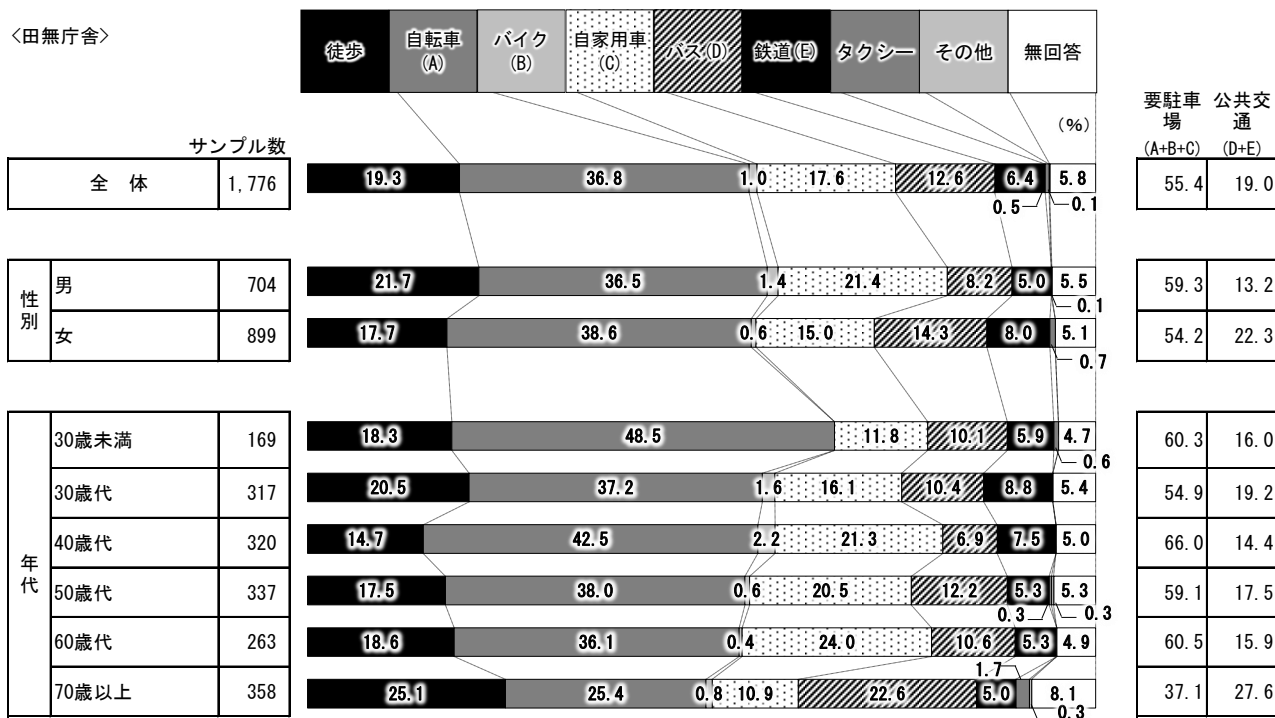


### (3)本庁舎訪問時の交通手段

【問18】あなたは、主にどのような交通手段で本庁舎を訪れましたか。（問17で訪れたことがあると回答した施設を対象に、○は1つだけ）

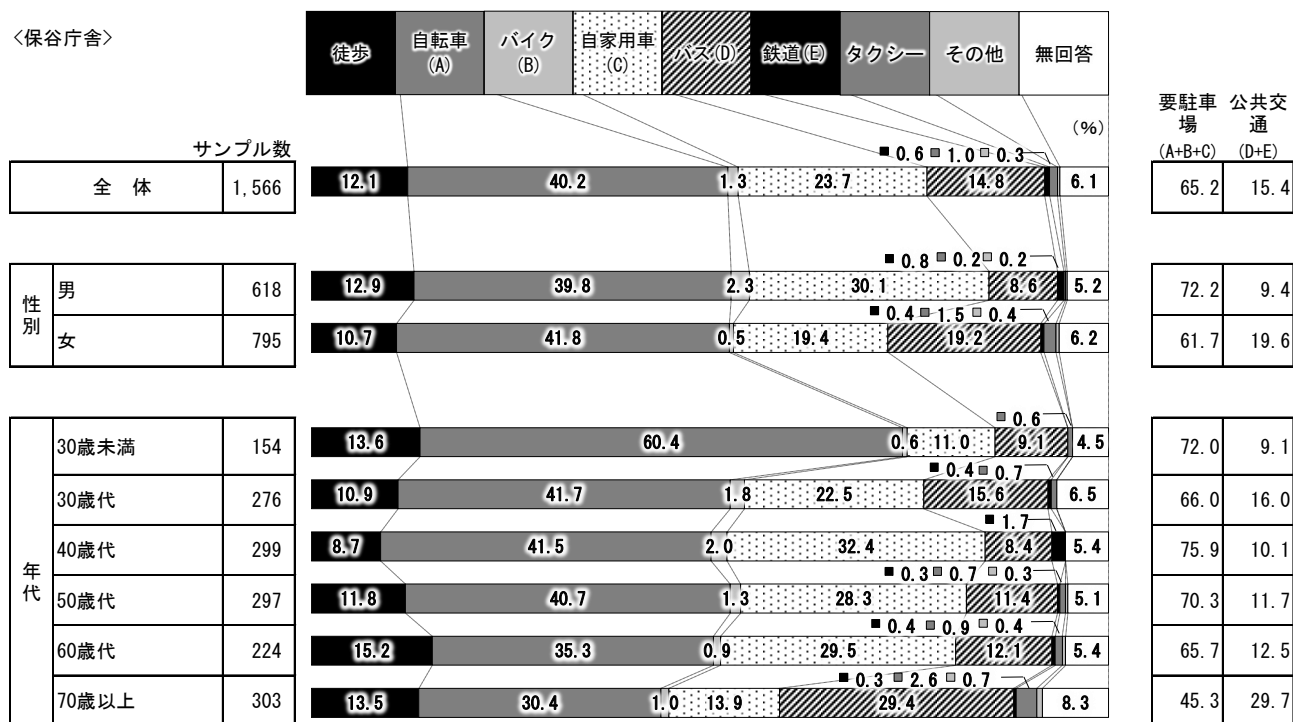
庁舎を訪れる際の主な交通手段について、田無庁舎では「自転車」が36.8%で最も多く、次いで「徒歩」が19.3%、「自家用車」が17.6%となっている。

年代別に見ると、60歳代以下では、「自転車」、「バイク」、「自家用車」の駐輪場及び駐車場を必要とする交通手段で訪れている割合が半数を超えている一方で、70歳以上では、他の年代に比べて、「バス」、「鉄道」を合わせた『公共交通』の利用が多く27.6%となっている。



保谷庁舎では「自転車」が40.2%で最も多く、次いで「自家用車」が23.7%、「バス」が14.8%となっている。

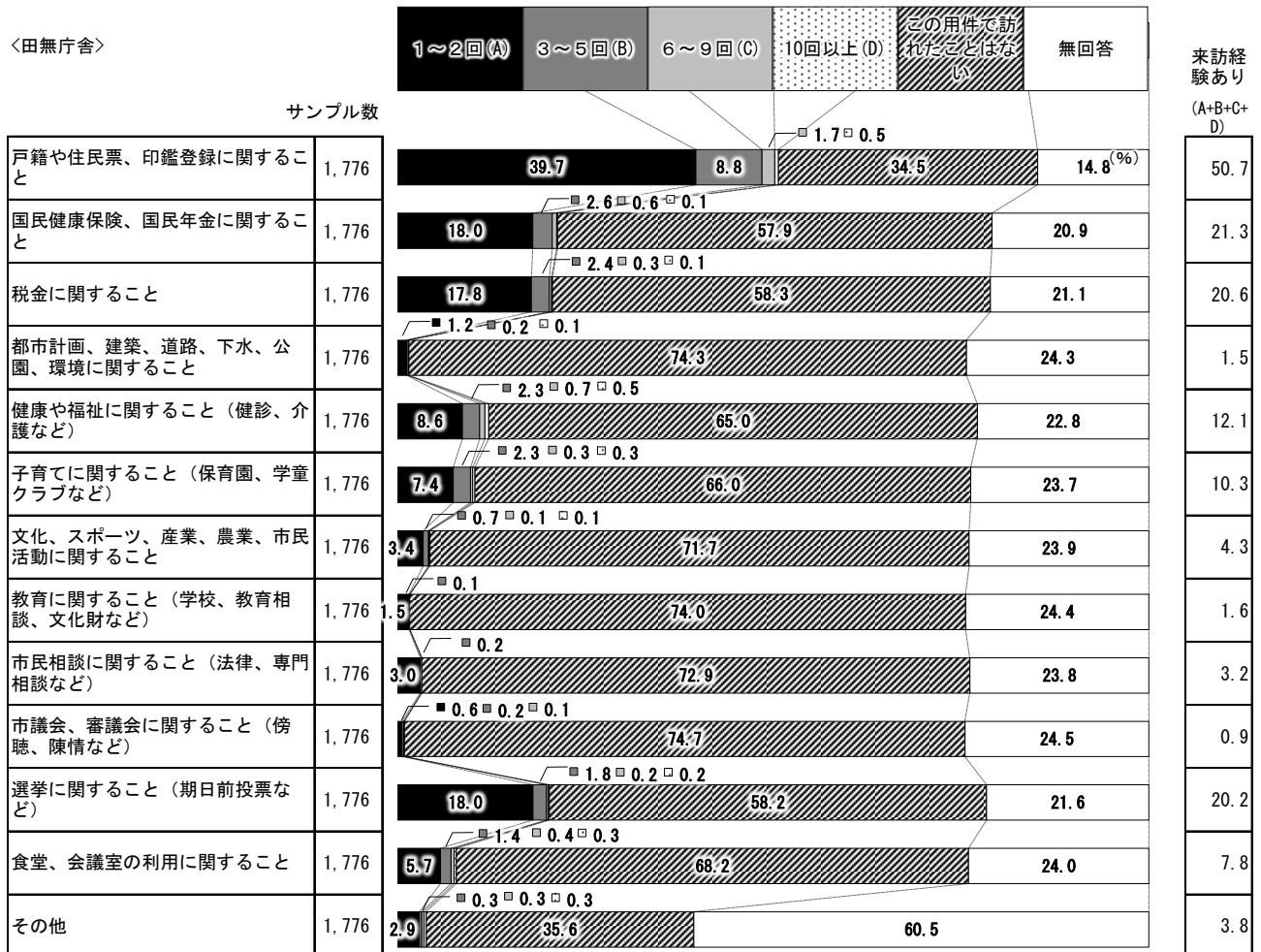
年代別に見ると、60歳代以下では、「自転車」、「バイク」、「自家用車」の駐車場を必要とする交通手段で訪れている割合が半数を超えている一方で、70歳以上では、他の年代に比べて、「バス」、「鉄道」を合わせた『公共交通』の利用が多く29.7%となっている。また、30歳未満では、「自転車」での来訪が60.4%となっている。



#### (4) 過去1年間における用件別の本庁舎訪問回数

【問19】あなたは、最近1年間で本庁舎にどのようなご用件で訪れましたか。また、訪れた回数もお答えください。(それぞれの用件について田無庁舎と保谷庁舎<sup>9</sup>ごとに○は1つだけ)

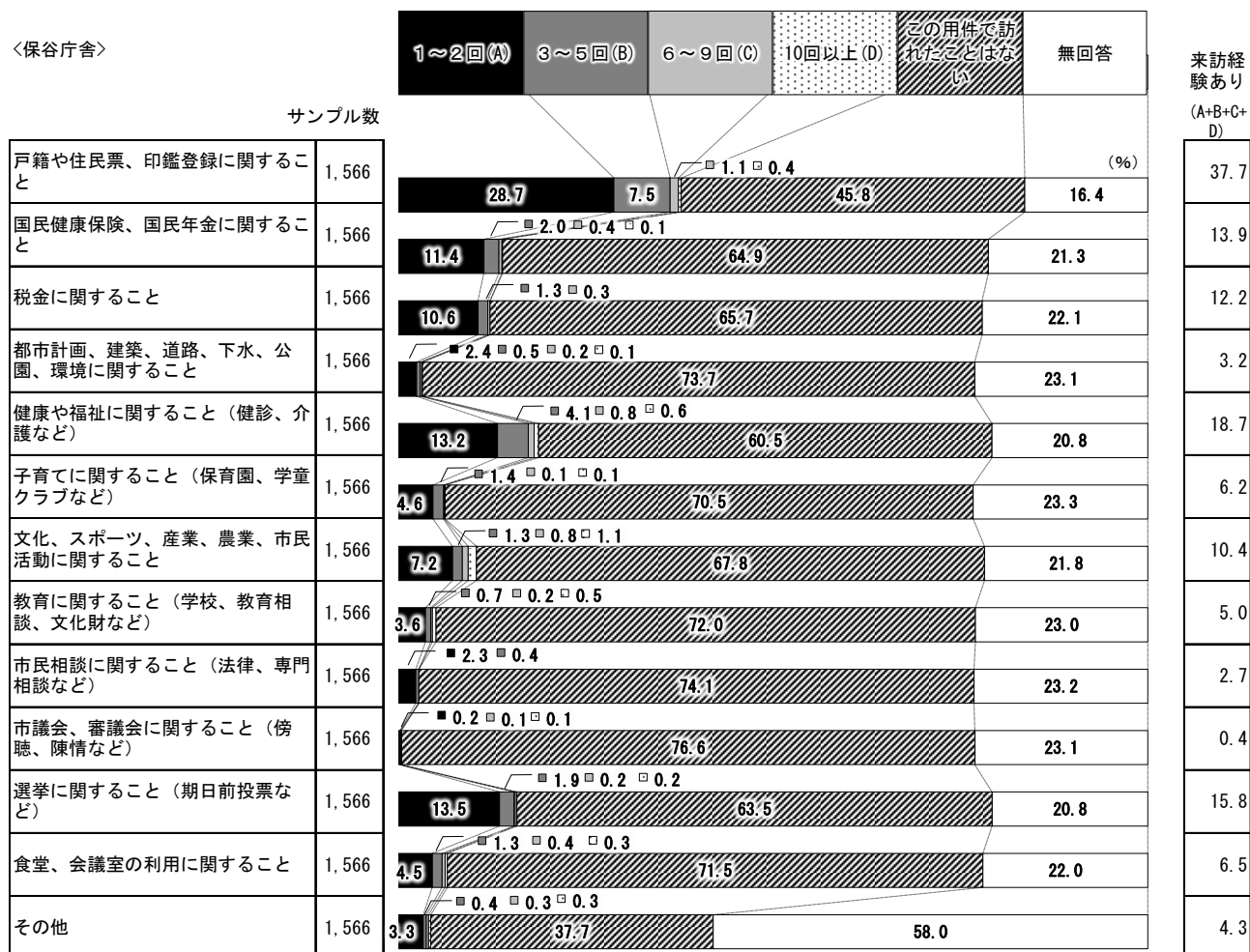
最近1年間で本庁舎を訪れた際の用件について、「1～2回」、「3～5回」、「6～9回」、「10回以上」を合わせた『来訪あり』の割合は、田無庁舎では、「戸籍や住民票、印鑑登録に関すること」が50.7%で最も多く、次いで「国民健康保険、国民年金に関すること」が21.3%、「税金に関すること」が20.6%、「選挙に関すること（期日前投票など）」が20.2%となっている。



<sup>9</sup> 防災・保谷保健福祉総合センター、エコプラザ西東京も含む（以下の設問も同様）。

保谷庁舎では、「戸籍や住民票、印鑑登録に関すること」が37.7%で最も多く、次いで「健康や福祉に関すること（健診、介護など）」が18.7%、「選挙に関すること（期日前投票など）」が15.8%となっている。

<保谷庁舎>



## (5)両庁舎での手続き経験(1庁舎で手続きが完了しなかった場合)

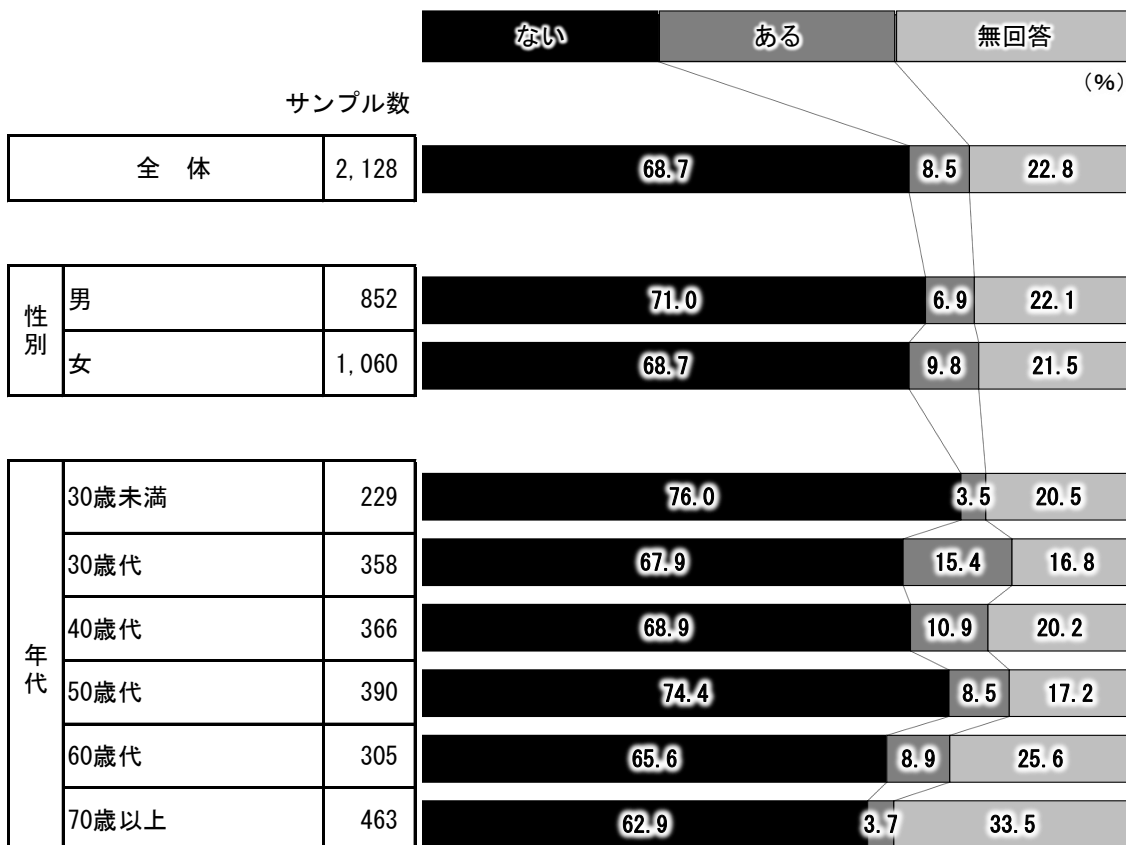
【問20】あなたは、田無庁舎または保谷庁舎のどちらか1つの庁舎で用件が完了せず、両庁舎で手続きを行ったことがありますか。ある場合は、その用件をお答えください。

1つの庁舎で用件が完了せず、両庁舎で手続きを行った経験については、「ない」が68.7%、「ある」が8.5%となっている。

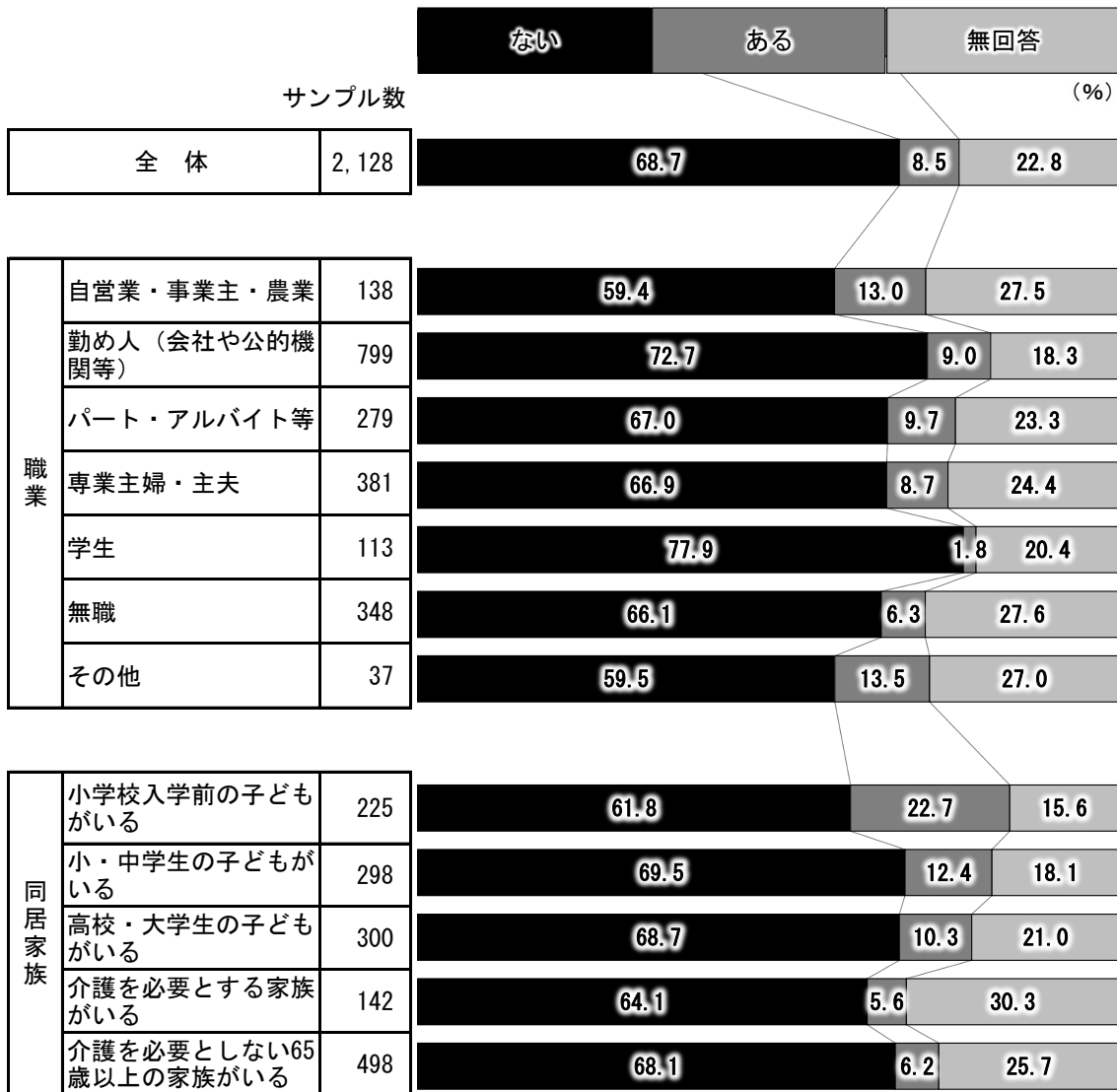
年代別に見ると、「ある」と回答している割合は、30歳代が15.4%と最も多くなっている。

同居家族別にみると、「ある」と回答している割合は、小学校入学前の子どもがいる家族が22.7%と最も多くなっている。

### <性別・年代別>



<職業別・同居家族別>

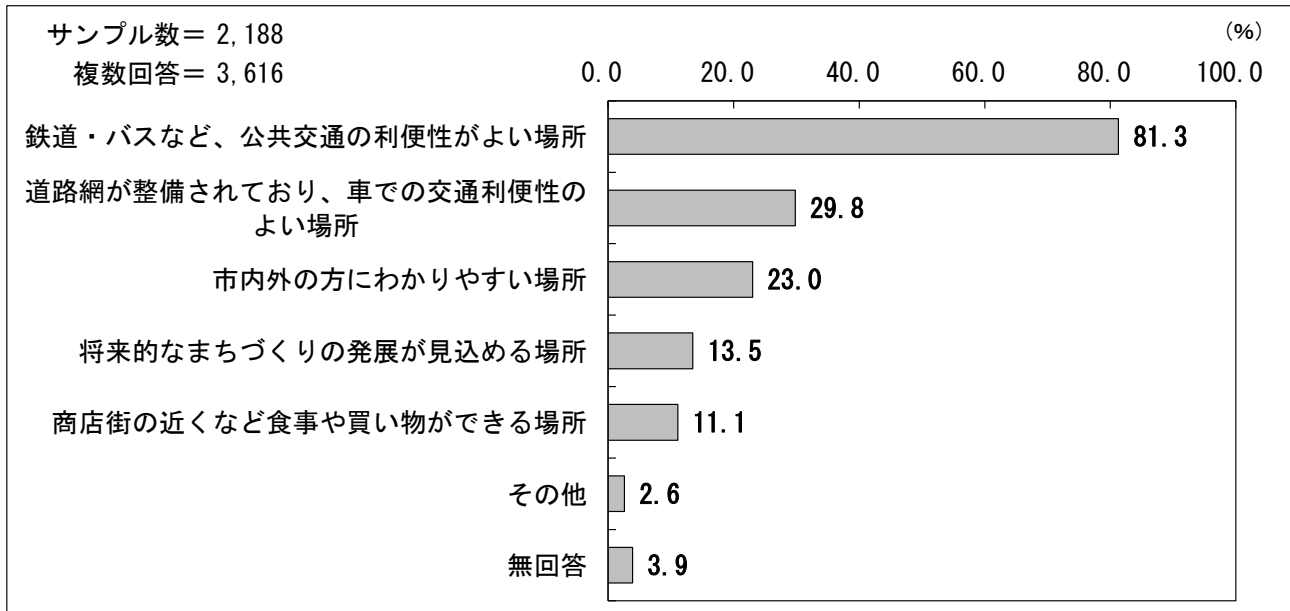




## (6) 統合庁舎の立地条件として重視すること

【問21】 庁舎統合方針では、「統合庁舎の位置は市中心エリアでの統合を視野に検討を進める」としています。あなたが庁舎の位置で特に重視する点は何ですか。（〇は2つまで）

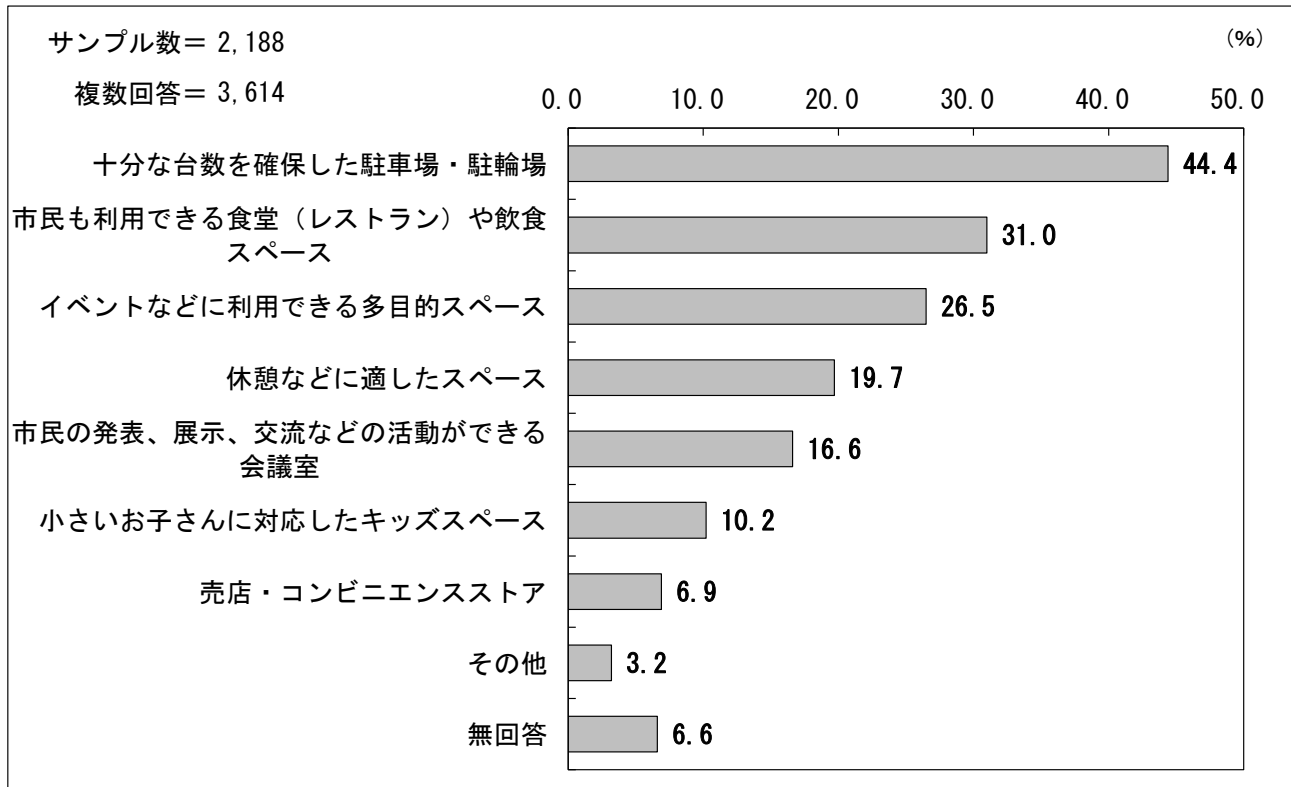
統合庁舎の位置で特に重視する点については、「鉄道・バスなど、公共交通の利便性がよい場所」が81.3%で最も多く、次いで「道路網が整備されており、車での交通利便性のよい場所」が29.8%、「市内外の方にわかりやすい場所」が23.0%となっている。



## (7) 統合庁舎において重視する機能(事務所機能を除く)

【問22】 庁舎における事務所機能以外で、あなたが重視する点は何ですか。(〇は2つまで)

庁舎における事務所機能以外で重視する点については、「十分な台数を確保した駐車場・駐輪場」が44.4%で最も多く、次いで「市民も利用できる食堂(レストラン)や飲食スペース」が31.0%、「イベントなどに利用できる多目的スペース」が26.5%となっている。

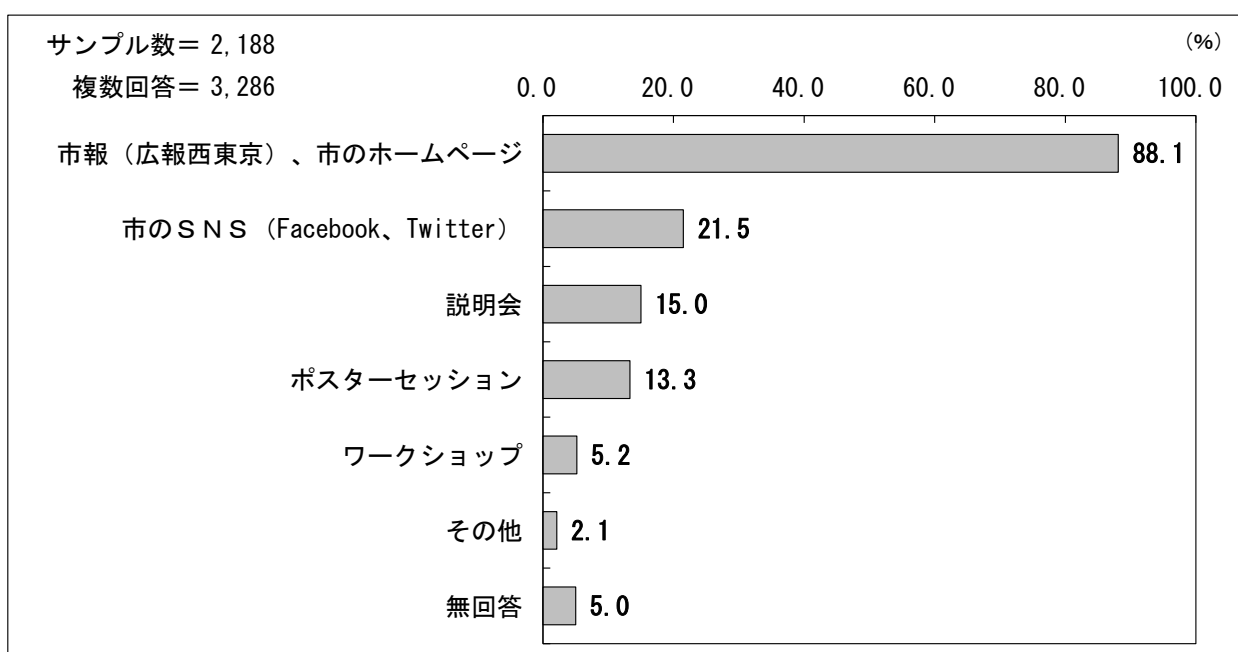


## (8)庁舎統合に関する情報提供として望ましい方法

【問23】 庁舎統合に関する市からの情報提供等において、あなたが望ましいと思われる方法は何か。（〇は2つまで）

庁舎統合に関する市からの情報提供等において望ましい方法としては、「市報（広報西東京）、市のホームページ」が88.1%で最も多く、次いで「市のSNS（Facebook、Twitter）」が21.5%、「説明会」が15.0%となっている。

年代別に見ると、「市報（広報西東京）、市のホームページ」はいずれの年代でも8割を超えており、最も多い40歳代では94.6%となっている。「市のSNS（Facebook、Twitter）」は、年代が低くなるにつれて割合が多くなっており、70歳以上では6.4%にとどまるが、30歳未満では52.1%と半数以上となっている。「説明会」は年代が高くなるにつれて割合が多くなっており、30歳未満では7.8%となっているが、70歳以上では21.1%となっている。



	サンプル数	合計回答数	市報（広報西東京）、市のホームページ	市のSNS（Facebook、Twitter）」	説明会	ポスターセッション	ワークショップ	その他	無回答	
全体	2,188 ( 100.0)	3,286 ( 150.2)	1,927 ( 88.1)	471 ( 21.5)	328 ( 15.0)	291 ( 13.3)	114 ( 5.2)	46 ( 2.1)	109 ( 5.0)	
年代	30歳未満	257 ( 100.0)	409 ( 159.1)	212 ( 82.5)	134 ( 52.1)	20 ( 7.8)	26 ( 10.1)	10 ( 3.9)	3 ( 1.2)	4 ( 1.6)
	30歳代	373 ( 100.0)	569 ( 152.5)	325 ( 87.1)	118 ( 31.6)	38 ( 10.2)	57 ( 15.3)	14 ( 3.8)	7 ( 1.9)	10 ( 2.7)
	40歳代	371 ( 100.0)	560 ( 150.9)	351 ( 94.6)	91 ( 24.5)	51 ( 13.7)	37 ( 10.0)	18 ( 4.9)	8 ( 2.2)	4 ( 1.1)
	50歳代	393 ( 100.0)	598 ( 152.2)	359 ( 91.3)	65 ( 16.5)	57 ( 14.5)	66 ( 16.8)	28 ( 7.1)	9 ( 2.3)	14 ( 3.6)
	60歳代	308 ( 100.0)	455 ( 147.7)	277 ( 89.9)	27 ( 8.8)	60 ( 19.5)	47 ( 15.3)	20 ( 6.5)	6 ( 1.9)	18 ( 5.8)
	70歳以上	469 ( 100.0)	668 ( 142.4)	390 ( 83.2)	30 ( 6.4)	99 ( 21.1)	58 ( 12.4)	23 ( 4.9)	10 ( 2.1)	58 ( 12.4)

注：（ ）内はサンプル数を母数とした割合 単位は%